

平成30年度  
事業報告書



## 目 次

1.平成 30 年度 法人事業報告	1
2.事務局 事業報告	8
3.各事業所 事業報告	
(1) 水島拠点	13
① 小ざくら保育園	
② 小ざくら乳児保育園	
③ 小ざくら夜間保育園	
④ 小ざくら小規模保育園	
⑤ 小ざくら地域子育て支援センター	
⑥ 倉敷市鶴心寮	
⑦ 児童家庭支援センタークムレ	
⑧ 児童発達支援センタークムレ	
⑨ きらり水島	
⑩ きらり玉島	
⑪ てとて	
(2) 倉敷拠点	85
① 児童発達支援センター倉敷学園	
② きらり中庄	
③ きらり倉敷	
④ きらり児島	
⑤ あしたば	
⑥ 共同生活援助事業所クムレ	
⑦ コトノハ	
⑧ 放課後等デイサービス コトノハ	
⑨ 生活介護事業所わきあいあい	
⑩ クラシス	
⑪ やさい畑クムレ	
⑫ なないろ	
⑬ 倉敷地域生活支援センター	
⑭ 倉敷発達障がい者支援センター	
4. 事業報告の附属明細書	175





## 平成30年度 社会福祉法人 クムレ 法人事業報告

### 1 総括

平成30年度は、法人理念「ともに育ち ともに生きる」を実現するために、地域共生社会の実現に向けての福祉的課題への対応として、昨年度から進めてきた。2拠点体制を推進した。1年間を通じて、拠点の考え方＝拠点コンセプトの伝達に取り組み、内容を深化することができた。

拠点ごとの、役割や特色を活かしながら、業務を推進するための目標とするテーマをカテゴリーごとに会議体として、参加メンバーからの意見を吸い上げながら、拠点全体での取り組みへと展開することができた。

また30年度は、7月の豪雨災害で真備、総社地区といった身近なエリアが被災し、オール岡山での福祉的な支援体制の構築について、法人をあげてバックアップし、岡山県 DWAT 活動の拠点としての、人財、宿泊場所、車両等の提供、チームのバックアップ体制に取り組んだり、福祉施設間の連携として、復旧の支援や物資の提供等を行ったりした。

次年度に向けては、拠点での業務執行体制の構築や災害対応の強化等、平時からどのように準備をしていくか、地域を巻き込んだ体制づくりが課題となっている。

### 2 平成30年度の法人全体の具体的な事業成果

- ① 拠点のコンセプトの実現に向けた拠点体制づくり  
カテゴリー会議での事業推進体制など（※拠点報告参照）
- ② 災害支援への対応  
7月豪雨災害にかかわる、DWAT、福祉施設支援
- ③ 研修及び人材育成の充実  
階層別研修、専門研修等の実施、評価者研修等による面接スキル改善
- ④ 第三者評価の活用  
第三者評価報告会を通じて課題の共有
- ⑤ 外部監査に向けた取り組み  
会計事務所による監査体制に向けた確認作業と体制の改善
- ⑥ 新規事業・施設整備について  
小ざくら乳児保育園老朽改築および企業主導型保育所

### 3 最後に

平成30年度は、拠点化、災害支援を中心に、地域の中での法人の役割や関係性の構築について取り組み、課題も見えてきた年度でした。

また人材の確保が今後ますます困難になる中で、中間的就労の取り組みなどを通じて様々な働き方や人財を集める必要がある年でもありました。

次年度は中期計画の策定の年でもあります。課題を整理して次のステップに進めるよう取り組みたいと考えております。

**職員の状況**

単位：人

	H31.3.31	増減	H30.3.31	H29.3.31	H28.3.31
正 規	212	3	209	214	201
A	13	4	9	20	24
B	150	3	147	127	125
派遣	18	▲4	22	17	11
合 計	393	6	387	378	361
平均年齢	34.3		33.5	33.8 歳	32.8 歳
平均勤続年数	6.1 年		6.1 年	5.5 年	5.1 年

※平均年齢、平均勤続年数の対象者は正規職員のみとする。

※嘱託 A：H30.3.31～フルタイムのみ計上

**設備投資**

事業所	内容	金額
倉敷学園・クラシス	開放廊下新設工事	1,372 千円
あしたば	調理器具購入	1,944 千円
あしたば	エアコン設置工事	1,199 千円

※1,000 千円以上の案件に限る

**資金調達**

平成 30 年度における新たな資金借入はありませんでした。

**新規事業**

平成 31 年 2 月 1 日指定 児童発達支援センター 倉敷学園 特定相談支援  
 平成 31 年 2 月 1 日指定 児童発達支援センター 倉敷学園 障害児相談支援  
 平成 30 年 4 月 1 日開始 岡山県委託 DV 被害者等相談・自立支援充実事業

**人財育成****①リクルート活動**

内容	開催日
新卒者向け法人説明会	平成30年 6月 2日 (土)
新卒者採用試験 (夏期) 第 1 回	平成30年 7月 22日 (土)
内定者懇親会	平成30年 9月 29日 (土)

新卒者採用試験（秋期）第2回	平成30年10月14日（日）
新卒者採用試験（秋期）第3回	平成30年11月11日（日）
内定式	平成31年 1月 5日（土）
新採用職員宿泊研修	平成31年 2月20日（水） ～2月22日（金）

## ② 法人内研修

### ・階層別研修

管理職、指導職（チームリーダー）、リーダー・キャップ、一般、新卒者職員のキャリアに応じ、必要な知識を身につけるため、それぞれ昇格者研修と全員参加のスポット研修を実施している。

### ・専門研修

拠点別に、業務を遂行する上で、必要な知識等の研修を実施している。

### ・各事業所内研修

専門研修との相互補完を目的とし、各事業所で計画した事業所単位の特性に応じた研修を実施している。

## ③ 実践研究発表会

目的：日常業務の中の問題や課題を整理し、問題解決を行う自己研鑽及び発表の場とする。

日程：平成31年2月10日（日）9：30～16：00

会場：水島愛あいサロン

参加対象者：全正規職員

発表：（16題 拠点ごと会場にて実施）

## ④ 5 法人合同研修会

目的：5法人が、それぞれで行っている先駆的な取り組みについて発表し、自己研鑽や職員の交流を通じた職員啓発の場とする。

日程：平成30年11月29日（木）～11月30日（金）

主催：社会福祉法人青山里会（名古屋）

理事会・評議員会の開催状況
---------------

## 【理事会】

回数	開催日・場所	内容
第1回理事会	平成30年5月31日 倉敷学園 2階会議室	第1号議案 平成29年度事業報告について 第2号議案 平成29年度決算関係書類並びに財産目録の承認について 第3号議案 定時評議員会開催について 第4号議案 倉敷市社会福祉施設等整備計画の応募について 第5号議案 企業主導型保育事業の応募について 第6号議案 福祉はぐくみ企業年金基金加入について 第7号議案 諸規定改廃について 報告事項1 福祉・介護職員処遇改善加算の給付について 報告事項2 保育職員処遇改善加算の給付について 報告事項3 障害 基幹ソフトの更新について 報告事項4 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について 報告事項5 社会福祉法人会計監査人設置モデル事業の応募について
第2回理事会(臨時理事会)	平成30年8月31日 倉敷学園 2階会議室	第1号議案 審議事項1 平成30年度 第一次補正予算について 審議事項2 上期賞与支給について 審議事項3 平成30年度 保育分野における賃金改善計画の配分方法について 第2号議案 審議事項1 建物新規取得について 審議事項2 小ざくら夜間保育園 認定こども園の移行について 第3号議案 諸規程改正について 報告事項1 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について 報告事項2 平成30年度 指導監査結果について
第3回理事会	平成30年11月27日 倉敷学園 2階会議室	第1号議案 倉敷学園 相談支援事業所開設について 第2号議案 小ざくら保育園改修工事に伴う業者選定について 第3号議案 平成30年度 企業主導型保育事業助成決定内示に伴う業者選定について 第4号議案 水島拠点 駐車場用地賃借契約について 第5号議案 保育分野における平成30年度賃金改善計画について

		<p>第6号議案 諸規程改正について</p> <p>報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について</p> <p>報告事項 2 平成30年度 指導監査結果について</p> <p>報告事項 3 倉敷市社会福祉施設整備計画(平成31年度整備分)公募について</p> <p>報告事項 4 平成30年度 重層的住宅セーフティネット構築支援事業第二次公募について</p> <p>報告事項 5 平成30年度 岡山県社会福祉法人会計監査人設置モデル事業の実施について</p> <p>報告事項 6 平成30年度 倉敷市社会福祉施設整備の選定結果について</p>
第4回 理事会	平成31年1月30日 倉敷学園 2階会議室	<p>第1号議案 審議事項 1 平成30年度第二次補正予算について</p> <p>審議事項 2 下期賞与について</p> <p>審議事項 3 保育分野における賃金改善について</p> <p>第2号議案 内部管理体制の基本方針について</p> <p>第3号議案 諸規程改正について</p> <p>第4号議案 企業主導型保育事業及び小ざくら保育園改修工事における入札について</p> <p>報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について</p> <p>報告事項 2 平成30年度 重層的住宅セーフティネット構築支援事業第二次公募の選定結果について</p> <p>報告事項 3 平成30年度 岡山県地域公益活動推進センター「制度の狭間の課題解決モデル事業」指定並びに助成金交付について</p> <p>報告事項 4 平成30年度幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業費補助金の交付決定について</p>
第5回 理事会	平成31年3月18日 倉敷学園 2階会議室	<p>第1号議案 平成30年度 第三次補正予算(案)について</p> <p>第2号議案 平成31年度 法人事業計画(案)について</p> <p>第3号議案 平成31年度 法人予算(案)について</p> <p>第4号議案 平成31年度 新組織(案)について</p> <p>第5号議案 諸規程改正(案)について</p> <p>第6号議案 理事の報酬について</p> <p>第7号議案 定款変更(案)について</p> <p>第8号議案 臨時評議員会開催について</p> <p>第9号議案 小ざくら夜間保育園の移転について</p>

		<p>報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について</p> <p>報告事項 2 平成 30 年度 指導監査結果について</p> <p>報告事項 3 平成 30 年度 企業主導型保育事業（整備費）助成決定について</p>
--	--	---

**【評議員会】**

回数	開催日・場所	内容
第1回 評議員会 (定時)	平成 30 年 6 月 27 日 倉敷学園 2 階会議室	<p>第 1 号議案 平成 29 年度 実施事業概要報告について</p> <p>第 2 号議案 平成 29 年度 決算報告について</p> <p>第 3 号議案 倉敷市社会福祉施設等整備計画の応募について</p> <p>第 4 号議案 企業主導型保育事業の応募について</p> <p>第 5 号議案 福祉はぐくみ企業年金基金加入について</p> <p>報告事項 1 社会福祉法人会計監査人設置モデル事業の応募について</p> <p>報告事項 2 障害 基幹ソフトの更新について</p> <p>報告事項 3 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について</p>
第2回 評議員会 (臨時)	平成 31 年 3 月 27 日 倉敷学園 2 階会議室	<p>第 1 号議案 役員、評議員の報酬等の支給の基準の承認について</p> <p>第 2 号議案 役員の報酬額決定の承認について</p> <p>第 3 号議案 定款変更の承認について</p> <p>報告事項 1 平成 31 年度 法人事業計画について</p> <p>報告事項 2 平成 31 年度 新組織について</p> <p>報告事項 3 平成 31 年度 法人予算について</p> <p>報告事項 4 理事長及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告について</p> <p>報告事項 5 平成 30 年度指導監査結果について</p>

**法人行事**

- (1) 辞令交付式 平成 31 年 4 月 1 日 (月)
- (2) 新年互礼会 平成 31 年 1 月 4 日 (金)

**現況に関する重要事項**

地域公益活動について

- 地域における子育て支援活動の実施
- 地域行事へ参加
- ボランティア受け入れ
- 地域住民へ啓発活動（フォーラム・座談会開催・講演会実施）
- 地域住民を巻き込んだイベントの開催（クラコト フェスティバル等）

### 余裕資金使途について

今後、主な使途は次の通り予定しております。

#### 施設整備関連

事業名	時期	概算費用	その他
くりのおうち保育園 新築工事	令和元年度	5,500万円	
小ざくら夜間保育園 移転に伴う、土地建物 取得及び改修費用	令和元年度	14,980万円	
小ざくら保育園 幼児室増築工事	令和元年度	4,000万円	
コトノハ 2階改修工事	令和元年度	3,000万円	
小ざくら乳児保育園 建替工事	令和2年度	68,048万円	
あしたば改修工事	未定	10,000万円	平成5年竣工 築23年経過
児童発達支援センター クムレ、児童家庭支援 センタークムレ改修	未定	30,000万円	築42年経過
グループホーム増設	未定	20,000万円	あしたば改修 に伴う受け入れ先確保
きらり倉敷、玉島移転	未定	500万円	

※無料又は低額料金でのサービス

※生活困窮者支援

※第三者評価継続受審

※人財育成勉強会開催（社内・社外向け）

※地域の耕作放棄地田活用（地域の高齢者に代わり障がい者支援をかねて実施）

※地域住民・利用者・保護者の憩いの場を提供（ひろばにじいろ・栗の家）

## 事務局

### 【事業実施概要】

前年度から引き続き、社会福祉法の改正に対応したが、中でも会計監査に焦点を当てて実施した。一定規模を超える法人に義務付けられた「会計監査人」による外部監査の導入は猶予措置がとられたが、対応するための予備調査を前年度で終了し、本年度より公認会計士との監査契約に基づく任意監査に移行するとともに、導入に必要な規定を整備・導入した。また、社会福祉法人が遵守すべき基準（社会福祉法人指導監査ガイドライン）に沿った適切な法人運営に向けて、事業所ごとのセルフチェック機能を高めると共に、役職者等による事業所の業務監査を実施した。

さらに、離職率の低減を昨年度から図り、処遇改善制度を活用した給与水準額の引上げと共に、採用時のデマンドを考慮した人事配置を実現することと、配属先での育成計画を明確にし、長期的視野に立った人材育成の仕組みを実現した。また、人材確保の体制化を構築した。

### 【事業詳細】

番号	達成目標（何を、どのレベルまで）	実施計画（いつ、どのような方法で）	実施内容
1	会計監査導入に向けた内部統制の準備	4月より岡山県のモデル事業を受託し、諸規定及び内部監査の整備を行い、会計監査を受審する体制を整える。	岡山県会計監査人設置モデル事業を受託し、200万の補助金を受託した。
2	法人の情報発信を双方向性のあるものにする	マーケティング活動により、ターゲットと既存ツールを見直し、情報発信の効果を検証していく。	ホームページを全面的にリニューアルし双方向性を意識した内容に変更した。
3	業務効率の推進	会計監査の視点で、事務局内の現金の取り扱いを見直し、期末までに取扱い事務を減少させる。	未達成
4	業務効率の推進 経費精算のあり方を見直し	経費精算業務全体を把握し <b>期末までに</b> IT化による効率化を推進する。	未達成
5	業務効率の推進 労務手続きのIT化	社会保険・労働保険における手続き業務のIT化を推進す	働き方改革関連法案の対応と併せ、勤怠



		る。	管理ソフトを導入した。
6	業務効率の推進	昨年度導入した人事・給与システムを活用し、人材データ管理を推進する。	人材データを活用していくため、人事管理ソフトを導入した。
7	人材派遣会社の紹介手数料を前年度比 50%削減	採用チームによる職員採用活動を活発化させ、人材派遣会社の紹介手数料について前年度比 50%削減を目指す。	人材確保の体制化を構築し、紹介手数料の削減に繋がった。
8	各拠点における社会貢献活動の明確化と情報公開	拠点でのひろば（にじいろ、栗の家）における公益的な取り組みを整理し、会計上で見える化し情報公開する。	社会福祉法人における公益的な取り組みを推進するとともに、HP上で発信していく体制を構築した。また、ひろば栗の家は、西日本豪雨災害において岡山県 DWAT 活動の拠点として活用した。
9	事業運営の透明性の向上	情報公開規程等の整備とそれに基づく情報開示を実施する。	未実施

## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標（何を、どのレベルまで）	実施計画（いつ、どのような方法で）	実施内容
1	有休休暇を年間付与日数の半分程度を目標として取得する。	毎月の勤務表に明記し、年間を通じて計画的に有給を取得していく。	概ね実施。
2	超過勤務を縮減し、週 2 日定時退社を実施する。	事務・業務改善検討を年間研修計画として位置づけ業務改善と効率化を図る。	業務分担と業務改善を実施したが、職員退職により再度整理が必要となった。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標（何を、どのレベルまで）	実施計画（いつ、どのような方法で）	実施内容
1	全事業所 BCP を活用できるように整備する。	リスク防災委員会と合同でマニュアルの活用、業者対応先の整理等を進める (月次)	計画通り実施したが、ファイリング等からの抜本的見直しが必要である。
2	5 S 活動により事務所が整理されている。	毎月整理日を設ける 7月に不要なものを整理する。	未実施。

【地域貢献】

番号	達成目標（何を、どのレベルまで）	実施計画（いつ、どのような方法で）	実施内容
1	まずは町内会の方と顔見知りになり、挨拶ができる。	3月と9月にある町内会の清掃活動に参加する。	町内会の清掃行事に参加。
2	耕作放棄地を活用して町内会の困りごとを解決する。	町内会の会長や土木委員等に話をする。	町内会長と連携して協議。

【人員体制】

職員数 (常勤換算)		総務	財務	労務	計
	正規職員	兼務	2	1	3
	パート・派遣	0.5	1	0.7	2.2
	計	0.5	3	1.7	5.2

【年間研修計画】 事業所内研修に限る

毎月	事務連絡会（経営情報から議題を1つ選択し開催）
----	-------------------------

【年間行事計画】

4月	辞令交付式・入社式
5月	理事会・評議員会
6月	法人説明会、理事会・評議員会

7月	採用試験
8月	理事会
9月	内定者交流会
10月	採用試験
11月	採用試験、5 法人合同研修会、理事会
12月	なし
1月	内定式、第三者報告会、理事会
2月	新採用職員合宿研修
3月	理事会・評議員会



## 水島拠点

- ・ 幼保連携型認定こども園 小ざくら保育園
- ・ 小ざくら乳児保育園
- ・ 小ざくら夜間保育園
- ・ 小ざくら小規模保育園
- ・ 小ざくら地域子育て支援センター
- ・ 母子生活支援施設 倉敷市鶴心寮
- ・ 児童家庭支援センタークムレ
- ・ 児童発達支援センタークムレ
- ・ 児童発達支援事業所 きらり水島
- ・ 児童発達支援事業所 きらり玉島
- ・ 指定特定相談支援事業所、指定障がい児相談支援事業所 てとて

## 幼保連携型認定こども園 小ざくら保育園

### 【事業実施概要】

水島拠点コンセプト「人をつなぐ 地域をつなぐ。子どもから始まり、みんなで支え合う水島の地域づくり」を目指して、子育ての拠点機能を持つ、幼保連携型認定こども園として、地域の子育てを支え、地域の住民とかかわりを強めながら運営をしていく関係性を強化しました。また施設整備について次年度年初に行えるよう準備を行いました。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	保護者や地域住民との交流 (サロン等への参加)	地域清掃活動やサロンへの参加 753の宮参り	延べ12回
2	事例検討を通じた支援計画の推進	毎月事例検討を実施	毎月実施
3	きらりやセンターCとの職員交流	発達支援の観点で子どもの交流の機会	年7回実施
4	地域住民と保護者を巻き込んだ地域交流	水島朝市への参加	年2回

### 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	有給休暇の半分を全員が計画的に所得	50%を計画的に消化	管理職以外は消化
2	業務点検、マニュアル改善を通じた業務整理	マニュアルの整備について課題整理を実施	ハンドブックを作成し基本的なことを確認しました。
3	サークル活動を水島拠点で実施	和太鼓、ゆめこい活動の実施	港まつりが中止のため疲労の場がなかった

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCPマニュアルの活用し 災害対応訓練の実施	BCP チェックリストの活用	チェックリストか ら課題を抽出した
2	不審者対応訓練及び保護者 周知	年1回の不審者対応訓練 保護者への引き渡し訓練	9月実施 メール送信にて
3	KYTの訓練の実施	園内研修で実施	職員会議にて実施

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	今年度の取り組みについて 保護者へ伝達	5月の参観日の際に実施	方針や保育内容の 伝達
2	保育評価・利用者アンケート	2月実施	実施後集計
3	第三者評価の勉強会	職員会議にて実施	次年度に延期

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	増築工事の実施	31年4月着工	計画や業者選定の 実施
2	第2園庭の環境整備	31年4月着工	計画や業者選定の 実施
3	2F サッシの更新	31年4月着工	計画や業者選定の 実施

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向 定員:1号 15名、2・3号 240名																			
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異		
1号	3歳児分	実績	9	9	10	11	11	13	18	17	18	18	22	23	23	-	179	-	
		計画	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	17	72	107	
		H29年度実績	5	5	6	7	7	10	10	12	12	13	14	15	15	8	116	63	
		H28年度実績	8	9	9	9	9	9	8	9	10	10	10	10	10	13	110	69	
	4歳以上児分	実績	14	14	17	17	18	18	18	17	17	17	18	18	18	-	203	-	
		計画	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	6	144	59	
		H29年度実績	9	9	9	12	12	10	9	9	9	9	9	8	8	10	114	89	
		H28年度実績	6	8	8	8	8	9	9	9	8	8	7	7	7	11	95	108	
2・3号	1・2歳児分	標準	実績	53	53	53	52	53	50	46	47	46	44	44	44	-	587	-	
			計画	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	-10	648	-61	
		短時間	H29年度実績	56	56	56	56	56	53	53	52	52	52	52	52	-8	646	-59	
			H28年度実績	52	52	51	51	52	51	51	52	52	51	52	50	50	-6	617	-30
	3歳児分	標準	実績	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	-	5	-
			計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
			H29年度実績	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	-1	5	0
			H28年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		短時間	実績	56	56	55	54	55	53	55	58	58	57	55	55	55	-	667	-
			計画	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	-7	744	-77
			H29年度実績	51	51	49	47	47	46	44	45	45	45	44	44	44	11	559	108
			H28年度実績	62	62	62	61	61	62	62	60	60	59	59	59	59	-4	729	-62
4歳以上児分	標準	実績	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	2	2	-	8	-		
		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8	
	短時間	H29年度実績	1	1	2	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18	-10	
		H28年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8	
実績合計	標準	実績	104	104	102	103	103	102	102	102	101	100	98	99	99	-	1,220	-	
		計画	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	-19	1,416	-196	
	短時間	H29年度実績	123	123	123	117	117	115	116	117	118	119	119	121	121	-22	1,428	-208	
		H28年度実績	112	111	110	109	109	109	109	109	109	107	108	108	108	-9	1,310	-90	
利用率	標準	実績	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	3	2	2	-	13	-	
		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	13	
	短時間	H29年度実績	3	3	3	4	4	4	5	4	3	2	2	2	2	0	39	-26	
		H28年度実績	4	4	5	7	7	7	7	7	7	9	10	10	10	-8	84	-71	
実績合計	標準	当年度	238	238	237	238	242	238	240	242	242	242	242	243	243	-	2,882	-	
		計画	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	-9	3,024	-142	
	短時間	H29年度実績	248	248	248	246	245	240	239	241	241	242	243	244	244	-1	2,925	-43	
		H28年度実績	244	246	245	245	246	247	246	246	246	244	246	244	244	-1	2,945	-63	
利用率	標準	当年度	93.3%	93.3%	92.9%	93.3%	94.9%	93.3%	94.1%	94.9%	94.9%	94.9%	95.3%	95.3%	-	94.3%	-		
		H29年度実績	97.3%	97.3%	97.3%	96.5%	96.1%	94.1%	93.7%	94.5%	94.5%	94.9%	95.3%	95.7%	95.7%	-0.4%	95.6%	-1.3%	
	短時間	H28年度実績	95.7%	96.5%	96.1%	96.1%	96.5%	96.9%	96.5%	96.5%	96.5%	95.7%	96.5%	95.7%	95.7%	-0.4%	96.2%	-2.0%	
II 月間開所日																			
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異		
実績		26	23	26	25	26	26	24	23	22	23	23	25	25	-	244	-		
H29年度実績		26	23	26	26	26	26	24	23	22	23	23	26	26	-1	245	-1		
H28年度実績		26	23	26	26	26	26	24	23	22	23	24	26	26	-1	245	-1		
V 職員配置																			
職員配置基準		児童数	換算	実員		換算													
1・2歳児	6:1	59	9.8	正職	18	18.0													
3歳児	15:1	64	4.3	嘱託A	1	1.0													
4・5歳児	30:1	119	4.0	嘱託B	10	6.4													
			0.0	派遣	5	2.5													
加配			8.0	補助職	3	0.0													
計		242	26.1	計	37	27.9													



【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	保育教育に関わる全体計画及び年間カリキュラムの進め方について	職員会議にて実施 事業方針及び今期の計画について
5月	目標管理及び業務標準について（マニュアル研修） 運動研修	
6月	公開保育	5歳児クラス
7月	公開保育 水遊び研修	4歳児クラス
8月	第三者評価研修	災害支援のため延期
9月	公開保育	3歳児クラス
10月	公開保育	2歳児クラス
11月		
12月	自己評価	2月実施
1月	保育の見直しについて	次年度の検討課題へ
2月		
3月	次年度の保育について	事業計画についての検討
エピソード記録 業務の標準化（ビデオ等で確認）		職員会議にて実施

【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	入園式 進級式 遠足	例年通りとどおこおりなく実施
5月	花祭り 子どもの日 参観日	〃
6月		〃
7月	七夕会 お泊り保育	〃
8月	港まつり	〃
9月	お月見会 敬老会 参観日	〃
10月	運動会 遠足	〃
11月	七五三	〃
12月	もちつき クリスマス	〃
1月	カルタ取り大会 懇談	〃
2月	節分会	〃
3月	ひな祭り会 卒園式	23校へ62名の園児が卒園

## 小ざくら乳児保育園

### 【事業実施概要】

乳幼児期の情緒的な絆（愛着形成）は、人格形成において最も大切な時期であることを踏まえ、一人ひとりの子どもの成長発達を温かく見守り、丁寧に関わることを意識して取り組んできた。また、職員自身が子どもの良い手本となれるように研鑽を行ってきた。地域の子育て支援では開かれた保育園となるように、職員が地域に出向いたり、保育園体験ができる機会を設けたりしながら地域の方々との交流も増えてきている。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>①地域・家族からのニーズを捉え、スピーディーに事業に活かし実践</p> <p>②事業所の保護者からの育児相談・悩み・困りごとへの対応</p> <p>③福祉的生活課題や制度の狭間の課題を抱えた家族への対応を行う</p>	<p>①にじいろサロンへの参加を通し、地域での子育て環境やニーズをキャッチし対応する。</p> <p>・なないろ教室への参加</p> <p>②職員会議で相談等の報告、分析、周知し支援に活かす。</p> <p>③拠点内の事業所や地域の関係機関とともに、事例検討会を実施して対応する</p>	<p>①なないろ教室に参加した。</p> <p>②毎月、職員会議で報告した。</p> <p>③2・3月に関係機関と事例検討会を実施した。</p>
2	<p>①年齢発達に沿った生活や遊びの環境づくりと良質な保育の実践</p> <p>②職員自らが子どもの良い手本となる</p>	<p>①保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をもとに、各年齢ごとにねらい、保育内容を見直し計画立案、実施・評価をしていく。</p> <p>②公開保育の実施</p>	<p>①グループ活動を行いながら、年齢ごとにねらいをもって進め、改善しながら行った。</p> <p>②計画に沿って実施した。</p>
3	<p>①妊娠（祝福）、産前産後、乳児期からの支援</p>	<p>①保健師、産院との連携</p> <p>・ひろば（なないろ・ゆめいろ）に参加する。</p>	<p>①産院への訪問は定期的に子育て支援センターの職員と一緒に</p>

	②開かれた保育園の実践 ・親同士の交流の場をつくり、愛着形成を図る	②保育園体験の開催 「わくわく・ドキドキ初めての保育園体験」 ・園解放、見学等	訪問した。ひろばへの参加も行った。 ②遊び、食事等を1ヶ月のスケジュールを組んで、こども園と一緒に実施した。
4	①地域住民、保護者が共に集える場、学びの場をつくる	①保護者会の交流 ・趣味、特技を通じた活動を推奨し、ひろばや地域交流スペースで地域住民と交流する。	①保護者の方に講師役となっただき、パン作りや親子クッキングを行った。

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	サークル活動をする中で職員同士の交流の場をつくる	・サークル活動を水島拠点で実施	・拠点としてはできなかったが、楽器演奏等、サロン活動で行った。
2	有給休暇取得率の向上	・付与日数の半分を計画的に取得する	・計画的に取得できた。
3	ワークライフバランスの推進	・業務の整理と分担の見直し、 見える化を行う	・見える化ノートを活用し、協力体制をとりながら実施した。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	B C Pを活かした事業 所内緊急対応の実施 ・マニュアルの整備	作成計画にあわせた時期 に実施 ・災害対応訓練の実施	・事業所ごとに作成し リスク委員会に提出。 ・計画に沿って実施し た。
2	様々な場面を想定した 各種訓練の実施 (不審者・地震・津波など)	年間計画に基づき実施	・年間計画に基づき、不 審者等含めた訓練を毎月 実施した。

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業計画、保育方針に ついて説明会を実施	懇談会、参観日の場で映 像を使って具体的に説明	4月(0歳児)、 8月(1・2歳児)に分け て実施した。
2	自己点検を行い、現状 把握をし、改善する	30年度12月に実施 次年度の取り組み(計 画)に活かす	1月に実施した。
3	利用者アンケートの実 施	30年度1月に実施 次年度の取り組み(計 画)に活かす	3月に実施し、集計結果 を保護者に配布した。

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	乳児棟建て替え	31年度 大規模修繕補助 金事業を計画に入れる	30年11月：選定

【利用者数・職員配置】

平成30年度		3 月予算実績管理表												事業所名：小ざくら乳児保育園			責任者名：山本己晴		
I 利用者動向 定員：90名																			
乳児分	項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異		
	標準	実績	22	23	24	24	27	29	33	40	42	46	46	46	46	-	402	-	
		計画	19	21	23	25	27	28	29	35	42	44	44	44	44	2	381	21	
		H29年度実績	25	25	26	27	29	32	34	37	39	41	41	43	43	3	399	3	
		H28年度実績	19	24	28	29	31	31	35	37	38	37	40	42	42	4	391	11	
		H27年度実績	15	17	22	22	25	34	33	34	35	38	38	38	38	8	351	51	
	短時間	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	
		計画	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	-4	
		H29年度実績	0	0	0	1	2	2	3	2	2	1	2	2	2	-2	17	-17	
		H28年度実績	7	5	3	3	2	2	1	1	1	2	2	1	1	-1	30	-30	
		H27年度実績	13	12	12	12	9	7	8	7	7	7	7	8	8	-8	109	-109	
	1・2歳児分	標準	実績	68	68	70	70	70	68	68	70	69	67	67	67	67	-	822	-
			計画	66	66	66	66	70	69	69	70	69	70	70	70	70	-3	820	2
H29年度実績			58	58	58	57	57	57	57	57	57	56	55	54	54	13	681	141	
H28年度実績			60	60	62	62	62	62	60	59	60	55	55	55	55	12	712	110	
H27年度実績			46	45	45	46	48	49	49	49	49	48	48	48	48	19	570	252	
短時間		実績	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	12	-	
		計画	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	16	-4	
		H29年度実績	1	1	1	2	2	2	1	1	0	0	1	1	1	0	13	-1	
		H28年度実績	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	8	
		H27年度実績	10	11	14	14	13	11	11	11	11	12	11	11	11	-10	140	-128	
実績合計		当年度	91	92	95	95	98	98	102	111	112	114	114	114	114	-	1,236	-	
		計画	87	91	92	94	98	98	99	106	112	114	115	115	115	-1	1,221	15	
		H29年度実績	84	84	85	87	90	93	95	97	98	98	99	100	100	14	1,110	126	
	H28年度実績	88	91	93	94	95	95	96	97	99	94	97	98	98	16	1,137	99		
	H27年度実績	84	85	93	94	95	101	101	101	102	105	104	105	105	9	1,170	66		
利用率	当年度	101.1%	102.2%	105.6%	105.6%	108.9%	108.9%	113.3%	123.3%	124.4%	126.7%	126.7%	126.7%	126.7%	-	114.4%	-		
	H29年度実績	93.3%	93.3%	94.4%	96.7%	100.0%	103.3%	105.6%	107.8%	108.9%	108.9%	110.0%	111.1%	111.1%	15.6%	102.8%	11.7%		
	H28年度実績	97.8%	101.1%	103.3%	104.4%	105.6%	105.6%	106.7%	107.8%	110.0%	104.4%	107.8%	108.9%	108.9%	17.8%	105.3%	9.2%		
	H27年度実績	93.3%	94.4%	103.3%	104.4%	105.6%	112.2%	112.2%	112.2%	113.3%	116.7%	115.6%	116.7%	116.7%	10.0%	108.3%	6.1%		
	II 月間開所日																		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	24	25	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	25	-	293	-			
H29年度実績	24	24	26	25	26	24	26	24	23	23	23	25	25	0	293	0			
H28年度実績	25	23	26	25	26	24	26	24	23	23	23	26	26	-1	294	-1			
H27年度実績	25	23	26	26	26	23	27	23	23	23	24	26	26	-1	295	-2			
III 概算収入																			
請求額		17,092,290																	
保育所委託費		17,092,290																	
IV 契約数																			
区分	0歳	1歳																	
当月新規契約	0	1																	
当月契約終了	0	1																	
V 職員配置																			
配置基準		児童数	換算	実員		換算													
0歳児	3:1	46	15.3	正職	15	15.0													
1・2歳児	6:1	68	11.3	嘱託A	4	4.0													
				嘱託B	18	13.0													
加配			5	派遣															
計		114	31.7	計	37	32.0													
VI 契約終了事由																			
VII 当月総括及び次月予定																			

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	小ざくら保育の取り組み、連絡帳、保育プラン書、アレルギー対応、保護者対応、職員の心構え、報告・連絡・相談について、各種保育計画について、意見・苦情・要望、事故・ヒヤリはっと、リズム遊び、OJTについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な業務を身につけることができるように、マニュアル・要領書について説明する。</li> <li>・相談、連絡、報告の重要性を伝える。</li> </ul>
5月	業務目標管理制度について  公開保育（すずらん組）  安田式体育遊具の運動遊び（実技）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標管理の立て方について具体的に伝える。</li> <li>・子どもへの関わり、室内（遊び・生活）の環境について意見交換と振り返りを行い日々の保育に活かす。</li> <li>・研修に参加した職員が中心となり実技研修を行う。</li> </ul>
6月	公開保育（うめ・さくら組）	・5月（すずらん組）と同様
7月	公開保育（すみれ・たんぽぽ組）	・ //
8月	わらべうた・玩具	・グループ活動の職員が中心となり実技研修を行う。
9月	公開保育（ほし・ひまわり組）	・5月（すずらん組）と同様
10月		
11月	粗大運動 造形	・グループ活動の職員が中心となり実技研修を行う。
12月		
1月	不審者対応訓練	・不審者（職員）への対応を行った後、役割等について振り返りを行う。
2月	安田式体育遊具の運動遊び（実技） リズム遊び	・研修に参加した職員が中心となり実技研修を行う。
3月		

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	入園式	29年度途中入園(27名)、30年度新入園児48名、計:75名参加
5月	花まつり	花御堂を飾りお参りした。
6月		
7月	七夕会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 地域の親子10組参加
8月	参観週間	日頃の生活や遊びの様子を見ていただく。
9月	お月見会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 地域の親子10組参加
10月	運動会、遠足	運動会は、第2園庭で実施、親子で参加。
11月	七五三、参観週間	春日神社へ七五三のお参りに行った。
12月	もちつき、クリスマス会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 西和会シニアの方、催しに参加。 クリスマス会に、地域の親子10組参加
1月		
2月	節分会 参観週間、懇談週間	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 西和会シニアの方、催しに参加。 地域の親子10組参加。 懇談週間は、園や家での様子について情報交換したり、成長の見通しや園での生活についてお知らせした。
3月	ひなまつり会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 地域の親子10組参加。

## 小ざくら夜間保育園

### 【事業実施概要】

水島拠点のコンセプトにもとづき、事業所間（特に社会的、家庭的養護を担う鶴心寮、児童家庭支援センタークムレ等の事業所）のチームワークと関係機関との連携に力を入れ、事例検討（ケース会議）や情報交換、交流行事などを行った。地域住民の方々（栄町）と行事などを通じて交流することで、顔の見える関係作りができた。保育園の運営としては、利用率の計画を下回ったものの、年平均では定員を満たすことができた。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	福祉的生活課題や制度の狭間の課題を抱えた家族への対応を行う	拠点内事業所や地域の関係機関とともに事例検討会を実施して対応する。 (月1回)	業務都合により参加できない月もあったが、概ね参加することができた。3月には、当園の事例を提供し、子ども相談センターの方も参加する中で活発な検討会を行うことができた。
2	発達に応じた保育援助（発達支援）と環境作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をもとに、年齢ごとにねらい、保育内容を見直し、計画立案、実施・評価をしていく。 (月1回)</li> <li>・乳児（3歳未満児）愛情豊かで受容的、応答的な子どもへの関わりや保護者への育児支援（プラン書懇談含む）等を通して愛着関係が形成されるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施した。</li> <li>・日々の送迎時でのやり取りに加え、プラン書懇談で児童の様子や家庭の様子について情報を共有し、アドバイスをを行った。</li> </ul>



		<p>1.6歳児まで…月1回 3.0歳児まで…2カ月に1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会（専門研修）、公開保育（職員の体験学習）の実施</li> </ul> <p>（年1回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に専門研修に参加し、クラスを交えて公開保育を行った。1名はきらり水島にて3カ月間実習した。</li> </ul>
3	利用者（卒園していった子ども、家族を含む）のネットワーク作りを行う	<p>一緒に行事や催しの企画と開催を行う</p> <p>（年4回）</p>	<p>①春の親子遠足、②親子キャンプ、③秋の親子遠足、④お別れ会の4回を開催し、卒園児・保護者も参加した。</p>
4	ひとり親家庭を地域で支え合える体制づくりを鶴心寮、児童家庭支援センタークムレとの協働により行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾隣保館の施設見学（5月）</li> <li>・母子寡婦福祉連合会、社会福祉協議会等の外部関係機関とも協働し、「ひとり親家庭支援連絡協議会（鶴心寮）」の立ち上げに協力する</li> <li>・自園を含む、社会的・家庭的養護を担う鶴心寮、児童家庭支援センタークムレ（小ざくら地域子育て支援センターを含む）の啓発活動を行う</li> </ul> <p>パンフレットを作成し、定期的な配布、関係機関との情報共有を行う。</p> <p>（年3回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間保育園からは参加なし。</li> <li>・「暮・働」の会議体において協力した。</li> <li>・リーフレットを作成し、福祉事務所にて説明会開催、公民館や児童館、総合病院にて配付。リーフレットを手にとってもらえてはいるものの問い合わせまでには至らず。</li> </ul>
5	子どもを中心とした支え合いの基盤作りを鶴心寮、児童家庭支援センタークムレ、学生や地域の支援者（愛育委員、主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や地域の支援者（愛育委員、主任児童委員など含む地域住民）との協働により、地域の子どもと交流の機会をもち、見守りや居場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「支」の会議体において、居場所作りの検討を行った。</li> </ul>

	<p>任児童委員など含む地域住民)との協働により行う。</p> <p>地域住民、職員が出会ったり、関わったり、学んだりする場を増やす。</p>	<p>所作りに関わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居のお年寄りとの交流(訪問含む) (年4回)</li> <li>・カフェ、赤ちょうちん、保護者交流、研修などへの参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕涼み会(西日本豪雨で七夕会から変更)、お月見会、クリスマス会に地域のお年寄りを招いて園児と交流している。独居高齢者宅は12月と3月の2回訪問している。</li> <li>・にじいろカフェやひだまりカフェ、赤ちょうちんに職員が参加。保護者にも声をかけ、参加してもらっている。</li> </ul>
--	---	---	--

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	サークル活動をする中で、職員同士の交流の場をつくる	・サークル活動を水島拠点で実施(コーラス・バトミントン・ハンドメイドなど)	サークル活動に参加実績なし。
2	有休取得率の向上	・有休休暇の半分を計画的に取得する	年間付与日数に対し50.2%取得。
3	ワークライフバランスの推進 ・定時退社の定着	・業務の整理と分担の見直し、見える化、記録のスリム化を行う	手書きの書類をデジタル化し、NASを導入。業務負担の軽減を行った。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCPを活かした事業所内緊急時対応の実施 ・マニュアルの整備	作成計画に合わせた時期に実施	リスクマネジメント委員会主導でBCPの見直しを行い、事業所の非常災害対策計画を整備した。
2	様々な場面を想定した	年間計画に基づき実施	毎月の避難訓練にて火

	各種訓練を行う（不審者、地震・津波など）		災や自然災害に対する訓練を行い、不審者対応訓練も実施した。
--	----------------------	--	-------------------------------

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業計画や保育方針についての説明し、理解、協力してもらえようにする	懇談会（保護者会）および保育参観、行事の場で実施	5月30日の参観日にて保育説明会を実施。事業計画と保育方針の説明を行った。
2	自己点検を行い、現状把握をし、改善課題を明確にする	30年度12月に実施 次年度の取り組み（計画）に活かす	2月に実施。結果はホームページにて公表し、次年度の事業計画に盛り込んだ。
3	利用者アンケートの実施し、次年度の取り組み（計画）に活かす	30年度1月に実施 次年度の取り組み（計画）に活かす	3月に実施。結果は保護者に配付し、次年度の事業計画に盛り込んだ。
4	第三者評価の活用	指摘事項の改善	自己点検・利用者アンケートの結果と合わせ改善、次年度の事業計画に盛り込んだ。

## 【施設整備】

※年度当初の計画において特に施設整備計画は無かったが、連島の旧浅桐産婦人科の土地・建物の取得による小ざくら夜間保育園の移転計画が立ち上がり、2020年4月に向けて移転手続きの準備を行った。

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向 定員:30名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
乳児分	実績	5	5	5	5	5	5	4	4	6	7	7	7	7	-	65	-
	計画	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	0	72	-7
	H29年度実績	2	2	2	2	3	5	7	7	9	10	10	10	10	-3	69	-4
	H28年度実績	1	1	1	1	1	1	1	3	5	5	5	7	7	0	32	33
	H27年度実績	1	1	1	1	1	1	3	4	4	5	5	5	5	2	32	33
1・2歳児	実績	12	12	12	12	12	13	13	13	12	13	13	13	13	-	149	-
	計画	12	12	13	13	13	13	14	14	12	12	12	12	12	1	152	-3
	H29年度実績	8	9	9	9	9	10	10	9	8	8	8	8	8	5	105	44
	H28年度実績	7	6	6	6	8	7	7	7	7	6	7	7	7	6	81	68
	H27年度実績	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	-1	162	-13
3歳児分	実績	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	24	-
	計画	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	24	0
	H29年度実績	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	-4	60	-36
	H28年度実績	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	-4	73	-49
	H27年度実績	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	-3	67	-43
4歳以上児	実績	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	10	10	10	-	129	-
	計画	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	0	128	1
	H29年度実績	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	1	114	15
	H28年度実績	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	0	125	4
	H27年度実績	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	-1	132	-3
実績	当年度	31	31	31	31	30	30	29	29	30	31	32	32	32	-	367	-
	計画	30	30	31	32	32	32	33	33	30	31	31	31	31	1	376	-9
	H29年度実績	24	25	25	25	26	29	32	31	32	33	33	33	33	-1	348	19
	H28年度実績	26	24	24	24	26	24	24	26	28	28	27	30	30	2	311	56
	H27年度実績	31	31	31	31	31	31	34	34	34	35	35	35	35	-3	393	-26
利用率	当年度	103.3%	103.3%	103.3%	103.3%	100.0%	100.0%	96.7%	96.7%	100.0%	103.3%	106.7%	106.7%	106.7%	-	101.9%	-
	H29年度実績	80.0%	83.3%	83.3%	83.3%	86.7%	96.7%	106.7%	103.3%	106.7%	110.0%	110.0%	110.0%	110.0%	-3.3%	96.7%	5.3%
	H28年度実績	86.7%	80.0%	80.0%	80.0%	86.7%	80.0%	80.0%	86.7%	93.3%	93.3%	90.0%	100.0%	100.0%	6.7%	86.4%	15.6%
	H27年度実績	103.3%	103.3%	103.3%	103.3%	103.3%	103.3%	113.3%	113.3%	113.3%	116.7%	116.7%	116.7%	116.7%	-10.0%	109.2%	-7.2%
	II 月間開所日 単位:日																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
実績	24	24	26	24	26	22	26	24	23	23	23	26	26	-	265	-	
H29年度実績	24	24	26	25	26	24	26	24	23	23	23	26	26	0	268	-3	
H28年度実績	25	23	26	25	26	24	26	24	23	23	23	26	26	0	268	-3	
H27年度実績	25	23	26	26	26	23	27	23	23	23	24	26	26	0	269	-4	

※職員配置は年間を通して満たすことができた。

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	「小ざくら保育の取り組み」について、連絡帳、保護者対応について	「小ざくら保育の取り組み」について、連絡帳、保護者対応について
5月	各種保育計画について（月週案、日案、保育プラン書） 子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）	各種保育計画について（月週案、日案、保育プラン書） 子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）
6月	実技研修 制作（七夕飾り）	実技研修 制作（七夕飾り）
7月	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）
8月		
9月	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）

10月		
11月	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書） 実技研修 共同制作（クリスマス）	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書） 実技研修 共同制作（クリスマス）
12月		
1月	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書）
2月	実技研修 共同制作（ひな人形） 保育の自己点検（自己評価）	実技研修 共同制作（ひな人形） 保育の自己点検（自己評価）
3月	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書） 不審者対応訓練	子どもの発達と生活、遊びの援助と環境構成（保育プラン書） 不審者対応訓練

【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	入園式、親子遠足	遠足は水島中央公園へ行った。夕方、交流会として園庭でバーベキューをした。
5月	花まつり、保護者会総会、参観日（懇談会）	花まつりでは花御堂を飾りお参りした。園の方針や取り組みについて説明した。親子で遊んでもらったり、日頃の子どもの園での様子をみてもらったりした。
6月		
7月	七夕会、親子キャンプ	七夕会は西日本豪雨のため園のみで行った。親子キャンプは日帰りで長船美しい森へ行った。
8月	夕涼み会	七夕会が西日本豪雨のため地域の方が参加できなかったことから、夕涼み会を開催した。
9月	お月見会	お月見会には地域の方をお招きした。
10月	運動会、親子遠足	親子遠足は深山公園へ行った。
11月	参観週間	親子で遊んでもらったり、日頃の子どもの園での様子をみてもらったり

		した。
12月	クリスマス会、もちつき	クリスマス会には地域の方をお招きした。
1月		
2月	節分会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。
3月	ひな祭り会、お別れ会、卒園式	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。
その他	誕生会（毎月）、家庭訪問、個人懇談（プラン書懇談）	誕生会ではその月の誕生児のお祝いをした。新規利用児宅の家庭訪問を実施。個人懇談も行った。
	親子クッキング、試食会（ひよこ組）	親子クッキング、試食会を年3回実施した。

## 小ざくら小規模保育園

### 【事業実施概要】

乳幼児期は人格形成の大切な時期であることを認識し、一人ひとりの子どもを温かく見守りながら、自立を促す成長発達の援助を丁寧に行うとともに、家族に寄り添い、子育ての不安や悩みへの相談支援、保護者同士の関わりが深まり仲間意識が育まれるような機会や場の提供を大切にした。また、職員研修などを通して必要な知識や技術、心構えや考え方などの研鑽に努めた。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	保護者が安心して子育てが出来る環境の推進を事業所間や地域の専門機関などと連携して行う	①育児相談の記録と報告会の実施 (月1回:職員会議) ②拠点内事例検討会への参加 (月1回)	①職員会議で報告、職員への周知を行なった。 ②事例検討会に参加し、学ぶとともに事例を提供して実践に活かした。
2	保護者が主体的に育児に向き合い、保育者や他の保護者と関わりながら育児を楽しむ場を増やす	①保護者の集い(親子の愛着関係や心の育ちについて、子どもに還元できる小物作りなど) (2カ月に1回)	①4回実施。 (手作り玩具やおやつ作りなどを実施)
3	子どもの年齢・発達に沿った生活や遊びの環境づくりを行う(良質な保育の実践)	①保育指針の「幼児期に育ってほしい10の姿」をもとに、年齢ごとにねらい、保育内容を見直し、計画立案、実施・評価をしていく。 ②個別プラン、グループ活動、地域交流、自然に触れる活動を組み合わせる。 ③本園との交流(園児・保護者)を深め、保護者に3上のイメージをもってもらう。	①②保育内容を見直し、年齢ごとに計画を立案して保育の実施・評価(改善)を行った。  ③参観日やリズム遊び、行事などで交流を行った。

		④子どもの関わり方や子どもの育ちを保護者と確認し合う場を作る（保育参観日・懇談会）	④計画に沿って実施。
4	保育者自身が子どもの手本、子どもにとってよい人的環境となる （人間性、知識や技術の向上）	①職員の心構えの実践を行い、チームで確認し合う ②課題・視点を明確にした公開保育の実施	①職員会議で確認し合った。 ②計画に基づき、実施した。
5	地域住民と交流を深める中で、お互いに必要な事や困っている事を一緒にできる関係作りを行う	①園開放、お茶会等をする	①保護者の友人や祖父母と園の取り組みを一緒に行なった。

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	サークル活動をする中で、職員同士の交流の場を作る	・サークル活動を水島拠点で実施（コーラス・バドミントン・ハンドメイドなど）	・拠点の活動としては未実施。
2	有休取得率の向上	・有休休暇の半分を計画的に取得する	・年間で計画的に取得できた。
3	ワークライフバランスの推進 ・業務改善の提案 ・定時退社の定着	・業務の整理と分担の見直し、見える化を行う ・業務改善の提案 (月1回、職員会議)	・職員会議や日常的に改善提案を吸い上げ、改善を行なった。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCPを生かした事業所内緊急時対応の実施 ・マニュアルの整備	・災害対応訓練の実施	・事業所で作成し、担当委員会に提出。計画に沿って実施した。
2	様々な場面を想定した各種訓練の実施（不審者・地震・津波など）	・年間計画に基づき実施	・年間計画に基づき毎月実施した。



## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業計画や保育方針について説明をし、理解や協力をしてもらえるようにする	参観日で実施 (5月)	・5月に実施。映像を使って具体的に説明を行った。
2	自己点検を行ない、現状把握をし、改善をする	30年度12月に実施 次年度の取り組み(計画)に活かす	・自己点検を行い、1・2月で現状把握、課題を整理し、次年度の取り組みにあげた。
3	利用者アンケートの実施	30年度1月に実施 次年度の取り組み(計画)に活かす	・3月に実施。結果を保護者に配布した。 (感染症などの情報公開を行っている事が伝わっていないことがわかった為、今後活かしていく)
4	第三者評価に向けての取り組み	事業所内研修にて実施。 (5月～毎月)	・計画に基づき実施した。

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	なし		

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向 定員:18名

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異		
乳児分	標準	実績	3	3	4	5	5	6	6	7	7	6	6	6	6	-	64	-	
		計画	2	2	3	3	5	5	5	5	7	6	6	6	6	0	55	9	
		H29年度実績	1	1	2	2	3	2	4	6	6	6	7	7	7	-1	47	17	
		H28年度実績	0	0	1	2	3	5	5	7	7	8	8	8	8	-2	54	10	
	短時間	実績	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	-	
		計画	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	-3	
		H29年度実績	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4	-3	
		H28年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	1・2歳児分	標準	実績	15	15	16	16	15	16	16	15	15	15	15	15	15	-	184	-
			計画	12	12	13	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	0	170	14
			H29年度実績	10	10	11	11	10	10	11	12	12	12	12	12	12	3	133	51
			H28年度実績	9	10	9	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	5	122	62
短時間		実績	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	-	3	-	
		計画	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	5	-2	
		H29年度実績	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
		H28年度実績	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	-3	
実績		当年度	18	18	20	21	22	22	22	23	23	21	21	21	21	-	252	-	
		計画	14	14	16	16	22	22	22	23	23	21	21	21	21	0	234	18	
		H29年度実績	11	11	13	13	15	15	15	18	18	18	19	19	19	2	186	66	
		H28年度実績	10	11	12	13	14	15	15	18	18	18	18	18	18	3	182	70	
利用率	当年度	100.0%	100.0%	111.1%	118.7%	122.2%	122.2%	122.2%	127.9%	127.9%	118.7%	118.7%	118.7%	118.7%	-	118.7%	-		
	H29年度実績	81.1%	81.1%	72.2%	72.2%	83.3%	83.3%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	103.8%	103.8%	103.8%	11.1%	98.1%	30.8%		
	H28年度実績	55.8%	81.1%	88.7%	72.2%	77.8%	88.9%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	18.7%	84.3%	32.4%		

II 月間開所日 単位:日

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	25	-	292	-
H29年度実績	24	24	26	25	26	24	26	24	23	23	23	26	26	-1	294	-2
H28年度実績	25	23	26	25	26	24	26	24	23	23	23	26	26	-1	294	-2

III 概算収入

請求額	
保育所委託費	3,914,890

V 職員配置

配置基準	実員	換算
0歳 3:1 2.0	正職 4	4.0
1歳 6:1 2.5	嘱託A	
加配 1.5	嘱託B	5 2.0
	派遣	
計 6.0	計 9	6.0
	過不足	0.0

IV 契約数

区分	0歳	1・2歳
当月新規契約	0	0
当月契約終了	0	0

VI 契約終了事由

VII 当月格付及び次月予定

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	マニュアル・要領書の確認 子どもの発達、環境構成	・基本的な業務を手順に則って確実に実施できるよう、マニュアル、要領書の説明、確認を行い、共通の視点で保育に取り組めるようにした。
5月	危機管理（不審者対応・模擬訓練） 第三者評価について	・模擬訓練を行なうことで、職員の連携や役割の再確認を行なった。 ・「第三者評価」の意義や目的の再確認を行った。
6月		・「保育の評価のすすめ」に基づいて改善への取り組みを確認し合った。
7月		
8月		
9月	事故予防（KYT）について	・危険予測の研修を行なった。
10月		
11月	↓	
12月	保育の自己点検（自己評価）	↓
1月	園評価（課題の明確化・改善計画）	自己点検を基に話し合いを行い、園としての評価を出し、課題をまとめた。
2月	↓	↓
3月		↓

【年間行事】

実施月	研修項目	実施内容
4月	入園式	29年度途中入園6名、30年度新入園7名、計13名参加
5月	花まつり、参観日（保育説明会）	参観日：保護者9世帯参加
6月		
7月	七夕会（試食会）	七夕会・給食参観：17世帯参加
8月	保育参観週間	3日間で18世帯が参加
9月	参観日、お月見会	参観日：14世帯参加
10月	運動会、秋の遠足 秋祭り	運動会は小ざくら地域支援センターと合同で参加 秋祭りは本園と合同で実施

11月	七五三 保育参観週間	春日神社にお参りに行った。 3日間で17世帯が参加
12月	クリスマス会（試食会） もちつき	クリスマス会は18世帯参加、保 護者にサンタ役を依頼した。
1月		
2月	節分会、懇談週間 保育参観週間	懇談で情報交換や相談に応じた。 3日間で20世帯が参加
3月	ひなまつり会	由来や催しを楽しんだ。

## 小ざくら地域子育て支援センター

### 【事業実施概要】

産科や助産師、水島拠点の事業所との連携を通し、妊娠期から出産、子育てと切れ目のない支援が行えるようにしていった。また、地域の保護者とともに子どもの成長を喜び、愛情豊かに子育てできるように、地域住民との交流の機会をもち、みんなで子育てを支えていく体制作りへと繋がるように努めた。ひろばにじいろを入り口として、各種講座やサロン活動、カフェや赤ちゃんの開催等を通して、地域住民が楽しく交流して顔なじみになることもできつつある。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの育児相談、悩み困り事への対応</li> <li>・相談・支援のワンストップ化</li> <li>・情報共有と支援方法の検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にじいろサロンやほっとサロン等、遊びの場から出てくる相談を受け繋いでいく支援への実施</li> <li>・アウトリーチによる相談支援の実施</li> <li>・毎月の事例検討会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容により、他事業所に繋ぐことを行っていた。</li> <li>・様々な事業所の職員と一緒に事例について検討することで、問題点や支援方法などの捉え方の視点が広がった。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの拡大を図り、子育て支援の応援団を強化</li> <li>・ママキーパーソンの発掘を行い、地域での子育て力の向上</li> <li>・子育て情報と場の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クムレ・倉敷市いきいきポイントの推進(通年)</li> <li>・はじめの一步教室への参加(月1回)</li> <li>・保護者のエンパワメントを活かした活動とイベントの実施</li> <li>・年間継続して行うすこやか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア交流会等の開催等により、ボランティア同士の関わりも深める機会をもちながら新たなメンバーの発掘をしていった。</li> <li>・継続的に参加(地区担当制で3か月1回)。</li> <li>・保護者が特技を活かし講師となりママパワサロンの開催へ繋がった。</li> </ul>

	<p>①タイムリーな HP、Facebook の発信</p> <p>②ママパワ・出前講座の充実</p> <p>・発達に応じた保育援助（発達支援）と環境づくりを行う</p> <p>・保育・発達の支援観の統一</p> <p>・妊娠期から健診後のフォロー体制</p>	<p>サロン(親子教室)や、ひろばの中からママキーパーソンの発掘</p> <p>①情報発信 月1回(随時) 必要な子育て情報を発信し、交流の場へ繋げていく 保護者の興味、関心がどこにあるかニーズを探り、情報を発信</p> <p>②保護者のエンパワメントを発揮する活動の場の提供(月1回)</p> <p>・保育計画の見直し</p> <p>・3未の公開保育への参加</p> <p>・発達に応じた環境・玩具・教材等の勉強会の実施</p> <p>・支援観の視点を統一する為、事業所内研修を実施</p> <p>・子育て包括支援センターと連携し、妊娠期からの相談支援の実施</p> <p>・保健師と連携し、健診後からの相談支援の実施</p> <p>・浅桐産婦人科への広報活動を乳児保育園と協働、情報交換</p>	<p>①タイムリーな HP、Facebook の発信を実施した。</p> <p>②ママパワの開催、参加者・出前講座の参加者が増えてきている。</p> <p>・保育計画の見直しを行い、保育を行った。発達に応じた環境・玩具・教材、保育で大切にしたいこと等についての勉強会(研修)については計画に基づき実施。</p> <p>・健診後の相談が入ってきており、支援へとつながっている。浅桐産婦人科への広報活動は担当者を中心に定期的に実施。</p>
3	<p>多世代での支え合いの地域づくりを行い、顔が見える関係を作る事で、人とのつながりの拡大</p>	<p>・三世代交流の実施(年間計画に沿って行う)</p> <p>・子ども食堂への参加</p> <p>・高齢者支援センター、保健師等の関係機関から地域のキーパーソンとなる方の情報提供(随時)</p>	<p>・三世代交流は年間計画に沿って実施。地域のキーパーソンとなる方との関係構築を行っていった。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろばにじいろ運営会議へ参加し、地域での支え合いが出来る様、ママキーパーソンの確保</li> <li>・にじいろカフェ・赤ちょうちんを通し、地域の親子、地域住民、関係機関等の出会いの場を増やし、顔の見える関係、繋がりが出来る関係の構築</li> <li>・地域の親子・保護者・地域住民との合同研修を行い、子育て力の協力者、応援者への理解の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の運営会議に参加(隔月)</li> <li>・地域の親子と地域住民が協働できる活動への参加</li> <li>・赤ちょうちん参加(年2回)</li> <li>・にじいろカフェ参加(隔月)</li> <li>・ママキーパーソンを巻きこんでの企画・運営の実施が出来る支援</li> <li>・(年3~4回)</li> </ul> <p>地域の子育て力が上がるよう、地域の親子・保護者・地域住民が共に地域の子育てについて、学ぶ場の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の運営会議(ピーポーカフェ)は隔月で定期開催し、参加した。</li> <li>・にじいろ公民館にて実施。</li> <li>・赤ちょうちん、にじいろカフェについては、ピーポーカフェで内容等協議して実施。</li> <li>・12月に倉敷市子育て応援講座を実施。</li> </ul>
--	--	--	---

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	サークル活動をする中で職員同士の交流の場をつくる	・サークル活動を水島拠点で実施	・拠点としては未実施。楽器演奏等、サロン活動で行った。
2	有給休暇取得率の向上	・付与日数の半分を計画的に取得する	・計画的に取得できた。
3	業務の効率化を行い、ムダ・ムリ・ムラをなくす	業務の見える化と実態把握 業務整理と分担	・ボード等で見える化したり、業務分担の見直しを行った。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCP 計画の推進 ・ B C P を活かした事業 所内緊急対応の実施 ・ マニュアルの整備	計画に基づき行う	・ 事業所ごとに作成 し担当委員会に提出。 ・ 計画に沿って実施 した。
2	様々な場面を想定した各種訓練の実施（不審者対応・地震・津波など）	年間計画に基づき実施	・ 年間計画に基づき、毎月実施。

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	子育て支援センター体制作り ・ 職員の入れ替えりによるヒューマンエラーの防止 ・ 災害・不審者対応の見直し	担当責任者を明確に推進  ・ 事業所内研修での要領書マニュアルの見直し  ・ 災害訓練の実施	・ 事業担当者を明確にするとともに、事業所内研修で要領書やマニュアルの再確認を実施し、ヒューマンエラーの防止に努めた。 ・ 計画に基づき、実施。
2	利用者アンケートの実施	利用者アンケートの検証と問題提起 次年度の課題抽出	計画に基づき、実施。集計結果を基に課題を整理した。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	なし		



【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																		
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
一時	半日利用	実績	83	54	61	61	54	55	67	66	69	48	34	38	38	-	690	-
		計画	60	60	80	75	75	60	60	66	55	40	40	60	60	-22	731	-41
		H29年年度	72	73	96	86	87	73	78	67	62	47	46	56	56	-18	843	-153
		H28年年度	68	91	103	72	82	76	108	68	58	69	73	66	66	-28	934	-244
		H27年年度	70	59	72	62	59	64	76	58	45	45	38	52	52	-14	700	-10
	一日利用	実績	198	211	262	257	232	238	324	335	328	304	376	371	371	-	3,436	-
		計画	170	180	230	240	260	280	280	335	270	270	270	280	280	91	3,065	371
		H29年年度	191	197	250	264	293	316	318	322	292	310	302	352	352	19	3,407	29
		H28年年度	287	281	381	355	363	355	388	387	342	356	379	387	387	-16	4,261	-825
		H27年年度	294	249	302	263	247	270	323	304	308	293	325	347	347	24	3,525	-89
	合計	実績	281	265	323	318	286	293	391	401	397	352	410	409	409	-	4,126	-
		計画	230	240	310	315	335	340	340	401	325	310	310	340	340	69	3,796	330
H29年年度		263	270	346	350	380	389	396	389	354	357	348	408	408	1	4,250	-124	
H28年年度		287	281	381	355	363	355	388	387	342	356	379	387	387	22	4,261	-135	
H27年年度		364	308	374	325	306	334	399	362	353	338	363	399	399	10	4,225	-99	
休日	3歳児未満	実績	9	21	6	11	10	20	28	25	32	19	25	30	30	-	236	-
		計画	11	11	10	12	10	13	11	25	28	22	26	28	28	2	207	29
		H29年年度	15	15	13	17	14	18	15	25	10	16	17	13	13	17	188	48
		H28年年度	16	20	10	25	17	24	20	30	26	20	19	19	19	11	247	-11
		H27年年度	13	25	11	17	23	26	18	30	20	16	15	18	18	12	232	4
	3歳児以上	実績	26	23	17	18	19	18	16	23	17	13	15	20	20	-	225	-
		計画	13	15	6	10	12	8	8	13	9	8	8	8	8	12	118	107
		H29年年度	16	18	7	12	15	10	9	16	11	10	10	17	17	3	151	74
		H28年年度	13	16	9	10	10	14	11	13	13	11	15	11	11	9	146	79
		H27年年度	13	18	9	14	16	17	12	21	13	12	11	11	11	9	167	58
	合計	実績	35	44	23	29	29	38	44	48	49	32	40	50	50	-	461	-
		計画	24	26	16	22	22	21	19	38	37	30	34	36	36	14	325	136
H29年年度		31	33	20	29	29	28	24	41	21	26	27	30	30	20	339	122	
H28年年度		29	36	19	35	27	38	31	43	39	31	35	30	30	20	393	68	
H27年年度		26	43	20	31	39	43	30	51	33	28	26	29	29	21	399	62	
産褥期	2時間以内	実績	4	1	0	0	1	3	0	0	1	0	0	8	8	-	18	-
		計画	4	4	0	1	2	1	0	1	0	0	1	1	1	7	15	3
		H29年年度	0	1	0	5	3	0	2	0	0	1	8	2	2	6	22	-4
		H28年年度	0	0	0	1	0	4	2	0	5	1	0	0	0	8	13	5
		H27年年度	9	0	0	0	5	8	18	8	7	0	6	1	1	7	62	-44
	2時間以上4時間以内	実績	0	9	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	-	13	-
		計画	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7
		H29年年度	0	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	4	4	-4	12	1
		H28年年度	7	0	6	4	0	1	0	10	0	0	0	0	0	0	28	-15
		H27年年度	1	0	5	0	12	2	4	0	0	0	2	12	12	-12	38	-25
	合計	実績	4	10	1	0	1	6	0	0	1	0	0	8	8	-	31	-
		計画	6	6	1	1	2	2	0	1	0	0	1	1	1	7	21	10
H29年年度		0	1	0	6	3	0	9	0	0	1	8	6	6	2	34	-3	
H28年年度		7	0	6	5	0	5	2	10	5	1	0	0	0	8	41	-10	
H27年年度		10	0	5	0	17	10	22	8	7	0	8	13	13	-5	100	-69	
子育てヘルパー	実績(H)	4	1	13	13	7	5	2	3	3	2	1	2	2	-	56	-	
	計画(H)	4	2	5	10	8	8	8	8	4	4	4	4	4	-2	69	-13	
	H29年年度	8	11.5	6	20	5	7.5	6	14	8	8	4.5	7	7	-5	106	-50	
	H28年年度	11.5	9.5	14	24.5	13	7	9	12	13	27	19	19	19	-17	179	-123	
	H27年年度	35	30	21.5	22	6	19	9	18	26	30	19.5	16	16	-14	252	-196	
センター事業	実績	573	661	666	682	727	599	736	668	572	594	565	651	651	-	7,694	-	
	H29年年度実績	462	477	530	602	513	539	555	635	548	481	644	537	537	114	6,523	1,171	
	H28年年度実績	594	675	716	614	770	610	664	546	499	480	521	571	571	80	7,260	434	
	H27年年度実績	454	555	684	745	722	676	628	599	489	514	673	669	669	-18	7,408	286	

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	職務遂行要領書・マニュアルの内容確認	確実に実施できるように再確認していった。
5月	30年度事業所内研修について (目的・手段・方法・担当者等の確認)	それぞれの研修の目的・手段・方法・担当者等の確認などを職員皆で行なった。
6月	コーチング研修	研修に参加した職員が中心となり実技研修を行った。
7月	月齢・発達に見合った玩具選びと提供の仕方	実際の玩具を使いながら具体的に発達に合った玩具の選び方や提供の方法を学び合った。
8月	相談援助技術(事例検討・電話対応等)	研修に参加した職員が中心となり実技研修を行った。
9月	防災(災害等のマニュアル確認、見直し)	手順や役割等について確認し合った。
10月	インクルーシブ保育	目的や具体的な保育内容について話し合いの中で確認していった。
11月	室内遊びにおける保育環境の重要性	室内(遊び・生活)の環境について意見交換と振り返りを行い日々の保育に活かせるようにした。
12月	チームワークを高める援助技術	研修に参加した職員が中心となり実技研修を行った。
1月	30年度の振り返りと次年度の問題提起(各担当部署)	担当部署ごとに事業の振り返りを行い、持ち寄って検討した。
2月	実践発表について	実践内容についての確認と振り返りを行った。
3月	30年度の事業所内研修の振り返りと次年度への問題提起	職員で振り返りを行い、次年度の実施計画について検討を行った。

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月		
5月	花まつり	花御堂にお参りした。
6月	参観週間	一時保育にて実施。
7月	七夕会 「集まれおやっこ」 in みずしま	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 真備地区豪雨災害により中止。
8月		
9月	お月見会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。
10月		
11月	秋の親子遠足 七五三参り	水島中央公園にお弁当を持って行った。
12月	もちつき クリスマス会 子育て応援講座	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。 計画に基づいて実施。
1月	参観週間	一時保育にて実施。
2月	節分会 個人懇談	計画に基づいて実施。
3月	ひな祭り会	由来を聞いたり催しを楽しんだりした。

## 倉敷市鶴心寮

### 【事業実施概要】

母親と子どもが地域住民や地域の専門家と繋がり支え合うことで、退所後に地域で自立した生活が送れるよう、法人内他事業所や関係機関、地域住民と協働することに重点を置いて、包括的な相談・支援体制に取り組んだ。

施設の役割や現状、ひとり親の実情を知ってもらい、必要としている人に支援が繋がるように啓発活動を行った。アセスメントシートの改訂や支援プログラムの作成、アフターフォロー体制の整備を行い、自立に向けた適切なアセスメントによる支援計画の作成から、入所中、退所後の支援の体制作りを行った。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	子ども何でも相談センターや水島拠点各事業所に相談支援を繋ぎ、予防的視点も含め、複合する課題に取り組む	①子ども何でも相談センターと個別事例についての検討（随時） ②水島拠点事例検討会（月1回） ③DV被害者等相談・自立支援充実事業との協働（随時）	①未実施 ②③実施、継続中
2	① アセスメントシートや個別支援計画の改定により、主体性を高めるための標準的な支援を確立 ② 利用者の状況に対応した自立支援プログラムを確立 ③ 退所後のアフターフォロー体制を確立し、地域生活や就労がイメージできる支援の充実	① アセスメントシートと個別支援計画の改定 ② 短期・中期利用者の“クムレ自立支援プログラム”の作成支援内容の精査 倉敷市へプログラムの提案 ③ 退所後の責任者、支援方法、支援計画の適用について定める ④ 倉敷市へプログラムの提案	① 実施済み。運用していく中での調整は継続中 ② 実施済み。運用していく中での調整は継続中 ③ 実施途中 ④ 継続中
3	① ボランティアや地域住民と顔を繋ぎ、地域で支え合う体制づくり	① 行事や学習支援における継続的な地域ボランティアの活用 法人内事業所とのマッチング いきいきポイント制度の活用	① 実施継続中  5名登録

② ひとり親家庭支援連絡協議会の事務局を担うことでニーズを探り、地域のひとり親家庭を支える ③施設の役割や取組みを発信することで、必要とする利用者に支援を繋ぐ	② ひとり親家庭連絡協議会の立ち上げ ネットワークづくりや新たなサービスを創設 ③社会的・家庭的養護を担う3事業所でリーフレット作成による情報発信や関係機関との顔の見える関係づくり	② 子どもの支援に向けた会合を開催。ひとり親家庭について認識合わせを行った ③ リーフレット作成。水島保健福祉センターで取り組み紹介を行った
--	--	---

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	定時退社できる	個々の職員の業務分担を把握し、大きな偏りが生じないよう業務の再分担を行う	概ね実施
2	年次有給休暇の計画的な取得	リフレッシュを目的として、付与日数の半分を計画的に取得する	実施済み
3	研修を受けることで知識や技術を習得し、モチベーションを高める	年度初めに年間計画を立て、各々が計画的に研修へ参加する	実施済み

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業所BCPを元に訓練を実施し、地域との共同や地域住民の受け入れも考慮した備えを講じる	災害訓練（月1回） 大規模災害を想定した訓練（年2回）	災害訓練については実施済み。訓練内容が利用者、職員に定着している。大規模災害についても実施済み。定着するよう継続する
2	不審者への具体的な対応訓練	倉敷警察署の協力を得て、想定される不審者への対応方法を学ぶ	未実施。見直しを行い、模擬訓練、具体的な対応方法を検討予定

3	感染症対応マニュアルの具 体化	法人内看護師の協力を得て、詳細 な対応方法について決める	未実施。これまでの マニュアルを見直 し、詳細な対応を法 人内看護師に指導を 仰ぐ
---	--------------------	---------------------------------	---

【利用者満足取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者アンケートの実施	自治会や意見箱以外での意見徴収 の機会としてアンケートを年一回 実施	実施済み。アンケー ト内容については、 次年度に向けて再検 討する
2	ホームページを活用した情 報発信	行事の様子を都度、発信すること で施設の取組みを広める	実施済み。地域の公 共施設で近隣住民を 招いてふれあい祭り を開催し、ホームペ ージで情報発信を行 った
3	インターフォンの設置	顔を合わせて話しづらい場合や精 神的な状況に対応するため、設置 について市と協議する	未実施。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	集会室のキッチンスペース 整備。利用者も地域の人も 集まれる場にする	年度末までに工事着工、倉敷市と 協議 キッチン、ダイニングテーブルを 設置	倉敷市と協議し静養 室にて整備実施済 み。地域への発信、 取り組みについては 実施に向けて検討継 続中。
2	中庭花壇を整備することによ り、季節を感じられる中 庭にする	園芸療法士の協力を仰ぎ、子育て 支援課と協議のうえ、年度末まで に整備する	園芸療法士の協力 で、年間を通して利 用者と一緒に収穫で きる野菜や植え付け

			による土いじりの効果を得た。花壇、畑の整備、拡充については検討する
3	見学者へ向けた入居後の居室のイメージをしやすくするための整備	9月までに利用者用のモデルルームを整備する	概ね実施

【利用者数・職員配置】

<b>平成30年度</b>		<b>3 月予算実績管理表</b>											事業所名: 倉敷市鶴心寮		責任者名: 西野 まゆみ	
I 利用者動向																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	4	4	4	6	4	4	4	4	2	3	3	4	4	-	46	-
H29年度実績	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	0	41	5
H28年度実績	6	6	6	5	5	4	4	5	4	4	4	5	5	-1	58	-12
H27年度実績	7	8	8	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	-1	72	-26
II 契約数																
区分	人数	III 職員配置														
新規入寮数	1	配置基準			実員		換算									
当月退寮数	0	定員20人未満	母子支援員	1.0	正職	6	6.0									
月末入寮数	4		少年支援員	1.0	嘱託A	0	0.0									
待機者数	0	定員20人以上	母子支援員	3.0	嘱託B	1	0.3									
			少年支援員	2.0	派遣	0	0.0									
					計	7	6.3									

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	倫理綱領・緊急時対応について	母子生活支援施設倫理綱領・鶴心寮での緊急時対応の確認
5月	母子生活支援施設における法的対応	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有
6月	研修報告（児家センと合同開催）	児家センと合同で、参加して研修について学びを共有
7月	離婚と子どもについて	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有
8月	親子のコミュニケーション	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有

9月	研修報告（自家センと合同開催）	児家センと合同で、参加して研修について学びを共有
10月	障害のある子と母親の理解と支援	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有
11月	不審者対応（倉敷警察署生活安全課）	未実施。職員間で確認、共有
12月	研修報告（児家センと合同開催）	児家センと合同で、参加して研修について学びを共有
1月	精神疾患を抱えた親への子育て支援	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有
2月	地域で家庭を支援するために	にじ研修センターDVDによる講義・各々の気づき、鶴心寮での業務に落とし込むことの共有
3月	研修報告（児家センと合同開催）	児家センと合同で、参加して研修について学びを共有

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	花見	鶴形山公園にて花見を実施
5月	母の日・子どもの日	渋川水族館、渋川海岸
6月	大掃除	寮内・寮周辺の清掃
7月	七夕会・日帰り旅行	笹飾り・公園に親子で行く
8月	バーベキュー・鶴心寮ふれあい祭り	退所者も参加して交流の時間をもった
9月	母子行事	ふれあい祭り実施。近隣の地域住民を招き地域の会館にて実施
10月	ハロウィン	子どもの会にて実施
11月	母子行事	10月に親子参加で実施。
12月	クリスマス会・もちつき・大掃除・年越し会	もちつきは千歳楽保存会及び地域住民と共に実施。その他は例年通り寮内で実施
1月	母子行事	未実施
2月	節分会	児家センと合同で春待ちパーティー実施。節分会は寮内で実施
3月	ひなまつり	子どもと少年指導員で実施



## 児童家庭支援センタークムレ

### 【事業実施概要】

相談からサービスまで切れ目のない利用者支援の実現を目指して、4月から事務所内に“子ども何でも相談センター”及び、“子ども何でも相談ダイヤル”を設置し、相談事業所である児童家庭支援センターが中心となって、水島拠点内の相談に関する情報を共有したり、事例検討会を通じた職員のスキルアップを図ったりし、子育て家庭への支援をより総合的に行うことを目標に、取組みを行った。また、今年度からスタートしたDV被害者等自立支援相談・自立支援充実事業の取組みや母子生活支援施設鶴心寮との連携強化により、社会的養育に関わる支援についても学ぶ機会となった。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	(1) アセスメントに基づき、相談・支援のあり方を標準化する  (2) 支援計画に基づく流れのある支援ができるようになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートの見直し（前半）</li> <li>・アセスメントシート作成（後半）</li> <li>・支援計画策定の基準作り</li> <li>・支援計画の書式見直し</li> </ul>	アセスメントシート、及び支援計画の見直しが完了。事業所内でのルール、あるいは、流れのある支援と終結についてのマニュアルを作成
2	(1) スーパーバイズや研修を通し、専門的な知識や技術を向上させる  (2) 水島拠点内にて、地域における福祉的課題解決をチームで取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷児童相談所連携会議への参加（隔月）</li> <li>・児家セン協議会研修会への参加（中四国、全国、実務者：計3回）</li> <li>・日本子ども虐待防止学会おかやま大会への参加（12月）</li> <li>・面接スキル研修、DV研修、子相・母子保健連絡会等の研修、子どもの虹研修等）への参加（随時）</li> <li>・専用ダイヤルによる「子ども何でも相談」への対応（4月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SV. や研修に関しては、計画通り参加。研修後、合同報告会などで、共通認識を図った。特にDV・虐待がある子どもへの支援の重要性を学んだ</li> <li>・子ども何でも相談のあり方やルールを模索し、チームで試行錯誤しながら</li> </ul>

	<p>組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期支援体制構築のための調整機能・役割分担の明確化（5月～）</li> <li>・ 地域（児童館・にじいろ等）へのアウトリーチによる相談から、つなぎの支援の実施（月1回）</li> <li>・ 水島拠点事業所内における事例検討会の開催（月1回）</li> <li>・ 水島エリアにおける関係機関との合同事例検討会の開催（個別ケース）</li> <li>・ 鶴心寮における入所から退所、退所後の支援についての合同会議・ケース会議への参加（月1回）</li> <li>・ DV相談、ステップハウス事業との協働による相談・支援の補完体制の構築（5月～）</li> </ul>	<p>ら進めた。互いの役割を確認したり、繋の支援のあり方について確認しあったりする機会となった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児家セン・てとて・子育てCと連携した水島拠点での繋ぎを意識したアウトリーチ支援を実施（年10回）</li> <li>・ 年間計画に沿って、予定通り実施</li> <li>・ ファシリテーターとしての職員のスキルアップ・拠点内での情報共有に繋がった</li> <li>・ 心理士、管理者が参加。多角的な視点での検討の場につながっている</li> <li>・ 事業の取組みと連携について協議しながら進めた</li> </ul>
<p>3</p>	<p>(1) 啓発活動を行う（社会的・家庭的養護を担う事業所との協働）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児家セン・鶴心寮・夜間保育園（子育てCを含む）のパンフレット作成、及び定期的な配布における関係機関との情報共有の場の設定</li> <li>・ 水島地区主任児童委員会での取り組み紹介</li> <li>・ 倉敷地区母子父子自立支援員・家庭児童相談員研修会での取り組み紹介</li> <li>・ 倉敷4地区の要保護児童対策協議会、倉敷家庭児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水島福祉事務所へのプレゼンをきっかけに、水島地区の公民館、病院、支所などへのパンフレットを配布</li> <li>・ 6月実施</li> <li>・ 12月実施</li> <li>・ 各地区1回実施</li> </ul>

	<p>(2) ひだまりカフェ（子ども食堂）や体験学習（地域交流スペース）等の居場所を紹介し、互いの交流、及び必要な支援へのつなぎを行う</p> <p>(3) 地域調査等を通じて、住民とともに地域の課題抽出を行う</p> <p>(4) 地域の公益的な取り組みを実施する</p>	<p>相談連絡会での取り組み紹介（年4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水島拠点の各事業所、主任児童委員、学生ボランティア、地域支援者等との協働によるひだまりカフェ（子ども食堂）・体験学習の運営・開催（月1～2回）</li> <li>・主任児童委員を通じた地域の子どもの問題への早期介入と、予防的な支援を行う（月1回）</li> <li>・引きこもり、不登校、学習困難等、様々な問題を抱えた子どもが、安心できる“居場所”づくり（8月～）</li> <li>・ワーカーズコープとの交流を通じ、利用者が選択できる居場所の拡充（10月～）</li> <li>・川崎医療福祉大学等の協力のもと、地域調査を行い、水島地区における地域課題の抽出と支援方法の模索</li> <li>・クムレいきいきポイント制度を活用した地域住民や学生のボランティアの受け入れ（随時）</li> <li>・クムレいきいきポイント制度を活用した児家セン利用者の自立を促す取り組み実施（随時）</li> <li>・生活困窮者就労訓練事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児家セン・鶴心寮・ステップハウスの子どもの中心に月1回定例で実施</li> <li>体験学習は不定期ではあるが、グループワークの形で開催</li> <li>・主任児童委員は、毎月交代で参加</li> <li>・居場所については、ひだまりカフェ、体験学習の場での実施</li> <li>・未実施（次年度への課題）</li> <li>・フィールドワークを実施。地域住民代表に提案済み</li> <li>・児家センと関わりのある地域住民（主任児童委員）、学生ボランティアの受入を実施</li> <li>・利用者が制度を活用し、ひだまりカフェの準備、あるいは子どものお店への協力等で参加</li> <li>・実績：0件</li> </ul>
--	---	---	--

		における利用者の受け入れ、及び児家セン利用者である児童へのつなぎの支援の実施（随時）	
4	里親支援、及びひとり親家庭におけるネットワークづくりを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県里親研修会・里親サロンへの参加、及び里親支援専門員との情報交換（年3回）</li> <li>・八尾隣保館への施設見学</li> <li>・母子寡婦福祉連合会・社会福祉協議会への協働とひとり親家庭支援連絡協議会（鶴心寮）立ち上げへの協力</li> </ul>	研修会：2回 委員会：3回  ・2名参加  ・連絡協議会 PT. に参加 ひとり親家庭への支援についての研修、及びネットワーク会議に参加
5	子育てに不安を感じている保護者等に対して、子育て力養成のための子育てプログラムを実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座（ボーイズタウンコモンセンスペアレンティング）、及び個別ケースにおけるCSPの開催</li> <li>・要保護児童対策連絡協議会における要支援レベルケースに対するMGC（子ども相談センター）へのつなぎの支援（随時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てCでの講座、及び個別での研修を実施（4回）</li> <li>・豪雨災害のため、未実施</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	標準化された（マニュアルに基く）業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの読み合わせをし、共通理解を図る（4月）</li> <li>・事故・ヒヤリ・意見苦情に基づくマニュアルの検討・見直しを行う（随時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度内に協議した内容をマニュアルに反映し、31年度用にリニューアル済み</li> </ul>
2	定時退社の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務分担の見直しや個別記録、会議録等の帳票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料事前配布による会議時間の短縮、及</li> </ul>

		の見直しを図ることで、業務削減を行う（半期ごと）	び、記録のスリム化を実施。業務削減はできたが、定時退社への大きな効果には繋がっていない
3	他事業所との協働による行事開催	・年間計画に基づき、互いに連携した行事の計画・開催を行うことで、職員間のコミュニケーションを図る	・鶴心寮との合同行事・ひだまりカフェ等での協働により、コミュニケーションの機会は増え、互いの顔が見える関係作りに繋がった

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	B C Pを活かした敷地内事業所、及び地域（栄町）を巻き込んだ訓練の実施	・児童発達支援センタークムレ、及び子ども何でも相談センター各事業所、並びに地域住民との災害対策における連絡会、及び合同訓練を実施する	地域を巻き込んだ訓練までは至らなかったが、敷地内での職員間の連携・協議は進み、事業所間での災害に対する意識は向上した
2	不審者対応	・児童発達支援センタークムレ、子ども何でも相談センター各事業所における対応マニュアルの見直しを行う	・不審者対応マニュアルの見直しを継続中

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	第三者評価を活用し、改善を行う	第三者評価の指摘項目の確認と改善の見直しを行う（年1回）	・事業計画の実施により、改善済み

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	児家セン（相談室・廊下）内壁の塗装	年度末までに、内装を行う	未実施

【利用者数・職員配置】

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
電話	実績	160	114	119	134	122	129	101	112	99	139	144	123	123	-	1,496	-
	H29年度実績	78	88	124	117	49	101	116	114	133	127	135	111	111	12	1,293	203
	H28年度実績	44	40	33	29	29	43	30	50	30	41	97	114	114	9	580	916
	H27年度実績	41	48	38	36	30	31	49	40	37	33	28	41	41	82	452	1044
来所	実績	51	26	36	26	35	32	45	59	38	31	51	42	42	-	472	-
	H29年度実績	44	72	46	38	41	58	23	54	39	43	49	65	65	-23	572	-100
	H28年度実績	37	48	33	33	39	33	41	37	33	38	59	94	94	-52	525	-53
	H27年度実績	41	32	28	54	50	42	38	44	50	42	40	41	41	1	502	-30
訪問	実績	24	47	51	44	37	43	46	48	42	35	49	61	61	-	527	-
	H29年度実績	56	65	41	77	63	57	43	62	37	27	42	53	53	8	623	-96
	H28年度実績	34	31	42	42	35	29	31	39	45	41	72	72	72	-11	513	14
	H27年度実績	34	29	35	38	35	31	43	33	45	41	27	34	34	27	425	102
新規受領件数	実績	8	11	11	8	4	9	6	12	7	14	17	13	13	-	120	-
	H29年度実績	7	8	12	8	11	14	13	6	6	6	3	9	9	4	103	17
	H28年度実績	5	7	8	8	7	7	5	13	15	4	7	6	6	7	92	28
	H27年度実績	11	3	15	15	8	2	21	15	9	8	10	11	11	2	128	-8
児相委託	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-
	H29年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H28年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H27年度実績	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-3	36	-36
ケース会議	実績	0	2	2	4	2	1	2	0	2	0	4	2	2	-	21	-
	H29年度実績	1	1	4	2	3	0	0	1	1	2	3	2	2	0	20	1
	H28年度実績	3	1	5	6	4	3	3	2	3	0	8	6	6	-4	44	-23
	H27年度実績	1	6	5	4	4	4	3	5	7	3	6	1	1	1	49	-28
心理療法・検査	実績	12	9	7	8	8	12	12	10	6	9	11	11	11	-	115	-
	H29年度実績	15	16	15	17	12	13	9	14	14	7	13	13	13	-2	158	-43
	H28年度実績	5	7	5	9	6	10	8	11	12	9	12	20	20	-9	114	1
	H27年度実績	4	4	8	16	17	6	13	11	8	13	11	4	4	7	115	0

単位：名

配置基準		実員		換算
責任者	1.0	正職	4	1.0
心理士	1.0	嘱託A		1.0
児童福祉士	2.0	嘱託B		2.0
		派遣		
計	4.0	計	4	4.0
		過不足		0.0

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
6月	他機関連携	生活自立相談支援センターについて
7月	基本業務 他機関連携	子どもの発達（定型発達と障がい特性の理解について） 訪問事業について
8月	他機関連携	社会福祉事務所内の業務内容について
9月	出張報告	全国母子研修会 要保護児童対策調整機関調整担当者研修
10月	基本業務	アセスメントについて
1月	出張報告	18歳以上の子どもの繋ぎ先・居場所について 社会的養護を担う児童福祉施設長研修 全国児家セン協議会・四国児家セン協議会研修会
2月	実践発表	シュミュレーション
3月	基本業務	依存症とその支援について 家族支援、地域支援のあり方

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	ひだまりカフェ（子ども食堂）	カレー作り
5月	体験学習	焼きそば作り 野菜作り（種まき）
6月	体験学習	お好み焼き作り（夜間保育園との交流） ボーリング
7月	夏の行事	星空観察会 花火大会
8月	体験学習	夏野菜カレー シャーベット作り 工作コーナー（万華鏡・コースター・けん玉・紙コップロケット作り）
9月		お弁当作り（鶴心寮・夜間保育園合同）
10月	▼	サンドウィッチ作り

		体験学習 体験学習	野菜作り（種まき） すごろく作り
11月		体験学習	さつまいもご飯      チャンチャン焼き 柿狩り
12月		体験学習	ピラフ・から揚げ・ポテトサラダ作り ホットケーキ作り
1月			ビーフシチュー・大根サラダ作り
2月		体験学習	おでん作り・ゼリー作り 書初め お正月遊び
3月	▼		ちらし寿司づくり



## 児童発達支援センタークムレ

### 【事業実施概要】

当センターは、「人をつなぐ地域をつなぐ 子どもから始まり、みんなで支える水島の地域づくり」の実現及び子どもを起点とした地域共生社会づくりに向け、4方針を定め事業展開してきた。まず「尊厳・自立・ハビリテーション」を支援の価値基盤として、保護者とともに“Child first”“子どもが二十歳になった時の姿”をイメージし、成人期に至る切れ目のない支援の標準化と見える化し実践した。また、現在及び将来に向けて子どもたちが地域の人々に愛され成長していくため、サポーター養成講座を継続し、修了者は50名を上回り“あおぞらサポーター”として、子どもたちの地域における多様な活動やチャレンジの重要な支え手になっている。

一方、生きづらさを抱え社会的孤立状況にある人の支援では、卒園児及び不登校・引きこもり（小学生）と家族の居場所「ほっとステーション」を立ち上げた。市内に低年齢不登校児の居場所はなく、価値ある事業として教育関係者や保護者から期待が寄せられている。不登校や引きこもりの長期化及び社会的孤立を防止する手立ての一つとして地域の居場所は欠かせず、学校、SSW、住民と連携し充実させる必要がある。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 何を、どのレベルまで	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
つ な ぐ	早期発見・早期支援 (1) 子ども何でも包括的相談・支援体制	・相談は自家セン専用ダイヤル「子ども何でも相談」で対応し、基本相談と併せて拠点内で共有、早期支援体制につなげる (4月)	(1)基本相談担当者は“子ども何でも相談の一員”として朝礼、職員会議、繋ぐ会議に出席。情報共有・役割分担しアウトリーチ支援が増加。“子ども何でも相談”には、発達障がい関連相談が多く、地域で同障がい児を抱える家族のフォローを児家センと進め成果があった。
	(2)相談者の身近でスピーディに支援する	・まずアウトリーチ、ニーズ把握、スピーディに支援につなぐため、相談チームで判断・調整、支援体制構築、役割分担、継続支援	(2) 総合ダイヤルやCクムレの基本相談への電話であっても必要に応じて相談チームで継続フォローした。担当外職員には業務内容や成果がわかりづらいため、知らせる場を設ける必要がある。
	(3)制度の狭間や複合的生活課題を抱える人へ住民・機関と協働課題解決す	①拠点内事例検討(月1回) ②水島エリア事例検討会 月1回・必要時、事例に応	(3)①事例の選別基準が判然とせず、他機関連携事例が選ばれる傾向があり、直接支援者に響かなかった。事例検討会の目的を再考する必要がある。 ②地域の関係者を含む事例検討会は未実施。何で

	る	じ機関、支援者を調整し参加依頼	も相談メンバーは、地域課題を解決していく道筋を研修する必要がある。
2	<p>子どもの主体性、豊かに生きる力を育む、ライフステージに沿い、つながりある一貫した子育て支援</p> <p>(1) 豊かに生きる人を育む支援</p>	<p>①二十歳の姿をイメージし、地域資源を活用した多様な活動機会を住民の協力を得ながら提供する。</p> <p>②保育指針・児童発達支援ガイドラインを基盤に4領域（健康、人間関係、環境、言語・表現）にそったねらい、支援方法を合議し活動計画立案、実施・評価していく。</p> <p>③上記に基づく年間活動計画表に沿い、年次別活動、年長児活動、クラス活動、グループ活動、地域交流、自然に触れる活動を組み合わせ支援</p>	<p>① ②二十歳の姿をイメージした支援の組み立て</p> <p>職員および保護者（勉強会、通所支援計画の説明・理解・合意）と自立した大人になることを意識した課題の整理・プラン立案・実践は定着。</p> <p>② 年間指導計画に基づく4領域に沿った月案、通所支援計画立案は当り前となった。活動を4領域に沿い実施するメリットとして、職員間の活動の偏りや格差が少なくなった。又、障がいありきではなく、幼児期の子どもに必要な経験を多様な遊びに発展できてきた。</p> <p>③ 年次別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス枠を超え、年次を意識した活動が増加した結果、他クラス職員との交流や連携が活性化、子ども同士も関わる機会が増えた。以前はなかった年次別発表会は保護者は好評価であった。</li> <li>・クラス間の定期的話し合いが必要である。</li> <li>・就学を意識した年長児活動に外部活動を多く取り入れたため、年中児担当者に負担があった。年長児クラスに職員を増やす等工夫が必要。</li> </ul>
育てる	<p>(2) 地域で多様な経験をやる機会を提供(住民の協力を得ながら)</p>	<p>①児童館、公民館、公園、ライフパーク等地域資源を活用して多様な経験を積む機会を提供する。</p> <p>・五感育成活動（倉敷芸術科学大学、さくよう大学との共同研究）</p> <p>②近隣高齢者施設のキッズボランティアを定期化し交流する。(1回)</p>	<p>・地域資源を活用した活動</p> <p>利用児が地域の人々に愛されながら育ち、自立した大人になっていく遊びや活動を展開するため、児童館、公民館、図書館、水島公園、郵便局、公共交通機関、高齢者施設との交流、店舗など年長児を中心に頻回にチャレンジした。実施には、あおぞらサポーターや住民ボラに協力を得た。</p> <p>・五感育成活動は公民館等地域機関を積極的に活用し、あおぞらサポーター、住民ボラ、学生ボラの協力を得て行った。(年長児・保護者対象)</p> <p>② キッズボラは定期的に高齢者施設を訪問しお掃除ボランティアと利用者との交流をした。利用者から「ありがとう」と感謝される経験、一緒に</p>

遊ぶ		<p>④ 清掃等お手伝い活動を地域の公共施設へも般化。</p>	<p>交流する経験を重ね、子どもがプライドをもち活躍する場となってきた。ただ、特養利用者の安全確保のため、場に馴染みにくく、参加しにくい子ども活動に参加できなくても、経験として重要であるため、打開策を検討する必要がある。</p> <p>③ 清掃等お手伝い活動はできなかった。</p> <p><b>【地域交流の課題】</b> 年少児と肢体不自由児クラスは、地域交流の機会は行事限定傾向がある。まだ個別の関わりが必要な段階の児もいるため、地域における遊びを工夫できる職員育成が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部活動には、地域ボラやおおぞらサポーターなどの人材を調整する職員が必要。</li> </ul>
	<p>(3)インクルーシブ保育の充実・他園への汎化</p>	<p>① 小ざくら3園と合理的配慮のもと全年次別交流を促し、インクルーシブ保育実践を積み重ねる。(通年)</p>	<p>① 年長児はリズム遊びを通し月1~2回交流。繰り返すことにより、徐々に子ども同士活動に取り組む姿も認められた。年中児、年少児も園庭遊び等で交流できるのではないかな。</p> <p><b>【課題】</b> リズム遊びは、園児とセンター児の格差が顕著のため、他の活動を検討する。</p> <p>(4)計画通り実施。</p> <p>②上半期はにこにこ教室や保健師との協働が不十分であり、教室が“繋ぎの場”の役割を果たし切れなかったが、下半期になり充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園に空きがない状況が続き、他を紹介するにも低年齢児は繋ぐ場所がない。</li> </ul>
	<p>(4)乳児期からのつなぎの支援の充実(早期発見から早期支援へのコーディネート)</p>	<p>②水島保健推進室・乳児保育園と協働し1歳半・3歳健診に参画、にこにこ教室、ひろば(なないろ・ゆめいろ)、プレ療育に繋ぎ、早期支援(親子)を調整(通年)</p>	<p>(5)①ゴールを決め支援、その後基本相談に繋ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期末で訪問支援終了児2名(契約終了)。</li> </ul> <p>終結時期を明確にした支援を実施、職員・保護者ともゴールを意識しわかりやすくなった。</p> <p>② 循環型支援になるよう話し合いが必要。</p> <p>移行期支援が必要な児は、園交流に参加。</p> <p><b>【課題】</b> 学校と同じ方向性もち支援することの難しさに対し、ケア会議(保護者、担当教員、教務、担当医、OT、ST、施設長、児発管、訪問担当、相談事業所など)を開き、児への関わりを通じお互いを知る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連絡会で共有すべき情報や見るべき視点</li> </ul>
	<p>(5) 保幼小移行支援を充実する</p>	<p>① 終結期を明確にした支援、学校等と情報共有のあり方検討(情報の整理・様式統一:11月)</p> <p>②循環型親子通園の利用と保育園・幼稚園への移行支援充実</p>	

学 ぶ	(6) 放課後支援の充 実	卒園児・不登校・ひきこ もりの居場所づくり、支 援者拡充、支援方法検討 ① 居場所の整備  ② 利用に関して  ③ 保護者相談 ④ フォーラム等勉強会	を整理してはどうか。  拠点「学ぶ」会議で進める。ニーズ把握、コンセ プト共有、他施設見学、対象の限定、居場所整 備、リーフレット作成・PR、ほっとステーショ ンと命名。 ① 居場所の整備は、援会助成費及び岡山県 地域公益活動推進センター「制度の狭間の課 題解決モデル事業」助成費で整備。 ②週1回（水）3時～6時。対象：小学生。 卒園児、近隣地域の発達障がい児で不登校。 支援者：職員、住民、アドバイザー2名 ・相談（月1回）：水野先生 ・勉強会（3月）：河本先生、水野先生
	2 支 え る	家族の子育て力を 高め住民と協働す る子育て実現 (1) ママの居場所づ くりと充実支援	①子育てママが孤立せず卒 園後も集える場づくり・当 事者ニーズを表明し合い、 共に改善していく(通年)  ①子育てママが孤立せず卒 園後も集える場づくり・当 事者ニーズを表明し合い、 共に改善していく(通年)  ・毎月、保護者主催の“にじいろたまごの会”に 参加。子どもたちの遊び場の情報共有や災害時障 がい児を連れてどう避難するか話し合った。 ・おうちカフェに参加、母親の特技を活かし集ま る場をもつように支援。 <b>【課題】</b> 知り合いの保護者同士が多く、新入園児 保護者が参加しにくい状況あり、職員が follow し 支えていく必要有。また、同学区の卒園児と就学 前保護者をつなぐ会があると、就学について具体 的な話ができるのではないかな。
	(2) 家族の子育て力 を高める支援	①ペアトレ開催（年2回）、 指導者育成（OBママ+サ ポーター修了生を指導者と して育成する） ② 勉強会開催（年3回） 修了生、OB ママを講師と して育成・起用、保護者同 士で学び合う仕組みにする ③ サポーター養成講座受 講促進	① ペアトレ：きらり2事業所と協働実施 OBママ+サポーター修了生を指導者として育成 することはできなかった。  ② OB 勉強会実施 サポーター修了生、OB ママを講師として育成・ 起用し、保護者同士で学び合う仕組みはできず。  ③ サポーター養成講座：きらり2事業所と協働 開催。修了生がボランティアとして協力。 ・受講生：地域住民、児童館職員、学童支援員、 学校関係者が多く、家族は少なかったのが特徴。

			<p>疑問・質問も多く、積極的学習が認められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座実施</li> </ul> <p>倉敷東小へ出前講座。校長先生以下全職員受講。</p> <p><b>【課題】</b> あおぞらサポーター活躍の場をさらに提供する必要がある。ボラ担当職員の調整力必要。</p>
	(3)子育てママ企画・運営の自主活動支援・住民との交流	・趣味・特技を通じたオリジナルな活動推奨、ひろばや交流スペースで地域住民と交流(年3回)	<p>(2) ママカフェ3回実施。ママ同士の繋がりが強くなってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と運営会議を実施したが、計画・実施共職員が行っているのが気かり。</li> </ul> <p><b>【課題】</b> 再度、主体は誰か明確にする必要あり。</p>
	(4) 家族の力を引き出す子育て力育成	・ペアトレ内容ベースに子育て支援プログラム作成、	(4)未実施
3 地 域 公 益	誰もが参加、楽しみ輝く生活実現 (1) 住民主体の運を支えひろばを入口とした繋がり拡大	①住民主体のひろば運営に保護者、OB、サポーターも参画する(通年) ②わが街探検隊結成、ニーズ把握、探索(8月：拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーポーカフェに卒園児保護者参加。<b>【課題】</b> OB保護者に継続参加を促すには、参加しやすい日時の見直しが必要。</li> <li>② 拠点事業に毎回参加、道筋が見えてきた。</li> </ul>
	(2) 不登校・引きこもり、学習困難児の食と心を支える居場所づくり	保護者、NPO、サポーター、住民と協働(月1回、拠点実施、一人親家庭連絡協議会)と共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回(水)3時～6時オープン。対象：小学生、卒園児・近隣地域の発達障がい児で不登校の児童。相談(月1回)水野先生</li> <li>・保護者勉強会：河本先生、水野先生</li> </ul>
4	潜在高齢者ニーズを繋ぐ(1)介護教室	近隣高齢施設職員・保護者合同チームで出前教室	未実施。

**【働きやすい職場づくり】**

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	職員同士活発にコミュニケーションが図られる環境	休憩場所と休憩時間の確保	休憩場所は確保した。使いづらく利用少なし。
2	ワークライフバランス	業務改善と業務の効率化	定時退社は概ね実施。
3	同好会結成	水島拠点職員全体で結成	実施できず。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	災害弱者の避難拠点としてBCPを活かす地域合同防災訓練	栄町と合同防災訓練 水島中学校との合同避難訓練	・拠点で未実施
2	消防法に基づく防災訓練	防災計画に沿い毎月火災訓練、消防署と共同火災訓練(年1回)、防災設備定期点検	・毎月火災訓練実施、年1回消防署と共同火災訓練、防災設備定期点検は年2回
3	災害を想定した備蓄食提供訓練	年1回、災害レベルを想定し食事提供、備蓄食再検討	・備蓄食提供訓練は2回実施、災害想定は地震、水害、火災レベルを変え実施
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内安全点検</li> <li>・送迎車輛安全点検</li> <li>・不審者訓練</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法研究会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回事業所内の安全点検</li> <li>・毎日の送迎車輛安全点検</li> <li>・年2回水島警察と合同訓練</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修として年1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施</li> <li>・毎日点検、記録、報告</li> <li>・水島警察署による講義と模擬訓練(警察署員犯人役、職員はマニュアルに沿い対応、署員による講評)</li> <li>・日赤指導班による研修</li> </ul>
5	環境衛生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の消毒</li> <li>・玩具消毒の徹底</li> <li>・感染予防と情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・害虫駆除・樹木の消毒</li> <li>・月1回点検</li> <li>・毎月1回健康だよりの刊行</li> </ul>	計画通り実施。

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者アンケート	保護者向け11月アンケート配布、職員向け2月配布	左記実施、集計、報告(ゆめぱると法人HPに公表)
2	第三者評価の活用	指摘事項の改善	地域で多様な体験をした。

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	就労支援事業	希望に応じ働く場を提供、社会参加と就労意欲の向上のきっかけにする。	応募者なし
2	ほっとステーション 子ども食堂、学習支援 (居場所の整備)	卒園児・不登校・ひきこもりの居場所づくり、支援者拡充、支援方法検討 ⑤ 居場所の整備  ⑥ 利用に関して  ⑦ 保護者相談 ⑧ フォーラム等勉強会	③ 居場所の整備 後援会助成費用及び岡山県地域公益活動推進センター「制度の狭間の課題解決モデル事業」助成費用でらいおん組とランチルームを居場所として整備した。 ・週1回(水)3時～6時 ・対象：小学生。卒園児、近隣地域の発達障がい児で不登校児童。支援者：水島拠点職員、住民、アドバイザー2名 ・相談(月1回)水野先生 ・保護者勉強会(3月)：河本桂子先生、水野文一郎先生
3	サポーター養成講座	発達障がい児を理解し支援できる住民育成と地域に根差した活動支援(20人、年3回)	児童館、学童支援員、主任児童委員、保護者が講座に参加、グループワーク、体験実習を経ておおぞらサポーターとして地域活動中。

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																
■ 通園 定員:50 単位:人																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	1,191	1,306	1,258	1,302	1,295	1,215	1,303	1,221	1,235	1,202	1,097	1,230	1,230	-	14,855	-
計画	1,100	1,150	1,100	1,150	1,150	1,100	1,150	1,100	1,150	1,150	1,000	1,150	1,150	80	13,450	1,405
H29年度実績	1,280	1,348	1,321	1,387	1,284	1,319	1,313	1,271	1,300	1,226	1,101	1,277	1,277	-47	15,427	-572
H28年度実績	926	933	988	1,127	1,153	1,207	1,199	1,182	1,095	1,066	1,046	1,125	1,125	105	13,047	1,808
H27年度実績																
月平均利用者数	54.1	56.8	57.2	56.6	56.3	55.2	56.7	55.5	53.7	52.3	54.8	53.5	53	-	55.2	-
利用率	108.3%	113.6%	114.4%	113.2%	112.6%	110.5%	113.3%	111.0%	107.4%	104.5%	109.7%	107.0%	107.0%	-	110.4%	-
H29年度実績	116.4%	117.2%	120.1%	120.6%	111.7%	119.9%	114.2%	115.5%	113.0%	106.6%	110.1%	111.0%	111.0%	-4%	114.7%	-4%
H28年度実績	91.9%	92.6%	93.6%	106.7%	104.4%	114.3%	108.6%	111.9%	108.6%	100.9%	109.0%	106.5%	106.5%	0%	104.1%	6%
H27年度実績																
開所日	実績	22	23	22	23	22	23	22	23	23	20	23	23	-	269	-
	計画	22	23	22	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0
	H29年度実績	22	23	22	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0
	H28年度実績	21	21	22	22	23	22	23	22	21	22	20	22	1	261	8
	H27年度実績															
■ 保育所等訪問支援事業																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	0	0	4	2	0	2	4	3	3	3	1	2	2	-	24	-
計画	0	0	10	10	0	10	10	10	5	5	10	5	5	-3	75	-51
H29年度実績	0	5	16	6	0	14	11	11	7	9	7	6	6	-4	92	-68
実施日	実績	0	0	22	23	0	22	23	22	23	20	23	23	-	201	-
	計画	0	0	22	23	0	19	22	21	19	13	13	13	10	171	30
	H29年度実績	0	0	22	20	0	20	20	22	23	20	23	23	0	193	8
H28年度実績																
H27年度実績																
■ 日中一時支援事業 単位:人																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	89	108	120	142	147	122	169	154	156	118	126	131	131	-	1,582	-
計画	180	210	210	210	200	180	220	210	190	190	190	190	190	-59	2,380	-798
H29年度実績	96	137	138	123	146	154	139	132	143	128	121	152	152	-21	1,609	-27
H28年度実績	82	93	92	119	117	124	117	128	113	101	137	115	115	16	1,338	244
H27年度実績													0	131	0	1,582
月平均利用者数	5.2	5.1	5.7	6.8	5.7	6.8	7.7	7.0	8.2	6.2	6.6	6.9	-	-	6.5	-
開所日	実績	17	21	21	21	26	18	22	22	19	19	19	19	-	244	-
	計画												0	19	0	244
	H29年度実績												0	19	0	244
	H28年度実績												0	19	0	244
	H27年度実績												0	19	0	244

IV 職員配置(月ベース)

職種	基準	実員	換算	過不足	備考
管理者	1	23	22	9.0	兼務
指導員・保育士	12				福祉専門職配置等加算
児童発達支援管理責任者	1	1	1	0.0	発達支援管理責任者専任加算
栄養士	1	2	2	1.0	栄養士配置加算
調理員	1	2	1	0.0	
機能訓練担当職員	0	0	0	0.0	

※定員基準

総数がおおむね障害児の数を4で除して得た数以上

・児童指導員 1人以上

・保育士 1人以上



## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	専門研修「人権研修」 (講義・演習)	人権倫理委員会、研修委員会コラボ虐待防止、利用者の人権擁護の根拠、必要性を学ぶ
5月	福祉に従事する者の職業倫理 (講義・演習)	利用者の人権擁護のために福祉職員として必要な職業倫理を学ぶ。
6月	発達障がいの特徴を理解する (講義・演習)	発達障がい児の生活のしづらさを、利用児の視点に立ち理解していく。
7月	地域支援事業の理解 (講義)	拠点地域支援事業の理解。特に基本相談、保育所等訪問支援、ゆめいろ・なないろ教室、サポーター養成講座、実施中の諸事業説明。
8月	専門研修「救急時の対応」	災害支援のため12月に延期
9月	組織が求めるコミュニケーション (講義・演習)	報告・連絡・相談、情報共有などチーム支援上で必要なコミュニケーションを学ぶ。
10月	合理的配慮の理解 (講義・演習)	合理的配慮とは何か、具体的な事例を通して日常支援に役立てる。
11月	出張復命報告会	「子どもの最善の利益」とは何か、「施設の権利擁護とは」を学び、福祉従事者としての在り方を考える
12月	専門研修「救急時の対応」 (講義・演習)	日赤岡山支社より派遣研修(救急救命:実技研修)
1月	保護者支援(共感、傾聴) (講義・演習)	障がい児を育てる家族の心情に寄り添う支援者としての態度「共感的態度、傾聴」について、具体的事例を通して学ぶ。
2月	出張復命報告会(講義)	療育技術の向上に努めると共に支援のあり方などを他施設職員と検討協議した内容を当施設の日常支援に役立て、職員の資質向上を図る
3月	次年度事業計画の説明	平成31年度事業計画の説明と理解

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	入園式・継続児説明会、保護者勉強会、家庭訪問、クラス懇談会	入園式・継続児説明会、保護者勉強会（コムレ理念・事業計画、支援方針・内容他） 家庭訪問、クラス懇談会
5月	内科健診、個別懇談、ペアトレ	内科健診、個別懇談、ペアトレ
6月	保護者勉強会、サポーター養成講座	保護者勉強会（就学）、サポーター養成講座（初級編）
7月	夏祭り	地域住民と夏を楽しむ・保護者会による被災地支援バザー
8月	家庭訪問、サポーター養成講座（中級編）	家庭訪問、サポーター養成講座（中級編）、出前講座（倉敷南小学校）
9月	年長児課外活動、懇談週間	年長児課外活動、懇談週間（個別）
10月	運動会（年次別）、内科健診	運動会、内科健診
11月	親子遠足、保護者勉強会	近隣3公園にウォーキング力に応じ親子遠足を楽しむ。
12月	クリスマス会 サポーター養成講座（上級編）	クリスマス会 サポーター養成講座（上級編）
1月	もちつき	地域住民ともちつきを楽しむ
2月	発表会、サポーター養成修了者の集いの集い	発表会、サポーター養成修了者の集いの集い
3月	懇談週間、入園契約説明会 卒園式	懇談週間（個別）、保護者勉強会、 入園契約説明会、卒園式

## きらり水島

### 【事業実施概要】

きらり水島は、水島地区を中心とした発達支援を必要とするお子さん、ご家族、園と小学校への支援を実施してきた。支援内容としては、利用児の発達特性に応じた個別や小集団での支援を行い、支援内容をご家族と共有した。地域の園や小学校での生活において、お子さんが生活しやすいよう、書面（連絡帳でのやりとり）・訪問・担当者会議等の手段で先生方と支援方法を共有している。特に、小ざくら保育園とはチームで支援を組み立てており、発達特性のあるお子さんが地域で生活しやすくなることを目的として、協働での取り組みを展開した。

また保護者に対しては、子育てに自信が持つことができるような勉強会の実施や保護者同士の関わりや繋がりが持てるように茶話会の機会を多くもった。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	①本人支援（アセスメント→支援計画→モニタリング）  ②発達支援の質の向上	①アセスメントに基づく支援の組み立て（毎日） ・通所支援計画書立案・評価時、多職種協働による包括的支援を実施（4・9・3月） ②外部の研修・勉強会への参加と復命（随時）	①毎日の昼礼で利用児の姿の周知と課題確認を行なった。通所支援計画書の立案と評価は計画的に行うことが出来ている。  ②自己研鑽として外部研修に参加している。研修報告は職員会議にて実施している。
2	①保護者との協働関係の強化	①見学週間実施(毎月) ・ペアレントトレーニング(年間・2クール) ・個別懇談(5・9・3月) ・就学児懇談(8・12月) ・在宅児家庭訪問 ・保護者勉強会(1月)	①毎月第3週を見学週間としており、複数の保護者が参加している。ペアトレは年間2クール(8月・11月)実施済。個別懇談は所属園(学校)訪問後や、プラン書の説明または保護者からの相談がある際に随時行った。就学児懇談は年2回実施済。家庭訪問は1件実施。保護者勉強会は年3回実施(6/30 就学勉

	②家族のエンパワメント支援	②茶話会 進路をテーマにした先輩ママとの座談会等（8・2月） ・サポートブック講習会 ・ツール作成会（10月）	強会、11/17 特性理解1、12/15 特性理解2）。 ②茶話会は年2回実施（9/29 進路について、3/9 家庭内での工夫について）。また平日の午前中に少人数（2～3名以下）の実施する茶話会を年2回実施。ツール作成会は10/23 に実施済。
3	①地域住民も参加できる場づくり  ②地域社会への障がいの理解と啓発	①港まつり（夏）小ざくら秋祭り（秋） ・赤提灯（2～3回/年） ・こども食堂・学習支援等 ・居場所づくり支援 ②ボラ・実習生の受け入れ ・三歳児健診（カンファレス参加・隔月）	①赤提灯は実施済（年2回）。居場所づくり支援は毎週水曜日にはっとステーションを実施。 ②介護等体験の実習生1名の受け入れを行った。クムレいきいきポイント制のボランティア活動は随時受け入れをした。（登録者数8名）三歳児健診は隔月で参加。
4	インクルーシブに向けての実践	・園訪問（5回～/月） ・ケア会議（1回/月） ・3者4者懇談 ・園職員勉強会	園訪問、ケア会議は実施（毎月）。3者懇談は随時実施した（小ざくら保育園の懇談に管理者が同席。またはきらり水島の懇談に担任（副園長）に同席してもらい実施した）4者懇談（M・小ざくら保育園・きらり水島・第一福田小）や5者懇談（M・小ざくら保育園・きらり水島・相談支援事業所・倉敷東小）の実施。
5	①機関連携	①園、学校訪問（随時） ・きらり見学の受入れ	①本人の情報共有シート作成のための園(学校)訪問20件。保護者の要望による学校訪問8件・園訪問8件の実施。

	②つなぐ支援	②引き継ぎ書の作成（3月） ・ケア会議の実施（随時）	②引き継ぎ書は作成済。 ケア会議は所属園訪問の際に話し合いをもつようになっている。
--	--------	-------------------------------	--

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	休暇が取得しやすい勤務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇の取得推進</li> <li>・余裕のある勤務体制や予定策定</li> </ul>	正規職員・嘱託職員の有給休暇は定期的に取り得が出来る。
2	業務整理・効率化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務遂行要領書の整備と実施</li> </ul>	職務遂行要領書の整備や見直しは未実施。
3	職員の意見交換がしやすい風土作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼と昼礼で報告連絡相談の徹底（毎日）</li> <li>・休憩時間の確保</li> <li>・親睦会（2回／年）</li> <li>・拠点同好会</li> </ul>	朝礼と昼礼での情報共有は毎日実施済。休憩は毎日16時以降に確保出来ている。親睦会は年2回実施済。拠点同好会は不参加。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	防災訓練	小ざくら3園と合同防災計画に沿って実施（月1回） 法人一斉（2回／年）	防災訓練・避難訓練は計画にそって毎月実施済。法人一斉災害訓練は実施済。（年2回）
2	災害福祉体制づくり	BCPの計画と実施	きらり水島としてのBCPを計画した。
3	不審者対応訓練の実施	水島警察署等、外部講師	水島警察署の方を講師にして拠点内で合同研修を実施。参加済。

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者・保護者ニーズの拾い上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対象に要望アンケートを実施（事業所に対して勉強会で知りたい事等：4～5月）</li> <li>・意見箱の設置</li> </ul>	意見箱の設置。 保護者勉強会や茶話会の後に感想要望アンケートを実施。
2	利用者アンケートの実施	利用者（保護者）アンケート配布、集計、行政報告、公表	実施済。クムレHPにも公表済。

## 【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	地域の理解者・協力者を増やす仕組みづくり	サポーター養成講座（初・中・上）の実施	実施済。
2	地域住民が活躍できる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター活躍の場づくり</li> <li>・倉敷市介護支援いきいきポイント制度登録受け入れ</li> <li>・クムレいきいきポイント制度活用</li> </ul>	倉敷市介護支援いきいきポイント制度に登録はしているが、受け入れはなし。クムレいきいきポイント制度は定期的に受け入れ、活用が出来ている。
3	働く場の提供	中間的就労の受け入れ	なし。

【利用者数・職員配置】

平成30年度		3月予算実績管理表												事業所名:きらり水島			責任者名:井手 佳織		
I 利用者動向																			
■児童発達支援 定員10名 <span style="float:right">単位:人</span>																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	184	220	221	211	207	187	228	223	190	182	183	215	215	-	2,451	-			
計画	190	210	220	210	200	190	210	220	190	190	190	210	210	5	2,430	21			
H29年度実績	183	208	223	207	211	217	230	213	205	187	192	213	213	2	2,489	-38			
H28年度実績	194	205	232	217	210	229	219	225	209	206	211	223	223	-8	2,580	-129			
H27年度実績	199	216	257	241	226	220	242	232	228	215	200	212	212	3	2,688	-237			
■放課後デイサービス <span style="float:right">単位:人</span>																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	37	20	42	37	30	40	38	20	39	34	38	33	33	-	408	-			
計画	40	30	40	40	30	40	40	20	40	40	40	40	40	-7	440	-32			
H29年度実績	26	16	18	29	20	26	13	27	15	24	29	21	21	12	264	144			
H28年度実績	18	12	24	22	16	21	20	21	23	20	21	21	21	12	239	169			
H27年度実績	10	10	11	10	8	8	9	10	9	9	7	8	8	25	109	299			
II 月間開所日 <span style="float:right">単位:日</span>																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	23	24	26	25	23	23	26	24	23	23	23	24	24	-	287	-			
計画	23	24	26	25	23	23	25	24	23	23	23	25	25	-1	287	0			
H29年度実績	22	22	25	24	23	24	24	24	23	22	23	24	24	0	280	7			
H28年度実績	21	22	25	24	23	24	24	24	23	23	23	24	24	0	280	7			
H27年度実績	20	22	25	24	23	21	24	22	23	22	22	22	22	2	270	17			
III 月平均利用者数 <span style="float:right">単位:人</span>																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異			
実績	9.6	10.0	10.1	9.9	10.3	9.9	10.2	10.1	10.0	9.4	9.6	10.3	10.3	-	10.0	-			
H29年度実績	9.5	10.2	9.6	9.8	10.0	10.1	10.1	10.0	9.6	9.6	9.6	9.8	9.8	0.6	9.8	0.1			
H28年度実績	10.1	9.9	10.2	10.0	9.8	10.4	10.0	10.3	10.1	9.8	10.1	10.2	10.2	0.2	10.1	-0.1			
H27年度実績	10.5	10.3	10.7	10.5	10.2	10.9	10.5	11.0	10.3	10.2	9.4	10.0	10.0	0.3	10.4	-0.4			

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	なし	拠点コンセプト・事業計画について 権利擁護プライバシー守秘義務 小ざくら保育クムレ発達支援について、職員の基本姿勢について 感染症・アレルギーについて
5月	福祉に従事する者の職業倫理	福祉に従事する者の職業倫理
6月	発達障がいの特徴の理解	なし
7月	地域支援事業の理解	地域支援事業の理解、救急法
8月	なし	なし

9月	組織が求めるコミュニケーション	保護者対応、相談援助 新保育指針・教育・保育要領
10月	合理的配慮の理解、不審者対応訓練	合理的配慮の理解
11月	出張復命会	災害時防犯対応（災害等・不審者）
12月	なし	なし
1月	保護者支援（共感・傾聴）	保護者支援（共感・傾聴）
2月	出張復命会	なし
3月	なし	なし

【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	なし	なし
5月	個別懇談、ペアトレ	個別懇談
6月	幼児レク	幼児レク①、保護者勉強会①
7月	サポートブック作り講習会	なし
8月	茶話会、就学児懇談	就学児懇談、ペアトレ（前期）
9月	個別懇談、幼児レク	茶話会①、個別懇談、幼児レク②
10月	ツール作成会、ペアトレ	茶話会②ツール作成会、ペアトレ（後期）
11月	幼児レク	茶話会③、幼児レク③、保護者勉強会②
12月	就学児懇談	就学児懇談、保護者勉強会③
1月	保護者対象勉強会	
2月	茶話会	
3月	幼児レク・個別懇談	茶話会④、幼児レク④



## きらり玉島

### 【事業実施概要】

きらり玉島は、玉島地区を中心とした関係機関（玉島保健推進室、地区社協、くらしき作陽大学等）や利用児の所属園・学校等に積極的に訪問することを通し、顔の見える関係をより強化してきた。その効果として、利用児以外の相談を受ける機会が増えており、定期訪問を希望する園や学校もみられた。今後も連携を深め、玉島地域の障がい児を支えるネットワークの構築を目指し、利用児やその家族が地域の中で、安心してその子らしく生活できるようサポートしていきたい。

また、地域の行事や活動に積極的に参加し、利用児に多様な経験の場を提供するように努めた。次年度も事業所外の活動を取り入れながら、地域の社会資源を活用し、住民の障がいへの理解を高めると共に、利用児の活動の場を広げていきたい。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	①発達支援の質の向上 ②包括的なアセスメント力の向上	①発達支援カイドライン勉強会 ②多職種協働で通所利用計画書立案する	①4月実施。書面を配布し、全職員研修を受けている。 ②通所支援計画書の見直しのタイミングに都度実施。
2	(家庭支援1) 保護者との協働関係の強化	①保護者参観週間の実施(毎月) ②個別懇談の実施(年1~3回)  ③家庭訪問(在宅児:年1回) ④保護者勉強会の実施(年2回) ⑤ペアトレの実施(年2回)	①随時対応している。保護者への声掛けや、通信等でお知らせをしている。 ②保護者の要望等により、随時実施している。必要な方は月1回のペースで懇談している。学童は1~2月にかけて、土曜日の職員の出勤を増やし、懇談を実施している。 ③6月:1名実施。1月:1名実施。在宅児ではないが、家庭が要フォローの児の家庭訪問を3月に実施。 ④6月(1回)、8月(2回)の計3回実施。内容は、保護者の希望を伺い、実施している。 ⑤1クール目:8月~10月、2クール目:10月~12月実施。
3	(家庭支援2) 保護者同士が交流	①茶話会の実施(年2回)	①6月2回、10月2回、3月1回実施。10月は栄養士を招いてミニランチ会を行っている。

	できる居場所づくりと課題解決支援	<p>②たんぽぽ会（玉島終了児のための会）の開催（年2回）</p> <p>③かたつむりの会への参加と課題解決支援</p> <p>④おうちカフェへの参加と課題解決支援</p> <p>⑤新居場所づくり支援</p>	<p>②終了児の保護者が、ひまわりの会で活動している。3月には外部の講師を招いて勉強会を実施している。</p> <p>③5月にはにじいろカフェへの参加の為、欠席。6月、7月は参加。8～9月は真備地区の方限定の実施の為、不参加。10月、11月、12月、3月参加。</p> <p>④6月：職員を除いて7名程度の参加。地域の情報共有や、児のエピソード等を話し合い、困り感や対応を共有している。12月：10名弱参加。前回参加した方も多く、顔見知りの人が多かった。</p> <p>⑤12月19日～始動。場所はセンタークムレのらいおん組、ランチルームを活用。週1回、水曜日に実施。月1回は水野先生（アドバイザー）による相談日を設けている。</p>
4	（地域支援①） 機関連携、地域関係づくり	<p>①所属園訪問</p> <p>②本人の情報共通シートの活用</p> <p>③母子保健連絡会参加（年2回）と障がい児支援ネットの形成</p> <p>④三歳児健診（カンファレンスの参加：隔月）</p>	<p>①27名の新規児訪問を実施。定期訪問として、海星幼稚園、富田保育園、勇崎幼稚園、上成小学校、玉島小学校、中洲小学校を月1回～学期1回程度の頻度で訪問。所属園や学校との信頼関係が出来てきており、利用児以外の相談が増えている。（※継続児に関しても必要な児は定期訪問を実施している。）</p> <p>②4・5月の新規利用児（22名）、7月の新規利用児（3名）、11月の新規利用児（2名）実施済。市にシートを提出している。</p> <p>③西日本豪雨の為、8月未実施。2月は職員のインフルエンザ流行の為、不参加。後日、資料のみ頂いている。</p> <p>④隔月で参加。保健師との関係作りや、気になる子の情報共有をしている。</p>
5	（地域支援②） 地域住民も参加できる場づくり	<p>①ちーむ玉島修活PJ参加と保護者支援への協力（年4回）</p> <p>②玉島サポーター養成講座開催（年1回）</p>	<p>①ちーむ玉島修活PJ：5月、6月、1月参加。10月は不参加。玉島地区の関係機関が集まり、事例に対してグループワークをしたり、支援の紹介をしたりしている。</p> <p>②未実施。今年度は退職した職員も多かった為、玉島地区のみでの実施はしていない。センタークムレ、き</p>

	<p>地域社会への障がい の理解と啓発</p>	<p>③赤ちゃん、に じいろカフェ（年4 回） ④子ども食堂、学習 支援 ⑤民生委員、主任児 童委員、地区社協と 顔の見える関係作 り ⑥いきいきポイント 制度を活用したボラ ンティアの受け入れ</p>	<p>らり水島と合同で講座を開催している。（年2クール） ③にじいろカフェ：奇数月に実施し、都度参加してい る。赤ちゃん：12月参加。 ④不参加。今年度は参加できていない為、次年度は実 施の日程を確認したり、内容について共有したりする。 ⑤チーム玉島修活PJやボランティアの受け入れ等を 通して、関わるが多かった。今後も連携し、顔の 見える関係作りを深めていく。 ⑥いきいきポイントによるボランティア受け入れ実 績：2名。</p>
--	-----------------------------	---	---

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	業務の効率化	<p>①役割分担を明確にする ②職務遂行要領書の整備</p>	<p>①年度始め(4月)に役割分担表を作り、 各職員の役割・期待を明確にしている。 ②未実施。業務で改善が必要な点につ いては、終礼での検討、不参加の職員 には記録での周知を行った。</p>
2	職員の意見交換がしや すい風土作り	<p>①終礼時の情報共有 ②懇親会の実施（Cクムレ・き らり水島・玉島での合同親睦会 は年1回開催） ③拠点の同好会の結成</p>	<p>①4月より朝礼・終礼を毎日実施してい る。 ②事業所内では年3回実施。合同での 懇親会は未実施。  ③未実施。次年度、検討する。</p>
3	休暇が取得しやすい勤 務体制	有給休暇の取得推進（随時）	通年で在籍した職員は有休8日以上を 取得している。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	防災訓練の実施 (災害・不審者訓練)	①防災訓練の実施(毎月) ②警察、消防(年1回)	①毎月実施。  ②玉島警察署:10月(不審者対応)、玉島消防署:12月(消防車見学、消火器訓練)
2	災害福祉体制作り	BCPの計画・見直し (9月・3月)	9月:見直している。3月:未実施。
3	安全な事業所運営 (安全点検・衛生管理)	安全点検、衛生管理の実施。 (毎月)	毎月実施。建物の外に関しては、毎月の点検を実施していない為、清掃時等、点検を行うことが必要である。

## 【利用者満足取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足度調査	アンケート(11月配布) 集計、行政報告を行なう。	7月配布。8月集計。1月に事業所評価と併せてゆめぱるのHPに公表している。
2	利用者の意見収集	契約時に用紙を配布。	5月にアンケート配布、実施している。

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業所の移転	(4月～)移転場所を探す。 (9月頃)引っ越し。	未実施。物件探しが滞っており、移転は未実施。学生ボランティアの確保の為、くらしき作陽大学の付近で検討していきたい。次年度は移転を出来るように準備を進める。

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																	単位:人		
■児童発達支援 定員10名																	単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	165	205	215	211	227	191	221	236	200	185	186	193	193	-	2,435	-			
計画	190	220	220	210	200	190	220	210	190	190	190	200	200	-7	2,430	5			
H29年度実績	181	193	221	212	206	196	195	211	214	216	215	220	220	-27	2,480	-45			
H28年度実績	183	191	212	199	196	210	211	232	206	205	192	217	217	-24	2,454	-19			
H27年度実績	172	185	201	208	196	201	237	200	215	205	202	201	201	-8	2,423	12			
■放課後デイサービス																	単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	40	17	38	37	16	42	40	17	34	31	42	36	36	-	390	-			
計画	40	20	40	40	30	40	40	30	40	40	40	40	40	-4	440	-50			
H29年度実績	28	18	26	32	18	32	15	18	17	18	13	20	20	16	255	135			
H28年度実績	20	10	22	25	23	23	17	19	22	16	17	24	24	12	238	152			
H27年度実績	20	17	21	17	16	19	16	15	16	15	13	14	14	22	199	191			
II 月間開所日																	単位:日		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	23	24	26	25	23	23	26	24	23	23	23	24	24	-	287	-			
計画	23	24	26	25	23	23	26	24	23	23	23	24	24	0	287	0			
H29年度実績	22	22	25	24	23	24	24	23	23	23	23	24	24	0	280	7			
H28年度実績	21	21	24	24	24	25	24	25	23	23	23	24	24	0	281	6			
H27年度実績	20	22	25	24	23	21	24	22	23	22	22	22	22	2	270	17			
III 月平均利用者数																	単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異			
実績	8.9	9.3	9.7	9.9	10.6	10.1	10.0	10.5	10.2	9.4	9.9	9.5	9.5	-	9.8	-			
H29年度実績	9.5	9.6	9.9	10.2	9.7	9.5	8.8	10.0	10.0	10.2	9.9	10.0	10.0	-0.5	9.8	0.1			
H28年度実績	9.7	9.6	9.8	9.3	9.1	9.3	9.5	10.0	9.9	9.6	9.1	10.0	10.0	-0.5	9.6	0.3			
H27年度実績	9.6	9.2	8.9	9.4	9.2	10.5	10.5	9.8	10.0	10.0	9.8	9.8	9.8	-0.2	9.7	0.1			

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	なし	福祉に従事する者の職業倫理
5月	福祉に従事する者の職業倫理	0～2歳児の発達
6月	発達障がいの特性の理解	・評価の種類について ・遠城寺発達検査の取り方、見方
7月	地域支援事業の理解	3～5歳児の発達
8月	なし（専門研修）	・地域支援事業の理解 ・自閉症スペクトラムとは（サポーター養成講座初級編 疑似体験） ・氷山モデルの活用
9月	組織が求めるコミュニケーション	・自閉症児との関わり方（基本）
10月	合理的配慮の理解	・太田ステージの評価 ・視覚支援について

11月	なし	なし
12月	なし（専門研修）	合理的配慮の理解
1月	保護者支援（共感、傾聴）	なし
2月	なし	なし
3月	なし（専門研修）	なし

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月		
5月	ペアトレ（5～7月）、就学児懇談（5～6月）、幼児レク①	幼児レク①（クッキング）
6月	幼児レク②、茶話会・終了児の会、玉島サポーター養成講座（初級）	幼児レク②（親子で制作活動）保護者勉強会①（就学の流れ）、就学児懇談（6月～7月）、茶話会①、茶話会②、家庭訪問（在宅児①）
7月	家庭訪問（在宅児）、保護者勉強会①	サポーター養成講座（初級編）、学童課外活動①（玉島市民交流センター・ワークショップ）、
8月	幼児レク③、個別懇談、玉島サポーター養成講座（中級）	幼児レク③（ライフパーク・恐竜展、図書館）、ペアトレ（8～10月）サポーター養成講座（連島東小への出張講座）、保護者勉強会②（就学に向けて）、保護者勉強会③（サポートブック作成）
9月	幼児レク④、茶話会・終了児の会	幼児レク④（水島児童館・親子でお月見会）、サポーター養成講座（中級編）、個別懇談
10月	ペアトレ（10～12月）	ペアトレ（10月～12月）、茶話会③（ミニランチ会）、茶話会④（ミニランチ会）
11月	幼児レク⑤、玉島サポーター養成講座（上級）	幼児レク⑤（クッキング）、サポーター養成講座（上級編）
12月		幼児レク⑥（クッキング）、学童課外活動②（お買い物）、学童課外活動③（お買い物）
1月	保護者勉強会②	家庭訪問（在宅児②）
2月		
3月	個別懇談	個別懇談、終了児の会（ひまわり）勉強会、家庭訪問（年中）茶話会⑤

## 指定特定相談支援事業所 指定障害児相談支援事業所

## クムレ てとて

## 【事業実施概要】

平成 24 年度よりスタートした「指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業」であるが、福祉一サービスのニーズの増加などから、契約児が増加し、相談支援専門員一名では、全ケースへのきめ細やかな支援が難しい状況であった。

平成 30 年度は、法人内の他の事業所へのケース移行や相談員の増員により、適正な人員配置で業務にあたることができるように計画していたが、事業所開設の遅れやスタッフの異動により、計画が未達成の物がほとんどとなった。

今後は、スタッフの増員や業務改善をしながら、30 年度に開設した子ども何でも相談センターとしての役割を果たすことや地域の中での必要な支援を組み立てていきたい。

## 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者利益を第一に、「計画相談」を主業務としてきた現状を改善し、指定計画相談支援プロセスに沿って実施する組織体制にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ケース適切なモニタリング実施可能な組織体制にする</li> <li>・年間契約数の適正化</li> <li>・計画的な相談をする（マネジメント力の育成）</li> <li>・サービス調整会議の開催</li> <li>・全ケース必要な時期にモニタリングする</li> </ul>	年度当初、相談員を 1 名配置し、法人内の倉敷学園への相談支援事業所開所を予定しており、年間契約数の適正化を行い、全ケースの対応につながるように計画していた。しかし、倉敷学園の事業所開所が遅れ、相談員は法人内への事業所への異動となり、例年と変化なく、相談支援専門員 1 名での 300 名弱の契約者に対応することになった。そのため、障害児相談支援の計画作成が業務の中心となり、タイムリーな
2	子どもの豊かな発達支援、家族の子育て力の強化支援、地域生活へとつながる障害児支援利用計画書の作成と継続障害児利用支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅を訪問し、子どもの育ち、家庭環境、地域生活環境を包括的にアセスメントし、サービス利用計画を作成する</li> <li>・施設・病院から地域での居住等子どもの生活の場、地域への移行相談支援も充実する</li> </ul>	
3	地域の子どもの課題への早期介入と予防的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用ダイヤルによる「子ども何でも相談」に対応する</li> </ul>	

<p>(1)「子ども何でも相談センター」の一部門として、育児相談、子どもの発達相談、不登校や引きこもり等総合相談対応、支援活動への参画</p> <p>(2)発達や子育てへの基本相談対応をしながら、子どもが豊かに育つ地域環境、支え合いの基盤づくりを具現化していく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（児童館等）へのアウトリーチ相談、ひろばへのつなぎの支援を行う（月1回）</li> <li>・引きこもり、不登校、学習困難等課題を抱えた子どもが安心できる“居場所”づくり（8月～）</li> <li>・子ども食堂や地域交流スペースを活用した居場所を介し、必要な支援・交流を行う</li> <li>・拠点各事業所、主任児童委員、学生ボランティア等地域支援者と共に運営（月1回）</li> <li>・地域の支援者（主任児童委員、地域住民、学生ボランティア、非営利法人等）や関係機関（水島保健推進室・ゆめぱる・障害福祉課等）と連携・協働し課題検討、具体化</li> </ul>	<p>モニタリングやその他の業務を行う時間は取ることができず、ほとんどの計画が未達成となっている。</p>
--	---	---

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	組織的相談体制の確立	相談支援専門員増員、相談員増員	<p>相談支援専門員1名体制だったところに、相談員1名配置。</p> <p>平成31年9月末で、他の事業所に異動。その後は、従来と変わらず、相談支援専門員1名体制となる。</p> <p>(未達成)</p>
2	業務改善と定時退社推進	業務分担、個別記録、会議録、相談記録等帳票の見直し業務削減実施（半期毎）	<p>年度前半は、スタッフ2名での役割分担を行い、記録や帳票の整備を行った。しかし、後半はスタッフ減員となり、計画作成が最優先課題となった。(未達成)</p>



3	他事業所との協働による行事開催	年間計画に基づき、互いに連携した行事の企画・開催を行う。	年度前期には、他事業所主催の行事へ参加した。年度後半は、事業所の業務を優先させざるを得ない状況であった。
4	関係機関とのネットワーク	相談支援専門員協会の研修・会議への参加	計画通り、相談支援専門員協会による障害児相談支援に関する研修会に実行委員として参加した。その他、自立支援協議会 こども部会相談支援部会に参加

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCPを活かした敷地内事業所及び地域と合同訓練実施	児童発達支援センタークムレ、子ども何でも相談センター各事業所、地域住民との災害対策連絡会及び合同訓練を実施	法人内、児童発達支援センターのクムレの災害訓練に参加。しかし、訪問中心の業務のため、参加回数は3回程度であった。
2	不審者対応・安全に関するマニュアルの見直し	防災マニュアルの見直し、子ども何でも相談センター各事業所、地域住民との災害対策連絡会及び合同訓練を実施	未実施
3	衛生に関するマニュアル見直し	子ども何でも相談センターと見直す。	未実施

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	第三者評価を活用し、改善を行う。	第三者評価の指摘項目の確認と改善の見直しを行う。	職員会議で振り返りを行い、実施に努めた。
2	契約者への定期的モニタリングの実施	個々の契約内容に合わせてモニタリング実施。	計画作成が中心となり、変更手続きのモニタリングから対応した。
3	意見・苦情・要望の対応	契約時の要望確認と苦情等記入用紙の利用推奨	未実施

【施設整備】

なし

【利用者数・職員配置】

管理者：1名

相談支援専門員：1名

I 利用者動向

■相談契約

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	98	13	18	15	21	18	21	20	15	19	13	6	6	-	277	-
計画	15	19	17	20	30	21	21	20	22	12	10	74	74	-68	281	-4
H29年度実績	27	31	24	28	27	27	27	18	13	29	41	54	54	-48	346	-69
H28年度実績	30	27	23	31	30	26	24	19	17	27	49	45	45	-39	348	-71
H27年度実績	30	12	20	35	30	35	18	17	18	14	59	60	60	-54	348	-71

■モニタリング

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	0	2	11	10	5	15	11	7	8	7	2	12	12	-	90	-
計画	17	15	18	10	16	72	20	15	19	14	29	22	22	-10	267	-177
H29年度実績	4	3	4	5	5	9	15	15	19	12	5	9	9	3	105	-15
H28年度実績	3	4	4	3	3	7	2	5	9	3	2	2	2	10	47	43
H27年度実績	0	4	5	3	4	5	7	10	6	3	7	11	11	1	65	25

II 概算収入

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	差異	通期
計画作成件数	98	15	29	25	24	26	30	25	20	20	15	18	29	-	345
H29年度実績	13	75	34	27	29	42	38	41	36	26	27	16	34	-5	404
H28年度実績	16	73	28	11	14	18	26	32	16	13	12	7	22	7	266
H27年度実績	46	15	7	10	43	46	30	18	24	10	10	4	22	7	263

相談員：1名（H30.9まで）0名（H30.10～）

契約者数 年間平均 272名

倉敷地域生活支援センター・倉敷学園に、15名契約変更

【年間研修】

子ども何でも相談センター 事例検討会議に参加（月1回）

【年間行事】

なし



## 倉敷拠点

- ・ 児童発達支援センター 倉敷学園
- ・ 児童発達支援事業所 きらり中庄
- ・ 児童発達支援事業所 きらり倉敷
- ・ 児童発達支援事業所 きらり児島
- ・ 障がい者支援施設 あしたば
- ・ 共同生活援助事業所クムレ
- ・ 多機能型事業所 コトノハ
- ・ 放課後等デイサービス コトノハ
- ・ 生活介護事業所 わきあいあい
- ・ 就労継続支援 B 型事業所 クラシス
- ・ 就労継続支援 B 型事業所 やさい畑クムレ
- ・ 居宅介護事業所 なないろ
- ・ 倉敷地域生活支援センター
- ・ 倉敷発達障がい者支援センター

## 児童発達支援センター倉敷学園

### 【事業実施概要】

倉敷学園では、今年度より障がい児相談支援事業を開始した。地域の0歳～18歳までの児童に対して学園内の基本相談との連携により障害受容からより身近な生活基盤で支援を行えるようアウトリーチの基盤作りを行なう年度となった。要配慮児童に対する支援を総合的に実施する中核的な支援拠点として、相談支援と発達支援を二つの柱としてどんなに重い障害があってもその子らしくいきいきと生きていけるよう、相談、連携、発達支援、地域支援に関する事業を引き続き実施していく。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>①子どもの権利擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの全体像を把握した支援提供を行う</li> </ul> <p>②チームアプローチの充実</p> <p>③多様な経験の機会</p> <p>④職業人、対人支援</p>	<p>①尊厳と自立支援（意思決定支援・合理的配慮）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別性に配慮した活動</li> <li>・個々のニーズの実現</li> <li>・意思表示方法等の工夫</li> <li>・多様な経験が持てる活動プログラム</li> <li>・生活の場での支援（自宅・園訪問）</li> </ul> <p>②・支援計画における専門性の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援計画書による支援充実</li> <li>・年に2回サービス担当者会議の実施（多職種協働による包括支援）</li> <li>・クラス会議</li> <li>・PEP検査 川崎医療福祉大学 諏訪先生と大学院生による検査と職員に対しての指導</li> <li>・こどもとしての多様な経験をする機会設定</li> </ul> <p>④階層別研修（法人別紙）</p>	<p>①個別支援計画に基づき実施。モニタリングを行なう家庭の中で個別性に配慮した活動、個々のニーズの実現を行なった。</p> <p>②③今年度年長児には、花育（月1回）アート活動（月1回）音楽活動（月1回）農業活動等計画に沿って実施した。</p> <p>②保護者からのニーズが高い特別支援についてもST訓練は全園児実施した。年に二回担当者会議には多職種共同で会議を行なった。・ケースカンファレンス時は学園内の専門職に参加し多方面からの見立てが行なえた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PEP検査も実施し、振り返り時には職員も同席し支援について指導を受ける機会が持てた</li> </ul> <p>④階層別研修・専門研修は、法人の</p>

	<p>者としての人間力向上・広い視野を持ち専門性を向上させる</p>	<p>・専門研修、拠点研修（別紙）、事業所研修（下表）</p>	<p>計画通り実施。 ・事業所研修は、子どもの権利を保障し日々の支援を行っているかGWで検証した。</p>
<p>2</p>	<p>① 保護者との協働関係の強化</p> <p>② 家族のエンパワメント支援</p>	<p>① 行事予定参照 家庭訪問：定期訪問（4月末）・必要時 親子療育：年6回（5・7・9・11・1・3月）、懇談：年3回（5・10・3月） 保護者会：毎月、勉強会：年5回（4・7・9・12・1月）、座談会：2回、茶話会：3回 保護者バス旅行・施設見学7月 ペアトレ：2回（春・秋） 卒園児の会：継続的な卒園児保護者の相談の場：月一回</p> <p>② 行事予定参照 就学前研修会（教育委員会：6月、兄弟児活動：年2回とひろば活動での母ボラ、</p>	<p>①家庭訪問は、4月に実施した。必要な家庭については通所支援計画に基づき訪問を行なった。親子療育は祖父母参観日を設けた。勉強会時には倉学カフェを実施。保護者同士のつながりの場、学園職員との話し合いの場、食育の場としても活用出来た。</p> <p>・子供の発達、障害、健康などについて専門職が座談会茶話会を行なった。子育てや就学等テーマによっては卒園児の保護者に講師役をお願いした。</p> <p>・卒園児の会は毎月一回実施。川崎医療福祉大学の学生ボラも参加し、子どもの成長や保護者の不安・喜びに寄り添った。</p> <p>・ペアトレについては今年度カテゴリーミーティングを実施し成人期支援の職員も参加することで保護者の育児の視点も少し将来を見据えたものとなった。又学園だけでなく成人期の父親も参加した親父の会も再開ができた。成人期のサービスにも興味を持ちクムレいきいきポイント制度の活用でコトノハでのボランティア活動に参加された保護者も数名いた。</p> <p>②計画に沿って実施した</p> <p>・コトノハ（生活介護）の保護者との交流茶話会も実施した。</p> <p>・保護者主体のおひさまクラブを月</p>

		<p>先輩保護者勉強会：7・11月 かがやき手帳・サポートブック作成（7月） 祖父母親子参観：9月 ひろば利用したサークル活動支援</p>	<p>に一回開催した。 ・兄弟児支援は月に一回実施。10月はきりり中庄の兄弟児とともにデイキャンプを行なった。 ・どんぐりひろばには、学園保護者がママボラとして参加。</p>
3	<p>①機関連携・地域関係づくり 地域課題を明らかにして地域で課題解決する場</p> <p>②地域住民も参加できる場づくり ・心身健康の維持の場、多世代交流</p> <p>③地域社会への障害の理解と啓発</p> <p>④地域子ども支援力向上 福祉サービスを伴わない児童の相談支援</p>	<p>①・庄小地域ケア会議 ・機関連携（保育所等訪問・健診保育・すくすく教室派遣） ・東倉敷エリア事例検討会 ・すぎのこ地域子育て支援センターとの連携を取り地域の相談支援を行う ・ひろば栗の家推進会議</p> <p>②赤提灯栗の家 ・オレンジカフェ：月2回</p> <p>③・クラ☆コト：9月 ・クムレいきいきポイントを活用し多様なボランティア受入（庄地域住民・卒園児・保護者） ・地域住民の働く場の提供（活躍・雇用の場） ・実習生：県立大学・川福大・日福・中国大学・NDSU・吉備国大等 ひろば栗の家で啓発講座実施</p> <p>④どんぐりひろば：月2回 どんぐりフットサル 卒園児・兄弟児支援（川崎医療福祉大学ボランティア）</p>	<p>①計画通り実施 ・小地域ケア会議・エリア事例検討会に参加し多様化した福祉サービスが必要な世帯や貧困家庭について事例を通して考える機会を持った。子育て支援センターとの連携、ひろば栗の家推進会議は未実施</p> <p>②計画通り実施</p> <p>③実習・ボランティア受け入れの基本方針に沿って推進した。庄地区人権推進のボランティアも今年度は受け入れ理解の促進を図った。</p> <p>④計画通り実施した。 相談から必要な社会資源への紹介を行なった。未就学児に対してはどんぐりひろば、学齢期の児童に対してはカテゴリーでの協働マロンクラブ（無料）を実施した</p>



## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	職員自身がそこで暮らしたい・通いたい・楽しいと思える活動を話し合い、実施する	利用者・家族・地域の人々とわくわく出来る活動プログラムの内容を職員会議で話し合う。	・今年度新たにアート活動（川崎医療福祉大学先生と学生）実施した。
2	風通しの良い職場作り（なんでも言い合える職場）	・明るい挨拶 ・職員会議にて事業内容の説明、中間報告を行なう。	・挨拶・報告連絡相談実施した。 ・4月は拠点コンセプトと事業計画の説明、10月に中間報告と職員からの意見を聞き取り、後半に改善を行った。また翌年の事業計画にも反映している。
3	やりがいや充実感を感じながら働き、個人の時間を持てる働きやすい職場作り	①ケースマネジメントの徹底→記録の省力化、チームアプローチ、ITの導入を図る。②業務内容の点検作業を行う。仕事を細分化し誰もが出来る仕事とのすみ分けをする	①ケースマネジメント実施業務の細分化は引き続き実施

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	消防計画に基づき防災訓練の実施	・毎月、防災訓練実施 ・11月消防署と協働し火災訓練 ・5月・10月防災設備の点検委託〔年に2回〕	・毎月防災訓練実施した。 ・11月消防署と共同火災訓練、防災設備定期点検は年2回

2	事業所内安全点検 送迎車両安全点検 不審者訓練  救急法の研修会	月末…事業所内外安全点検 毎日…車両使用時安全点検 10月…倉敷警察署生活安全課と協働実施 専門研修〔年一回〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施</li> <li>・毎日点検、記録、報告</li> <li>・倉敷警察署による講義と模擬訓練（警察署員犯人役、職員はマニュアルに沿った対応、署員による講評）</li> <li>・日赤指導班による研修</li> </ul>
3	環境衛生  事業所内の消毒・玩具消毒の徹底 感染予防と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・害虫駆除・樹木の消毒の実施</li> <li>・毎日・月一回点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施した</li> </ul>

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足向上を目的とした仕組を整備し取り組みを行う	11月厚労省「児童発達ガイドライン」の自己評価・保護者評価を実施。12月集計1月実施結果をホームページで公表	11月に職員保護者の評価を行い、法人ホームページ、倉敷市障害福祉課ホームページに掲載した
2	多様な経験の機会が持てる活動プログラムの実施	年間行事・年間支援計画・栗の家の活動参照	行事・支援計画に則り活動を実施した
3	切れ目のない支援体制	随時…相談からサービス提供、サービス終了後の相談・移行先への支援 毎月…卒園児の会、新たな資源開発	学園内に障害児計画相談を立ち上げた。移行支援、アフターフォローを実施した

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	マイクロバス等公用車の安全整備	年に1回車検・3ヶ月に一回の定期点検の実施、修理が必要時には捻出	定期時に整備実施
2	安全な食の提供	厨房機器の点検・故障時の費用	厨房厨機故障時に新しいものと交換
3	園庭テラスの屋根〔日陰〕	プールが始まる5月園庭テラスの屋根設置	2月砂場屋根の補修を行った

【利用者数・職員配置】

平成30年度		3月予算実績管理表												事業所名: 児童発達支援センター 倉敷学園		責任者名: 安 知子	
I 利用者動向																	
■通園 定員: 50 単位: 人																	
	項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
	実績	1,082	1,101	1,069	1,068	1,117	1,076	1,191	1,112	1,172	1,159	1,013	1,152	1,152	-	13,312	-
	計画	1,100	1,150	1,100	1,150	1,150	1,100	1,150	1,100	1,150	1,150	1,000	1,150	1,150	2	13,450	-138
	H29年度実績	1,128	1,169	1,131	1,120	1,133	1,106	1,097	1,127	1,183	1,174	1,000	1,138	1,138	14	13,506	-194
	H28年度実績	1,241	1,253	1,387	1,425	1,315	1,387	1,319	1,359	1,314	1,351	1,260	1,389	1,389	-237	16,000	-2,688
	H27年度実績	1,151	1,240	1,334	1,354	1,193	1,184	1,328	1,232	1,295	1,268	1,213	1,258	1,258	-106	15,050	-1,738
	月平均利用者数	49.2	47.9	48.6	48.5	48.6	48.9	51.8	50.5	51.0	50.4	50.7	50.1	50	-	49.7	-
	利用率	98.4%	95.7%	97.2%	97.1%	97.1%	97.8%	103.6%	101.1%	101.9%	100.8%	101.3%	100.2%	100.2%	-	99.3%	-
	H29年度実績	102.5%	101.7%	102.8%	97.4%	98.5%	100.5%	99.7%	102.5%	102.9%	102.1%	100.0%	99.0%	99.0%	1%	100.8%	-1%
	H28年度実績	124.1%	119.3%	126.1%	123.9%	119.5%	126.1%	114.7%	123.5%	119.5%	122.8%	126.0%	120.8%	120.8%	-21%	122.2%	-23%
	H27年度実績	115.1%	124.0%	121.3%	123.1%	113.6%	118.4%	115.5%	123.2%	123.3%	120.8%	115.5%	114.4%	114.4%	-14%	119.0%	-20%
開所日	実績	22	23	22	22	23	22	23	22	23	23	20	23	23	-	268	-
	計画	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	-1
	H29年度実績	22	23	22	23	23	22	22	22	23	23	20	23	23	0	268	0
	H28年度実績	20	21	22	23	22	22	23	22	22	22	20	23	23	0	262	6
	H27年度実績	20	20	22	22	21	20	23	20	21	21	21	22	22	1	253	15
■保育所等訪問支援事業																	
	項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
	実績	0	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	-	12	-
	計画	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	16	-4
	H29年度実績	0	0	0	1	0	2	2	2	2	2	2	2	2	-1	15	-3
実施日	実績	0	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	-	12	-
	計画	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	16	-4
	H29年度実績	0	0	0	1	0	2	2	2	2	2	2	2	2	-1	15	-3
■日中一時支援事業 単位: 人																	
	項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
	実績	78	94	113	118	101	97	134	130	125	112	135	132	132	-	1,369	-
	計画	144	160	176	160	160	160	152	130	100	100	100	100	100	32	1,642	-273
	H29年度実績	140	148	163	166	177	177	179	189	173	132	152	146	146	-14	1,942	-573
	H28年度実績	155	173	203	193	187	193	216	216	190	190	221	175	175	-43	2,312	-943
	H27年度実績	10	131	173	178	148	168	207	206	187	201	213	175	175	-43	1,997	-628
	月平均利用者数	4.6	4.5	5.4	5.6	5.3	5.4	6.1	6.2	6.6	5.9	7.1	6.9	-	-	5.8	-
開所日	実績	17	21	21	21	19	18	22	21	19	19	19	19	19	-	236	-
	計画	18	20	22	20	20	20	19	19	20	19	19	19	19	0	235	1
	H29年度実績	18	20	22	20	21	20	19	19	20	19	19	19	19	0	236	0
	H28年度実績	18	18	22	23	19	20	20	20	19	19	19	19	19	0	237	-1
	H27年度実績	20	20	22	22	18	19	21	19	19	19	20	19	19	0	238	-2

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	児童発達支援ガイドライン 「子どもの権利について」	支援者として必要な倫理を理解し、子どもの尊厳と自立を考えた
5月	児童発達支援ガイドライン 「子どもの理解と支援について」	ガイドラインと業務マニュアルから、子ども理解と支援について学んだ
6月	地域支援とつなぐ支援	ひろば栗の家の地域支援・保育所等訪問事業のつなぎの支援について報告した
7月	ガイドライン・業務マニュアル 「家族支援」	障がいのある子どもの育児や発達の基盤である家庭生活を理解しクラスごとにグループワーク
9月	合理的配慮の理解 (GW)	日々子ども支援を通して合理的配慮の具体的実践を考えクラスごとに発表した
11月	ガイドライン 自己点検	日々の支援について自己点検シートを使用し検証を行った
12月	家族支援 (GW)	家族支援の具体的事例を通して、家族の立場を話しあい、クラスごとに発表した
2月	振り返り	児童発達支援センターの業務マニュアルから今年度の支援について評価を行った

【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式・在園児（4日）</li> <li>・勉強会（説明と倉学カフェ）8日</li> <li>・新入園児親子療育（5日6日）</li> <li>・家庭訪問（24日～28日）</li> <li>・ペアトレ（4月27日～7/7 7回シリーズ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式、在園児クラス紹介</li> <li>・法人理念・方針、学園事業方針等説明、支援について</li> <li>・入園後二日間、クラス保育の様子とねらいについて保護者と確認した。</li> <li>・保護者と自宅で面談・家庭環境把握</li> <li>・学園の専門職が、希望者に対して子育て方法を一緒に考えていき子育て力の強化を図った。</li> </ul>

6月	田植え	地域住民、家族、子どもで田植えを行った
6月～ 8月	テラスプール	テラスでのプール遊び・水遊び
8月	年長児課外活動	・年長児が就学に向け保護者と離れセンター外活動を行った
9月	運動参観日（23日） クラ☆コトフェスティバル	・運動を通して親子で交流した ・倉敷拠点を中心に地域の方とのお祭り
10月	稲刈り（3日）	地域住民、家族、子どもで稲刈りを行った
11月	・親子遠足	各クラスごと新幹線に乗り食事をとった
12月	・しめ縄づくり（11日）  ・クラス発表会（8日） ・クリスマス会（25日）	・刈り取った稲で注連縄を地域住民・家族・子どもと一緒に作った ・クラス単位で参観日（発表会）を行う ・楽器・歌・プレゼント・会食などボランティア・大学生と楽しんだ
1月	とんど焼き（15日）	お飾りや書・絵を燃やし一年の健康を祈った
2月	節分豆まき（3日）	豆まきをして会食を楽しんだ
3月	・在園児・新入園児説明会（5日） ・卒園式（29日）	・新年度の支援方針・方法・運営規定等保護者に伝達した。 ・家族・職員・地域関係者と卒園を祝った

## きらり中庄

### 【事業実施概要】

児童発達支援事業所きらり中庄は、倉敷学園と手を携え重症心身障害児の児童を対象に、単独通所し医療ケア、日中活動、機能訓練を行った。また発達になんらかの課題がある子どもたちが、その子らしく生活し成長できるよう発達支援を行い、子どもたちの生活の主体である家庭、所属園、学校、医療と連携し、地域で活用できる支援内容を提供した。ご家族とともに子どもの発育を愛しみ、子どもの個性を生かす関わり方をともに考え学びながら、家族が意欲と喜びを持って子育てが出来るよう支援する。

地域全体で子どもたちや障がいのある方々を支援出来るよう、開かれた事業所であり続ける。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施責任者 (誰が)
1 こ ど も の 豊 か な 発 達 支 援	①子どもの全体像を把握した支援提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護について研修（階層・専門研修）を実施する。</li> <li>・アセスメント情報を保護者や園と共有し、支援計画を立案する。</li> <li>・主治医訪問を行ない、指示書の内容共有を深めて医療ケアを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修と専門研修は、法人の計画通り実施した。</li> <li>事業所研修は、倉敷学園の研修に参加している。計画よりも、少ない実施である。</li> <li>・園訪問をしながらアセスメントを行い園とともに、子どもの全体像を捉え計画を立案した。</li> <li>・医療的ケアを実施する児童について主治医訪問を行ない、内容を踏まえて活動を実施した。（ひかり1ケース）</li> </ul>
	②多職種協働により専門性を発揮した支援提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協働の計画立案</li> </ul> ST、OT、PT、看護師、栄養士と情報を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の後半、看護師、児童発達支援管理責任者、管理者、栄養士、言語聴覚士とともに食事についての会</li> </ul>

			議を行い、指示書の見直しを行っている。次年度は、毎月会議を実施する。
2 家族の子育て力の強化	保護者との協働関係の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容を説明し、事業所の方向性について理解を得る。</li> <li>・意見を伝えられる場や方法を作り、積極的に意見を活用する。</li> <li>・茶話会やペアトレにより保護者のストレス解消や不安を軽減する。</li> <li>・保護者をボラとして受け入れ、支援内容について共通理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に、事業計画の説明を保護者にも行っている。</li> <li>・意見箱を設置。意見を記入できるメモ用紙を連絡帳に挟み、意見を改修できている。</li> <li>・保護者ボラ1名。終了児ボラ2名を受け入れた。</li> </ul>
3 生涯生活できる地域環境作り	地域社会への障害の理解と啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースを通じて園や学校を訪問し、生活の場で子どもたちの支援を共に考える。</li> <li>・きらり終了児が、社会参加の経験や体験が出来る場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい利用児の所属園は、全ケース訪問。課題を園と共有し、事業所の課題を見直した。</li> <li>・早島支援学校での担当者会議にも前ケース訪問。</li> <li>・地域の施設（トキワフットサル）において、フットサル経験を3つの時期に分け7日開催。</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	行事や普段業務の業務改善	職員会議での意見徴収 経営情報の提供と共有 第三者評価結果改善活動	・10月に中間報告と職員からの意見を聞き取り、後半に改善を行った。また翌年の事業計画

			にも反映している。 ・第三者評価の結果を受け、意見箱を設置し、事業計画を保護者に説明した。
2	業務マニュアルの点検と見直し	現場職員が実情とマニュアルや要領書の相違を指摘、提案する	職務遂行要領書についての点検を行っている。
3	医療ケア会議の実施	月1回から2回実施して、看護師と共通理解のある支援を提供する。	毎月、実施している。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	災害福祉体制・情報ネットワーク作り	BCPの作成 合同防災訓練	法人主導の事業所のBCPは、作成している。重症児避難に向け、備品などを準備した。 警察、消防の助けを借り防災訓練を10月11日に実施した。(倉学と合同)
2	コンプライアンス (法令順守)	自己点検を実施してガイドラインに沿った運営を行なう。(児発、放デイ)	児童発達支援ガイドライン、放課後等支援ガイドラインに基づき支援を実施。また保護者と職員による事業所評価を行い、倉敷市と法人のHPにて公表している。
3	感染予防 衛生管理の実施	安全点検の実施	毎月、計画通り実施。



【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	関係機関との連携 (医療連携・所属園 や家庭への訪問)	・放デイ全利用児のケース 会議出席（重症児）  ・児童発達支援センターと の情報交換（毎月）	・放デイのケース会議 は、全ケース出席し情報 を共有した。事業所の支 援を見直している。 ・センターに移行したお 子さん、センターの入園 を考えているお子さんも おり、毎月情報共有し、 移行支援を行った。
2	切れ目の無い支援提 供を行う	・終了児の保護者が相談で きる場を確保する。	・メール登録を行った。 定期的なメールは無い。 しかし、夏と冬の課外活 動に参加されるなど、終 了後も継続的な見守りを 行っている。
3	透明性のある事業所 を目指す	・意見や苦情、それらに関 する取り組みや考えを開示 する。	事故や意見や苦情は、毎 月のつうしんで報告し、 改善策も提示し保護者へ 周知している。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	安全な送迎場所の確 保	玄関前に送迎用の屋根をつ ける 駐車スペースを明記する	設置
2	車椅子の安全な入館	玄関にスロープ設置	設置
3	照明の確保	個別エリア（おべんきょう スペース）を明るくする	照明を確保した。

【利用者数・職員配置】

平成30年度		3 月予算実績管理表		事業所名:ぎらり中庄									責任者名:篠原 みゆき			
I 利用者動向																
■児童発達支援 定員10名 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	224	227	269	261	258	237	263	258	245	243	224	261	261	-	2,970	-
計画	230	230	250	250	240	240	250	250	240	240	220	230	230	31	2,870	100
H29年度実績	225	211	254	244	242	233	252	253	253	241	241	256	256	5	2,905	65
H28年度実績	179	188	246	217	238	232	224	225	210	219	208	216	216	45	2,602	368
H27年度実績	129	166	233	241	235	214	246	213	223	211	215	216	216	45	2,542	428
II 月間開所日 <span style="float:right">単位:日</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	23	23	25	24	24	23	26	25	24	24	22	25	25	-	288	-
計画	23	23	25	25	24	24	25	25	24	24	22	23	23	2	287	1
H29年度実績	22	23	25	24	24	23	26	24	24	23	24	23	23	2	285	3
H28年度実績	21	21	25	24	24	24	25	25	23	24	22	22	22	3	280	8
H27年度実績	20	22	25	24	23	21	24	22	23	21	22	23	23	2	270	18
III 月平均利用者数 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異
実績	9.7	9.9	10.8	10.9	10.8	10.3	10.1	10.3	10.2	10.1	10.2	10.4	10.4	-	10.3	-
H29年度実績	10.2	9.2	10.2	10.2	10.1	10.1	9.7	10.5	10.5	10.5	10.0	11.1	11.1	-0.7	10.2	0.1
H28年度実績	9.3	9.7	10.8	9.8	10.4	10.4	9.6	9.6	9.8	9.6	10.0	10.4	10.4	0.1	9.9	0.4
H27年度実績	7.2	8.3	10.4	10.8	11.0	11.0	10.8	10.5	10.3	10.8	10.3	10.0	10.0	0.4	10.1	0.2

平成30年度		3 月予算実績管理表		事業所名:ぎらり中庄									責任者名:篠原 みゆき			
I 利用者動向																
■重度心身障害児 発達支援 定員5名 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	32	41	50	43	37	43	51	43	41	41	47	51	51	-	520	-
計画	40	40	43	44	45	41	43	43	42	41	38	40	40	11	500	20
H29年度実績	1	4	11	13	27	30	30	40	27	33	41	47	47	4	304	216
■重度心身障害児 放課後等デイサービス 定員5名 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	86	79	79	77	82	82	90	92	70	87	92	95	95	-	1011	-
計画	80	79	85	90	80	80	80	80	80	80	74	80	80	15	968	43
H29年度実績	1	9	28	53	45	60	64	70	69	67	67	72	72	23	605	406
II 月間開所日 <span style="float:right">単位:日</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	24	24	25	24	24	23	26	26	24	24	23	25	25	-	292	-
計画	23	23	25	25	24	24	25	25	24	24	22	23	23	2	287	5
H29年度実績	1	9	25	24	24	25	26	26	24	23	24	23	23	2	254	38
III 月平均利用者数 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異
実績	4.9	5.0	5.2	5.0	5.0	5.4	5.4	5.2	4.6	5.3	6.0	5.8	5.8	-	5.2	-
H29年度実績	2.0	1.4	1.6	2.8	3.0	3.6	3.6	4.2	4.0	4.3	4.5	5.2	5.2	0.7	3.4	1.9

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	児童発達支援ガイドライン「子どもの権利について」	支援者として必要な倫理を理解し、子どもの尊厳と自立について見直したり改めたりしている。
	毎月 つばさクリニック勉強会参加	紙パンツの当て方など指導できる指導者、重症児用のグッズを取り扱う業者と、連絡先交換を行っている。
5月	①アセスメントから支援計画、アウトカム ②児童発達支援ガイドライン「子どもの理解と支援について」	① 支援提供の効果に目を向ける ②ガイドラインと業務マニュアルから、子ども理解と支援について互いの考え等を話しあっている。
6月	保護者対応(面接・懇談・苦情対応等)、 相談支援(各機関の役割、子どもの虐待等) 地域支援とつなぐ支援	面談技術習得と向上にむけ、保護者対応で重要な点を話し合った。
7月	ガイドライン・業務マニュアル「家族支援」	障がいのある子どもの育児や発達の基盤である家庭生活を理解し、受容・共感しコミュニケーション能力の向上を目指した。
9月	合理的配慮の理解 (GW)	子ども支援事例を通して合理的配慮の具体的実践を考えた。
11月	ガイドライン 自己点検	日々の支援について自己点検シートを使用し検証した。
12月	家族支援 (GW)	家族支援の具体的事例を通して、家族の立場に共感し、受け止められるようになることを目標とした。
2月	振り返り	児童発達支援センターの業務マニュアルから今年度の支援について見直しを行った。

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
5月	ペアレントトレーニング（5月～8月）	前期2名、後期2名の参加
6月	就学に関する勉強会	倉敷市、岡山市の教育委員会 講師
7月	保護者向け勉強会	茶話会は、各6回
8月	保護者座談会	保護者の向けの勉強会は、倉学合同（情報共有、交流会、サポートブック、成人期支援など）実施。 祖父母と兄弟の参観日を実施。
9月	親子課外活動	
	クラ☆コトフェスティバル	
10月	ペアトレ（10月から1月）	
11月	保護者向け勉強会	
12月	参観日	
1月	保護者向け座談会	

## きらり倉敷

### 【事業実施概要】

きらり倉敷は、倉敷市の障がい児支援の専門施設として、質の高い支援を提供してきた。今年度は、利用児を対象として情報共有を用いて所属園や学校へ積極的に訪問し、関係機関との繋がりを作ったり、支援の情報共有を行ったりして、お子さんにとって密な連携を図る機会が増えた。今後も家庭や園における困り感に対して、事業所がアプローチしていきながら、地域の中で安心して過ごせるように支援を行っていききたい。

また、放課後等デイサービスのお子さんを対象とした選択活動を実施し、お子さんが目的を持って参加できる機会、自分の意志を表出できる機会を提供した。選択肢の中にも郊外活動を設定し、地域の中に参加できる機会も提供した。

きらり終了と共に事業所との関係が切れてしまうということに対しては、倉敷拠点が主催する課外活動や SST 活動への参加を促した。今の姿を職員が把握すると共に、お子さんにとっての居場所づくりを提供したり、保護者の方にとっての相談場所として機能したりすることとなった。今後も、地域の中で過ごすお子さんや事業所の利用を終了したお子さんを対象に、居場所づくりとしての機能を果たしていきながら保護者の方を含めて安心できる場所としての役割を果たしていききたい。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1 子 ど も の 豊 か な 発 達 支	①子どもの権利擁護 ・利用者自身の自己選択、自己実現を目指す	4、9、3月にアセスメントを行い支援計画立案、実行する。	・各月にアセスメントを実施し、支援計画の立案を実施することが出来た。
	②チームアプローチの充実 ・困難ケースへの適切な対応を目指す	困難ケース（保護者の養育力困難ケース2ケース）に対して月に1回以上関係機関と情報共有を行う。 方法は電話、メール、ケース会議等よりの実施。関係機関は、園や病院、相談機関等とする。	・計画に則り、適宜関係機関との情報共有を行うことが出来た。

援	③職業人、対人支援者としての人間力向上、広い視野を持ち、専門性を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修（法人年間計画参照）への参加</li> <li>・専門研修（倉敷拠点年間計画参照）への参加</li> <li>・事業所研修（下表参照）への参加</li> <li>・倉敷学園の行事（栗の家：卒園児の会、兄弟児の会）への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自研修へ参加し、自身の専門性を高められた。</li> </ul>
2 家族の子育て力の強化	①関係機関との連携、協働	利用児の所属機関（家庭・園、学校）訪問を行い、アセスメントと支援の立案を共同で行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、6月に情報共有シートを用いて園訪問を実施。その後11月も任意で園訪問を行っている。</li> </ul>
	②サービス終了児の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了児（保護者）にクムレいきいきポイントの登録を促す。</li> <li>・終了前にメール登録を促し、勉強会やクラ☆コト等の案内を送る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用終了時に対して、いきいきポイントの登録を促した。</li> <li>利用希望者に対して受け入れを行い、事業所の掃除や資料や制作作りの手伝い等を実施して頂いた。</li> <li>・クラコトへの案内を配布し、利用終了児に対して参加を促した。</li> </ul>
3 生涯生活できる地域環境作り	①地域との関係づくり	地域住民の不要品（玩具、文具、衣類等）を年に一回、事業所にて回収させて頂き、事業所の場所や、事業を知って頂く。不要品回収の案内は公民館に掲示させて頂く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用品回収には至っていない。</li> </ul>
	②地域社会への障害理解と啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月にクラ☆コトの案内を利用児へ配布する。</li> <li>・クラ☆コトにきらりブースを出展する。</li> <li>・8～9月に卒園児（保護者）や学童へ向けてクラ☆コトのボランティアを募る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラコトには、きらり倉敷・児島から参加し、合同でのイベントを実施した。</li> <li>学童児へのボランティアを募ることは出来ていない。</li> </ul>

## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークライフバランスを維持できる職場を作り	①1年間に3日以上の有給休暇取得。 ②責任者が取得しやすいように声かけを行う。※毎月	毎月の声かけは出来ていなかった。 1年間の3日以上取得できた職員もいるが、できなかった職員も居た。
2	相談しやすい環境作り	個別療育課題に係る話し合いを正規職員で行う。 ※月に1回以上	職員会議にて、職員間での情報共有を行っている。
3	職員のアセスメント力向上	病院リハビリへの見学をし、アセスメントや支援の幅を広げる。 ※年3回以上	適宜、リハビリの見学を家庭のニーズに合わせて行っている。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	不審者に対応できるよう備える	10月に警察を招いて不審者対応訓練を実施。	10月15日(月)不審者対応訓練を実施した。
2	利用児や職員の安全が保たれる環境作り	1月に全職員アンケートを実施し、修繕の必要性の清さと改善を行う。	時期は過ぎたが、修繕・環境構成のアンケートをとり、修繕や改善の必要性がある場所を洗い出した。
3		毎月、個別療育で使用する物品を消毒。チェックリストを用いて実施。	毎月、チェックリストを用いて衛生場面でのチェックを行った。

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足向上を目的とした取り組みを整備し、	11月に厚労省「児童発達支援ガイドライン・放課後等	保護者向け、事業所職員向けにアンケートを

	取り組む。	デイサービスガイドライン」の自己評価・保護者評価を実施。 12月に実施結果を集計し、1月にホームページで公表する。	実施し、集計後HPにて公開した。
2	保護者と利用児の姿や課題、支援方針を共有	①毎月1週間分、家族見学週間を設定。 ②引き継ぎの時間に困難ケースには家族見学週間への参加を個別に勧める。 ③①②に参加の無いご家庭には2ヶ月に1回以上動画や写真で療育の様子を見える形で伝える。	①②家族見学週間の実施をきりり通信で伝えたり、必要な家庭には個別で声掛けを行った。懇談時には、動画や写真等で伝えられる情報を伝えた。
3	家族に対する心理的なサポート	保護者勉強会、座談会を実施。※年2回以上	10月8日に家族の集いを実施した

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	専門職としての知識を地域へ発信	所属機関（園、学校、学童クラブ等）へ、“きりり”で行っている支援をお便りとして配布する。※年3回以上	所属機関へのきりり通信の配布は行うことが出来ていない。次年度以降、配布を検討する。
2		倉敷市の健診業務（1歳半健診、3歳児健診）への職員派遣。	就学時検診への参加は、児発管が中心となって行っている。
3	困った時に頼れる事業所を目指す	①子ども110番の登録。 （岡山県県民生活部くらし安全安心課の取り組み） ②公園遊びや公園掃除、きりり屋外掃除時に近所の方に積極的に挨拶をする。	①子ども110番へ登録している。次年度も更新する。 ②地域の方とは、公園掃除や屋外掃除の際に挨拶をしてコミュニケーションを図っている。



【利用者数・職員配置】

I 利用者動向															単位:人		
■児童発達支援 定員10名															単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
実績	214	236	232	238	207	191	233	231	209	204	211	195	195	-	2,601	-	
計画	190	210	210	225	205	190	230	220	195	185	200	200	200	-5	2,460	141	
H29年度実績	199	227	242	229	224	237	239	249	217	220	231	245	245	-50	2,759	-158	
H28年度実績	172	183	224	199	219	215	203	216	205	209	203	213	213	-18	2,461	140	
H27年度実績	162	181	231	230	202	199	229	207	218	219	210	220	220	-25	2,508	93	

  

■放課後デイサービス															単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
実績	39	24	34	22	29	42	27	29	31	35	29	43	43	-	384	-	
計画	40	30	40	30	30	40	30	30	30	40	30	40	40	3	410	-26	
H29年度実績	26	21	28	28	21	28	20	23	29	25	24	27	27	16	300	84	
H28年度実績	31	15	34	32	24	30	27	29	27	25	29	30	30	13	333	51	
H27年度実績	17	24	26	21	28	21	21	28	34	32	19	22	22	21	293	91	

  

II 月間開所日															単位:日		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
実績	23	24	25	24	23	22	26	25	23	23	23	23	23	-	284	-	
計画	23	24	25	25	23	23	26	25	23	23	23	24	24	-1	287	-3	
H29年度実績	22	23	25	24	23	23	25	25	22	22	22	24	24	-1	280	4	
H28年度実績	21	21	25	23	25	25	24	25	24	22	23	22	22	1	280	4	
H27年度実績	20	22	25	24	23	21	24	22	23	22	22	22	22	1	270	14	

  

III 月平均利用者数															単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異	
実績	11.0	10.8	10.6	10.8	10.3	10.6	10.0	10.4	10.4	10.4	10.4	10.3	10.3	-	10.5	-	
H29年度実績	10.2	10.8	10.8	10.7	10.7	11.5	10.4	10.9	11.2	11.1	11.6	11.3	11.3	-1.0	10.9	-0.4	
H28年度実績	9.7	9.4	10.3	10.0	9.7	9.8	9.6	9.8	9.7	10.6	10.1	11.0	11.0	-0.7	10.0	0.5	
H27年度実績	9.0	9.3	10.3	10.5	10.0	10.5	10.4	10.7	11.0	11.4	10.4	11.0	11.0	-0.7	10.4	0.2	

【年間研修】

	テーマ	実施内容
4月	児童発達支援ガイドライン 「子どもの権利について」	済
	「事業計画について」	済
	就学について	済
5月	アセスメントから支援計画、アウトカム	済
	児童発達支援ガイドライン 「子どもの理解と支援について」	済
6月	保護者対応（面接・懇談・苦情対応）、相談支援（各機関の役割、子どもの虐待等）	済
	地域支援とつなぐ支援	済
7月	ガイドライン・業務マニュアル「家族支援について」	済
8月	合理的配慮の理解について （グループワーク）	済
11月	ガイドライン	済

	「自己点検について」	
12月	ガイドライン・業務マニュアル「家族支援について」 (グループワーク)	済
2月	振り返り	済

【年間行事】

	利用児（幼児）	利用児（学童）	保護者	卒園児
4月			ペアトレ（4～7月に全6回）	
5月	新規利用児所属機関訪問① (家庭、園、学校等) ※5～6月中			
	就学前懇談 (就学児保護者)		就学に関する勉強会案内	
6月	継続利用児所属機関訪問① (家庭、園、学校等)			
7月	プール (未就園児)		勉強会・座談会	・夏休み中、いきいきポイント活用 の場を設定 ・工作教室 (放デイと共に)
8月		選択（クッキング、 買い物、工作、公共交通機関利用等）活動		
9月	就学前懇談 (就学児保護者)			クラ☆コト
10月	就学前懇談		ペアトレ（10～12月に全6回）	
11月	新規利用児所属機関訪問② (家庭、園、学校等)			
12月		クッキング 書道教室		書道教室（放デイと共に）
1月	継続利用児所属機関訪問② (家庭、園、学校等)		勉強会・座談会	
2月				
3月	卒園式（卒園児）	クッキング 卒園式（卒園児）	利用終了後のサポート体制について説明（配布書類有）	

## きらり児島

### 【事業実施概要】

児童発達支援事業所きらり児島は、発達に何等かのつまづきや遅れのある子どもとその家族が、身近な地域の中で安心して生活ができるよう家族、地域、支援者が連携し協働して育てていく。また利用児や地域の中で課題を抱えた子ども達の社会参加の為に、児島地域福祉の動向を把握、地域との関係作り、地域の社会資源の発掘・活用に力を入れる。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>①尊厳と自立支援 人として人生を保障され、自立や社会参加できるよう利用者主体の支援を実施する。</p> <p>②チームで支援を実施 拠点専門職と様々な視点で支援する。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修</li> <li>・専門研修・拠点研修</li> <li>・事業所研修</li> <li>・アセスメントから支援計画立案（社会参加や地域移行を含めた）</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点専門職と特定児のアセスメント・支援計画立案</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別・専門・拠点研修は計画通り実施した。</li> <li>・計画書への反映はできていないが、地域移行を見据え、自分プロフィールを自分自身で作成する等の活動を実施した。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OTに特定児のアセスメントを依頼し、提案された事を支援計画に反映し支援で取り組んだ。</li> </ul>
2	<p>①保護者の子育て力強化</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトレ（年1クール）</li> <li>・保護者勉強会・座談会（年2回ずつ）</li> <li>・家族見学・親子課外活動（毎月・年2回）</li> <li>・個別懇談・就学懇談（随時・年2回）</li> <li>・家庭訪問（新規利用児年1回）</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期・後期と年2クール実施した。保護者3名の参加であった。</li> <li>・サポートブック勉強会を実施座談会は事業所単独と児島にある他事業所保護者も含めて座談会を実施した。</li> <li>・就学懇談（6. 1 2）実施懇談は随時実施した。</li> </ul>

	<p>②家族のエンパワメント支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟児活動 (年2回)</li> <li>・終了後フォロー (終了児活動・クムレボラ、行事案内)</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みつばちクラブ」と連携し保護者同士が支え合う関係作りを実施 (年2回)</li> <li>・きらり女子会開催(終了した方も含む)し保護者同士の関係作りを実施 (年4回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用児の家庭訪問を実施し、家庭内での様子や困りごと等の聞き取りが出来た。</li> <li>・親子ふれあい活動に兄弟児も参加し、兄弟児が認められる場の提供が持てた。</li> <li>・課外活動やボランティアにてフォローが出来た。継続して関わりが持てている。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブの催しに参加したり、クラブメンバーに女子会に参加してもらったり、保護者同士の関係作りの機会が持てた。</li> <li>・年2回開催。保護者や保護者の友達等で楽しく話す場の提供ができた。</li> </ul>
<p>3</p>	<p>①関係機関との連携・協働</p> <p>②地域住民との関係作り、社会資源発掘</p> <p>③地域住民も参加できる場作り(クムレいきいきポイント活用)</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属機関訪問</li> <li>・関係機関情報共有</li> <li>・ケース会議</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会活動に参加</li> <li>・地域の行事に参加</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や学生ボラの受け入れ</li> <li>・課題がある方を受け入れて社会参加の場を提供</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用児は、情報共有シートを用いて情報共有を図り、支援に反映させた。</li> <li>・特定児のケース会議を随時実施した。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草抜きに参加、町内や他法人事業所施設の祭りに参加し地域との交流を行った。また他事業所の祭りでのボランティアも実施し地域活動に協力できた。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害により社協ボランティア受入は中止になった。地域の学生ボラは、課題のある児童を受け入れ、自己肯定感を高</li> </ul>

			<p>める働きかけができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間的就労では、実習、非雇用を経て就労Bでの受入を継続している。</li> </ul>
--	--	--	---

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークライフバランスを維持できる職場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時退社</li> <li>・ 業務内容点検・改善（年3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週月曜実施</li> <li>・ 職員間で話し合いを設け、改善が図れた。</li> </ul>
2	風通しの良い職場作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告連絡相談の徹底</li> <li>・ 職員面談（年3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員面談にて職員の想いの聞き取りや、目標の共通認識を図ることができた。</li> </ul>
3	やりがいと自己実現を目指せる職場作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員が企画した活動を利用児と実施（年3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウォークラリーやクリスマス会等企画した活動を実施した。企画担当として各職員に役割を設けたことで達成感を味わうことができた。</li> </ul>

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	災害時に対応できるよう備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練（月1）</li> <li>・ 防災設備点検委託（年2）</li> <li>・ 非常食や非常備品の備蓄（年3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震、火事、津波、不審者侵入を想定し毎月実施</li> <li>・ でんでんに委託実施</li> <li>・ 賞味期限等確認</li> </ul>
2	利用児や職員の安全が保てる環境に整える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所内安全点検（月・週・毎日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当により実施</li> </ul>
3	事業所内外の清潔や利用児の健康が保てるように整える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境整備（月1）</li> <li>・ 玩具やカード消毒（週1）</li> <li>・ 衛生勉強会（年1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日、月で実施</li> <li>・ 中間的就労が担当の担い実施</li> <li>・ 所属園にて実施していることもあり優先項目に挙がらなかった為未実施</li> </ul>

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足向上を目的とした仕組みの整備と取り組み。	・厚労省出ガイドラインの自己評価、保護者評価を実施。結果を公表する。	・自己・保護者評価し、公表した。改善を図る。
2	利用者が意見を述べやすい体制確保。	・苦情解決の仕組み（図） ・相談方法が選択可能である事を文書にて明確化	・フローチャートにて苦情解決の仕組みを掲示した。 ・通信にて相談方法や選択可能である事を周知した。
3	サービス終了時の支援	・終了後の相談方法を文書にて明確化 ・クムレいきいきポイントの活用を促す ・終了した方との交流	・終了後の案内方法を文書にて配布すると共に事業所に掲示した。 ・管理者から声をかけボランティアへの勧誘実施。定期的な受入実施。 ・マロンクラブや課外活動にて交流や児一人一人の課題把握・保護者と共有した。

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	地域雇用確保への協力	・職場体験やボランティアの受け入れ ・地域で課題を抱えた人をボランティアや中間的就労で受け入れる	・西日本豪雨災害により社協によるボランティアの受入中止。 ・大半は小学生で課題のある児を受入。中間的終了は嘱託Bにて雇用継続。
2	地域防災	・地域の防災訓練に参加・協力をする	・町内会にて年間計画があったが、今年度は実施しないとのこと。その為法人としても未実施。しかし、隣の大家としゃ災害時協力し合うことは確認している。
3	地域づくりの為の取	・地域の行事に参加・協力	・児島障がい者支援センターや

り組み	・地域のボランティアやNPO等の活動に参加・協力	他法人の祭りに参加した。さらに、ボランティアとして協力した。
-----	--------------------------	--------------------------------

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)
1	なし	
2		
3		

【利用者数・職員配置】

平成30年度	3 月予算実績管理表	事業所名: きらり見島	責任者名: 高田 朋													
<b>I 利用者動向</b>																
■児童発達支援 定員10名 <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	151	191	196	205	198	205	234	219	235	198	196	189	189	-	2,418	-
計画	190	210	230	220	230	230	240	230	220	220	200	220	220	-31	2,640	-222
H29年度実績	167	186	222	222	227	234	218	219	203	204	201	222	222	-33	2,525	-107
H28年度実績	158	166	199	192	221	226	218	235	212	205	202	226	226	-37	2,458	-40
H27年度実績	168	165	215	210	192	176	188	167	190	195	184	188	188	1	2,238	180
■放課後デイサービス <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	25	20	23	23	28	27	25	25	26	26	25	27	27	-	300	-
計画	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	-3	360	-60
H29年度実績	29	24	28	31	29	31	29	26	28	24	24	25	25	2	328	-28
H28年度実績	21	24	28	28	26	29	29	32	26	31	19	28	28	-1	321	-21
H27年度実績	20	27	27	19	26	19	16	20	28	23	12	15	15	12	252	48
<b>II 月間開所日</b> <span style="float:right">単位:日</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	22	24	25	24	24	24	26	25	24	23	22	23	23	-	286	-
計画	22	24	26	25	24	25	26	25	23	23	22	24	24	-1	289	-3
H29年度実績	22	21	25	24	24	25	24	24	23	22	22	25	25	-2	281	5
H28年度実績	21	21	25	23	25	25	24	25	23	23	22	23	23	0	280	6
H27年度実績	20	22	25	23	23	21	24	22	23	23	22	22	22	1	270	16
<b>III 月平均利用者数</b> <span style="float:right">単位:人</span>																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	月平均	差異
実績	8.0	8.8	8.8	9.5	9.4	9.7	10.0	9.8	10.9	9.7	10.0	9.4	9.4	-	9.5	-
H29年度実績	8.9	10.0	10.0	10.5	10.7	10.6	10.3	10.2	10.0	10.4	10.2	9.9	9.9	-0.5	10.1	-0.6
H28年度実績	10.0	10.0	10.0	10.0	10.8	10.4	10.4	10.4	10.9	10.9	10.5	10.4	10.4	-1.0	10.4	-0.9
H27年度実績	9.4	8.7	9.7	10.0	9.5	9.3	8.5	8.5	9.5	9.5	8.9	9.2	9.2	0.2	9.2	0.3

## 【年間研修】

4月	権利擁護研修	実施
5月	利用者支援全般研修（アセスメント）	実施
6月	利用者支援全般研修（発達障がい、幼児期発達）	実施
7月	ガイドライン自己評価保護者評価	実施
8月	ガイドライン自己評価保護者評価取りまとめ	
9月	ケース検討	終礼にて実施
10月	権利擁護研修	終礼にて日々の振る舞い確認実施
11月	利用者支援全般研修（家族支援）	実施
12月	利用者支援全般研修（地域支援）	実施
1月	権利擁護研修	未実施
2月	ケース検討	終礼にて実施
3月	なし	

## 【年間行事】

4月	新規利用児所属機関訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用児全員 4～6月に所属機関訪問実施。継続児においても、年1回の訪問実施。所属機関と情報共有や課題共有した。</li> <li>・就学児懇談年2回実施</li> <li>・保護者・兄弟児・利用児活動は年2かい実施</li> <li>・終了児活動は倉敷拠点合同で夏冬に課外活動として実施</li> <li>・みつばちクラブとの連携は、クラブの活動に1回参加（1家庭参加）、きらり女子会に先輩ママとして参加して頂いた。</li> <li>・きらり女子会は年2回実施</li> <li>・勉強会・座談会は年2回実施 座談会では児島地区児発事業所保護者と合同で実施</li> </ul>
5月	ペアトレ～8月 新規家庭訪問	
6月	就学児懇談 利用児・保護者・兄弟児活動	
7月	保護者勉強会・座談会「みつばちクラブ」	
8月	終了児活動	
9月	きらり女子会	
10月	きらり女子会	
11月	きらり女子会	
12月	利用児・保護者・兄弟児活動	
1月	保護者勉強会・座談会	
2月	きらり女子会	
3月	終了児活動	



## あしたば

### 【事業実施概要】

平成30年度は、あしたばの施設入所の機能を大集団の生活支援から、10名～20名程度の小集団への変更を行い、より一人ひとりの希望する生活、またグループホーム設立の際には、その単位（ユニット）での地域移行を目指していくための事業計画を立てている。実施の建物改修等は未着手であるが、職員の意識、ルーティンの見直しなどの業務改善を進めていっている。次年度にかけての建物の改修、職員の働き方の検討、家族への説明と同じ方向に向かって共に進んでいくことが課題である。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	その人らしく地域で生活することを意識した支援の実施。	<p>①ユニット化に向けて、半期を目途に、アセスメント・評価表から、地域生活に向けた日中活動プログラムおよび班構成の見直しを行う。⇒ワーキングチームで体制作りを行う（4～9月）</p> <p>②3か月に1回 重度障がい者の地域移行に向け切れ目なく統一した支援を行うために法人内外の他事業所・他機関と連携し勉強会、会議の開催。</p> <p>③GHや一人暮らしへの移行を見据えた施設外ホームの活用（施設外ホームの借り換えも検討）。</p>	<p>①上半期は、日中活動（生活介護）の班再編 WTを主な改善の動きとしている。さくらだいの 班体制を再編、10月から午後の活動を選択活動への転換を図った。</p> <p>②ユニット化の仕組みを学ぶ機会として、9月に滋賀県、12月に旭川荘の事業所を視察。グループホームは県内(2か所)、県外(1か所：神戸)の事業所を視察。家族会や重度GHPT等で報告している。</p> <p>③施設外ホームや空きのあるGHの居室での体験利用に加え、あしたば建物内の「将来自活訓練室」も使用し、一人で出来る生活スキルの確認や取得を目的に行った。そこで、集団生活とは異なる環境で表面化する課題も浮上してきている。</p>

		<p>④重度障がい者や刑余者の支援に関する研修を行い、緊急の受け入れの流れを作り、1床確保する。</p> <p>⑤月1回 併用利用者等に関し、ライフサポート支援会議によるチームアプローチ支援を行う。</p>	<p>④相談員より、虐待ケースでの緊急の受け入れ要請があり、1泊2日で1名の受け入れを行う（5月）。倉敷市基幹型相談センターの取り組みである、短期入所輪番制の取り組みにも賛同。実際の受け入れはないが、当番月には、要請があった際には受け入れ体制を整えている。</p> <p>⑤看護師、栄養士等の専門職も参加し、ケースの情報共有やあしたばのケースの紹介、検討も行っている。</p>
2	<p>家族と協力し、地域生活に向けた支援についてお互いに覚悟をもつ。</p>	<p>①家族会において、法人理念、事業計画や制度、今後の事業運営について丁寧に説明し理解を得る。</p> <p>②本人のニーズを探るため、家庭訪問を行う。</p>	<p>①ほぼ毎月開催の家族会にて、あしたばの状況や事業計画の進捗等についての説明を行う。</p> <p>②家庭訪問は年間1ケースのみとなるが、毎月の家族会や帰宅迎えの際などに家族等と情報交換などを行って行く。</p>
3	<p>地域（山地）の住民の方々に職員・利用者の顔を覚えてもらい、声を掛けてもらえる信頼関係を築き、地域ニーズも探っていく。</p>	<p>①日頃からの挨拶、日中活動や行事を通じての交流。</p> <p>②クムレいきいきポイント加入促進（20名）。</p> <p>③さくらだいの日中活動を地域住民と一緒にやる。</p>	<p>①年間通し、山地・桜台の草刈等の活動に参加。家族等にも声掛けをし参加する月もあり。終了後には地域連携委員会が主体となつての交流イベントや炊き出しを実施。</p> <p>②登録者数はあるが、家族会の日であり清掃等の実態が把握しにくいのが現状であった。次年度にかけての発信等の工夫が必要。</p> <p>③さくらだいの使用頻度を高めていく必要あり。（午後の活動はあしたばに全員が戻り、選択活動を行うため）</p>

## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	計画的な有給休暇の取得。	前月 15 日までに職員各自で申請。	全職員 1 日以上の取得は出来ているが、計画的な取得には繋がっていない。
2	定時退社の励行。	9 月までに業務改善や勤務形態を見直す。	4 か月に 1 回の計画の振り返り時期や年度末には書類作成の頻度が高くなっている。次年度からは改善計画あり。
3	中間的就労の受け入れ。	クムレ公益活動推進センターと協力し、年間 2 名の受け入れを行う。	3 月に 1 名受け入れしているが、途中で訓練中止の申し入れあり。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業継続計画 (BCP) の運用・見直し。	月 1 回の避難訓練 年 2 回の消火訓練 年 1 回の炊き出し訓練	年間計画に沿って実施。災害も経験し、さくらだいで炊き出しを実施。地域の方も来てくださる。
2	ヒヤリハットを月に 10 件以上。	毎日、朝礼および終礼で報告する。	挙がってくるヒヤリの報告が少なく、潜在的また見落としとしている、見過ごしている事例も多いと予想される。第三者評価でも環境面の改善指摘もあるため、日々の環境整備等も気を配っていく。
3	感染症予防対策としてノロウイルス罹患 0 人。	10 月、1 月に感染症予防研修を行う。	ノロウイルスの罹患はなかったが、2 月にインフルエンザ A 型の罹患が利用者、職員合わせて 40 名を超えており、集団生活での対策を次年度にかかっている。

## 【利用者満足取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足度調査結果による改善と質の向上。	10月にアンケートを配布 11月に集計、12月に公表とフィードバック	アンケート実施し、家族会・職員会議で報告。
2	第三者評価を受けての改善と質の向上。	4月、9月に進捗確認 1月に活動報告会にて報告	11月に受審。改善点等次年度の事業計画に反映させていく。
3	ホームページや事業所通信による魅力発信。	月1回のホームページ更新と通信の発行。	定期的な発信が行えていない。

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	①環境改善のため、介護の時間を特に要する1階北棟男性用・女性用トイレにエアコンを設置。 ②老朽化による食堂床の張り替えを行うことにより、安全面と衛生面の改善を行う。	①4月 見積もり 5月 業者による施工  ②4月 見積もり 5月 業者による施工	①トイレエアコン設置完了 (北棟・南棟全トイレ)  ②食堂床張り替え完了(6月)
2	①居室環境の改善(壁の塗り替え) ②将来のユニット化(グループホーム化)に向けて改修工事	①通年かけて職員と利用者で行う ②2月 業者による施工	①②ユニットによる部屋替え等を予定していたが、未実施(未達成)
3	耐用年数経過による非常用電源発電機を更新し、災害時に備える。	5月 業者による施工	下半期に実施

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																
■入所支援 定員50名																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	1,397	1,411	1,400	1,447	1,382	1,392	1,463	1,407	1,405	1,371	1,264	1,433	1,433	-	16,772	-
計画	1,425	1,472	1,425	1,472	1,450	1,400	1,450	1,400	1,400	1,400	1,300	1,450	1,450	-17	17,044	-272
H29年度実績	1,357	1,364	1,401	1,404	1,360	1,382	1,426	1,360	1,387	1,324	1,298	1,454	1,454	-21	16,517	255
H28年度実績	1,354	1,319	1,362	1,372	1,332	1,272	1,375	1,385	1,349	1,327	1,296	1,423	1,423	10	16,166	606
開所日実績	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	31	-	365	-
請求利用者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	-	50.0	-
利用率	93.1%	91.0%	93.3%	93.4%	89.2%	92.8%	94.4%	93.8%	90.6%	88.5%	90.3%	92.5%	92.5%	-	91.9%	-
H29年度実績	90.5%	88.0%	93.4%	90.6%	87.7%	92.1%	92.0%	90.7%	89.5%	85.4%	92.7%	93.8%	93.8%	-1.4%	90.5%	1.4%
H28年度実績	90.3%	85.1%	90.8%	88.5%	85.9%	84.8%	88.7%	92.3%	87.0%	85.6%	92.6%	91.8%	91.8%	0.6%	88.6%	3.3%
■生活介護 定員40名																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	878	919	897	924	892	867	935	882	911	905	801	921	921	-	10,732	-
計画	880	920	880	920	920	880	920	880	920	920	800	920	920	1	10,760	-28
H29年度実績	914	953	926	941	911	887	917	867	892	908	798	913	913	8	10,827	-95
H28年度実績	1,057	1,068	1,071	1,088	1,083	965	1,072	1,065	1,080	1,099	981	1,111	1,111	-190	12,740	-2,008
開所日実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	-	269	-
開所日計画	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0
H29年度実績	22	23	22	23	23	23	23	22	23	23	20	23	23	0	270	-1
請求利用者数	49	49	48	44	44	43	47	44	44	45	50	43	43	-	45.8	-
利用率	99.8%	99.9%	101.9%	100.4%	97.0%	98.5%	101.6%	100.2%	99.0%	98.4%	100.1%	100.1%	100.1%	-	99.7%	-
H29年度実績	103.9%	103.6%	105.2%	102.3%	99.0%	96.4%	99.7%	98.5%	97.0%	98.7%	99.8%	99.2%	99.2%	0.9%	100.3%	-0.5%
H28年度実績	96.1%	92.9%	97.4%	94.6%	94.2%	87.7%	93.2%	96.8%	93.9%	95.6%	98.1%	96.6%	96.6%	3.5%	94.8%	5.0%
■短期入所																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	167	167	164	180	215	208	212	204	159	146	107	159	159	-	2,088	-
計画	135	140	135	140	140	135	140	135	140	140	126	140	140	19	1,646	442
H29年度実績	123	128	129	148	123	145	152	155	139	141	161	164	164	-5	1,708	380
H28年度実績	118	123	122	133	116	122	140	122	120	115	105	128	128	31	1,464	624
請求利用者数	27	31	28	27	24	29	26	30	29	22	21	27	-	-	26.8	-
■日中一時																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	80	72	66	59	46	59	64	72	52	56	35	61	61	-	722	-
計画	75	77	75	77	77	75	77	75	70	70	65	70	70	-9	883	-161
H29年度実績	62	65	67	69	68	77	77	66	65	62	72	71	71	-10	821	-99
H28年度実績	61	51	59	49	48	46	55	58	52	56	58	66	66	-5	659	63

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	リスクマネジメント研修	エピペンについて
5月	介護を学ぶ会	※6月に実施
6月	人権倫理研修	プライバシーの保護について 他) 手洗い講習
7月	触法障がい者支援研修	未実施
8月	介護を学ぶ会	ユニット化について
9月	防災研修	栗坂での講習参加 10月にさくらだいで実施
10月	感染症予防研修	実施なし
11月	介護を学ぶ会	ケース検討の報告
12月	リスクマネジメント研修	ケース検討の報告

1月	感染症予防研修	嘔吐処理等について 他) 居宅事業所について
2月	介護を学ぶ会	女性利用者の介助について
3月	事業計画説明	次年度の方向性の説明

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	お花見週間	ウッドデッキ等で花見・お茶会
5月	あした BAR	未実施
6月	運動会	10月に変更
7月		
8月	あしたば 25 周年夏フェス（納涼大会）	台風接近に伴い、中止
9月	あした BAR	未実施
10月	ハロウィンパーティー、庄地区大運動会	ハロウィン…10月31日実施 あしたば運動会…10月10日実施
11月	庄ふれあい祭り、人権フェスタ庄	庄ふれあい祭…おでん出店 人権フェスタ庄…利用者もコーナー 担当で参加
12月	クリスマス会	各班で班外出、家族交流当を行う
1月	正月行事	各班で班外出、家族交流当を行う
2月	毘沙門天初寅大祭	週末在園利用者と参加（実践発表の日と重なる）
3月	ツデーマーチ	庄ふれあいウォークへ参加

## 共同生活援助事業所クムレ

### 【事業実施概要】

今年度、地域とのかかわりを深めるために、公民館での講座の参加・あいさつ運動・地域での行事や運動会・四つ葉広場等に積極的に参加を行ない、顔見知りの人を少しずつ増やすことが出来た。GH主催の地域交流イベントには、多くの方に参加して頂いた。来年度は、今年度のつながりを活かし、災害時や緊急時に共助しあえる仕組みを地域の方と一緒に作っていききたい。

利用者支援のマニュアルについて、見直しの必要性を強く感じた。利用者自身ができることを世話人がしてしまっており、利用者が学習する機会を失っていることが多々ある。

来年度は、アセスメントしっかりと行い、利用者が自立できる支援の見直しを行なっていききたい。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	・利用者が地域で役割をもった活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献に繋がる活動を情報収集する。(毎月)</li> <li>・利用者にボランティア活動や栗の家等の情報提供を行う。(毎月)</li> <li>・庄中学校区人権学習推進委員会と連携して教育機関への出前講座や当事者との交流(年1回)</li> <li>・地域清掃や地域の行事に参加。(継続)</li> <li>・活動内容をホームページの記事に更新する。(月1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施。公民館や民生委員等からの情報収集を行う。</li> <li>・利用者に合うものがなく、未実施。</li> <li>・未実施。</li> <li>・地区の定期清掃や自治会、庄地区運動会に地区の一員として参加。</li> <li>・毎月実施。</li> </ul>
2	80・50・25・5問題を意識した本人と家族を含めた課題に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の説明(4月) GH 通信紙か家族会(家庭訪問)にて実施。</li> <li>・家族への家庭訪問(10月)や日常的なやり取りの中で困り感を把握する。</li> <li>・家族の困り感に応じて情報提供や、関係機関への情報の共有を実施す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に実施済み。</li> <li>・10月に実施済み。</li> <li>・各ケースに応じて実施している。</li> </ul>

		<p>る。(課題発生時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ケースは記録として入力、フェイスシートに反映。(対応発生時)</li> <li>・ケースに応じて東倉敷エリア事例検討会に挙げる。(課題発生時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済み。</li> <li>・課題が見られなかったため、未実施。</li> </ul>
3	<p>地域住民の個別ケースを、相談機関へ繋いでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長、民生委員、地域組織等との交流。(継続)</li> <li>・交流している社会資源に対して相談系のパンフレットを配布する。</li> <li>・ケースに応じて東倉敷エリア事例検討会に挙げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長→自治会や運動会等、民生委員→四葉ひろばで交流を行っている。</li> <li>・四つ葉ひろば、地域交流イベント(花火大会・もちつき)で配布している。</li> <li>・相談される案件がなく、未実施。</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	週3日の定時退社デー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で一日の予定を確認し、勤務時間内で業務が終了できるよう、仕事量の調整を行う。(毎日)</li> <li>・業務時間の分析。(12月)</li> <li>・仕事の細分化と役割分担を実施する。(1月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼での確認を実施し、提示で帰れるよう、業務を調整できている。</li> <li>・未実施。</li> <li>・未実施。</li> </ul>
2	地域住民から世話人1名採用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への募集要項配布、呼びかけ。(地域交流時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを作成し、新聞折込を実施。上東地区より9月から1名採用。</li> </ul>
3	合同世話人会議の実施	<p>クムレの理念の周知と、世話人同士の情報交換。</p> <p>(年1回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に予定していたが、世話人の都合が合わず見実施。</li> </ul>



【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ホームごとの災害避難計画の策定と、それに基づく訓練の実施。	・BCPをベースとしたホームを取り巻く環境を検証し災害リスクを抽出し、個別の防災訓練マニュアルを作成。 (10月) 訓練の実施。(3月)	・実施。マニュアルを作成している。利用者を主体とした避難訓練を実施している。
2	がん検診・特定健診・歯科検診の実施(全利用者)	・健康管理マニュアルに沿って実施を行う。(10月～3月末までに)	・計画通り実施できている。
3	防犯体制の強化	・不審者対応講習の実施 (年1回)	・未実施。

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	・利用者が自主的に活動し、自立に向けた取り組みや困り感を解決している。	・自治会の実施 けやきホーム(毎月) ・利用者主体の会議へ移行 けやきホーム(3月末) ・自立に向けた勉強会を実施 けやきホーム(毎月) ・他ホームで自治会の立ち上げ(10月～) ・居住支援法人としての利用者の一人暮らしに対応する住宅情報の収集。 ・アセスメントシート(生活)の見直し(6月)	・毎月実施。主に困り感に対してみんなでルールを設定している。 ・利用者が司会を行い、主体性を持って行ってもらっている。 ・栗坂ホームにて自治会を発足したが、一度のみで終わってしまっている。 ・サイト等で情報を収集している。 ・実施済み。
2	重度障害者の地域移行を促進する体制整備	・既存の物件を重度対応型GHに移行することを検討する。 ・あしたば・コトノハとの支援観の統一(ライフサポート	・検討を行っている。  ・毎月実施。

		<p>会議時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き部屋の体験利用、緊急受入</li> <li>・強度行動障害研修の参加(2名)</li> <li>・地域移行委員会を主体とした地域移行に必要な体制作り(毎月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験利用(かえで・さくら)実施。緊急受け入れ(さくら)実施。</li> <li>・2名受講済み。</li> <li>・毎月実施。</li> </ul>
3	<p>家庭との信頼関係の構築、家庭訪問で得た情報を本人支援に生かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問用の書式を作成(8月)</li> <li>・家庭訪問実施(10月)</li> <li>・アセスメント情報等へのフィードバック(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成できている。</li> <li>・実施。家庭訪問できない方に対しては、ホームにて面談を行っている。</li> <li>・実施済み。</li> </ul>
4	<p>利用者満足度調査の実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全利用者に配布 10月</li> <li>・回収 11月</li> <li>・フィードバック 12月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済み。</li> <li>・実施済み。</li> <li>・職員会議にて結果を周知。出てきた課題に対して、対応している。</li> </ul>
5	<p>世話人業務マニュアルの見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世話人の役割や支援の目的を明記する。(5月)</li> </ul> <p>※発達支援のガイドラインを活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未実施。</li> </ul>

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>あいさつ運動や、登下校時の見守りを定期的実施する。</p>	<p>週に一度、利用者と共に交差点に立ち安全を見守る。(庄パトロール)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日、木曜日の週2回実施できている。</li> </ul>
2	<p>中間的就労の場として受入れ体制の整備(拠点全体で3名)</p>	<p>関連する業務マニュアルの見直し・整備。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月に実施済み。</li> </ul>
3	<p>いきいきポイントを通じた地域の人々の活力の発掘</p>	<p>いきいきポイント3名登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1名の登録のみ。未達成。</li> </ul>

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	さくらホームの自動火災 報知機設置。	平成 30 年度中に設置。	検討するも、さくらの建築図 面がないため、設置できず。
2	けやきホームの壁の設置 (防犯・プライベートの観 点より)	平成 30 年度中に設置。	予算での許可が下りず設置で きず。
3	公用車代替 (過走行による安全面へ の配慮)	新規申請・他事業所からの 引継ぎ。	許可が下りず実施できず。

【利用者数・職員配置】

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	814	806	827	860	827	847	821	784	854	840	776	852	852	-	9,908	-
計画	856	870	883	893	876	864	896	859	864	871	791	886	886	-34	10,409	-501
H29年度実績	648	631	621	688	698	705	732	734	722	791	739	823	823	29	8,532	1,376
H28年度実績	658	690	691	710	698	640	675	655	679	689	610	672	672	180	8,067	1,841
H27年度実績	664	666	660	684	654	636	669	624	626	621	639	684	684	168	7,827	2,081
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	31	-	365	-
請求利用者数	814	806	827	860	827	847	821	784	854	840	776	852	852	-	825.7	-
利用率	90.4%	86.7%	91.9%	92.5%	88.9%	94.1%	88.3%	87.1%	91.8%	90.3%	92.4%	91.6%	91.6%	-	90.5%	-
H29年度実績	90.0%	84.8%	86.3%	76.5%	75.1%	78.3%	78.7%	81.6%	77.6%	85.1%	88.0%	88.5%	88.5%	3.1%	82.5%	8.0%
H28年度実績	91.4%	92.7%	96.0%	95.4%	93.8%	88.9%	90.7%	91.0%	91.3%	92.6%	90.8%	90.3%	90.3%	1.3%	92.1%	-1.6%
H27年度実績	92.2%	89.5%	91.7%	91.9%	87.9%	88.3%	89.9%	86.7%	84.1%	83.5%	91.8%	91.9%	91.9%	-0.3%	89.1%	1.4%

IV 職員配置

職種	基準	実員	換算	過不足	備考
管理者	1	1	1		兼務(生活支援員)
サービス管理責任者	1		1		専従
生活支援員	2.1	2.5	2.5	0.4	専従(福祉専門職配置等加算)
世話人	4.7	5.3	5.3	0.6	

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	世話人会議（事業計画 周知）	実施済み。
5月		
6月	世話人会議（知的障がい・統合失調症について）	実施済み。
7月	岡山県GH世話人研修	実施済み。
8月	世話人会議（自閉症・発達障がいについて）	実施済み。
9月		
10月	世話人会議（防犯について）	実施済み。
11月		
12月	世話人会議（感染症について）	実施済み。
1月		
2月	世話人会議（虐待防止について）	実施済み。
3月	合同世話人会議	実施済み。

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	花見	実施済み。
5月	BBQ 庄地区ふれあいウォーク	実施済み。
6月	障がい者スポーツ大会	実施済み。
7月	岡山県グループホーム入居者交流会、倉敷拠点事業説明会	実施済み。
8月	クラシスカフェ・花火大会（クラシスとの合同企画）	実施済み。
9月	お疲れ様会	実施済み。
10月	庄地区大運動会 山地秋祭り	実施済み。
11月	人権フェスタ庄、公民館文化祭、庄地区秋祭り	実施済み。
12月		
1月	新年会	実施済み。
2月	地域交流会	実施済み。
3月	ツデーマーチ、庄地区ふれあいウォーク	雨の為、中止。

## 多機能型事業所コトノハ（生活介護）

### 【事業実施概要】

今年度、多機能型事業所コトノハとしてチームプレイでの組織体制を目指して、各事業や職員が同じ方向性で課題解決が行えるよう、多機能ミーティングなどを開催し運営に努めた。しかし、事業形態及び運営時間、支援サービスが異なるために互いの事業の理解や情報共有、職員の意識統一が十分図れない状態が続いた。

第三者評価の受審とその結果を受けて、生活介護だけでなく多機能としての課題と対策を具体化して、来年度の事業計画に反映させ、より良いサービス提供を各事業所が運営に取り組む。

その上で、次年度は、多機能ミーティングに加え職員会議及び研修や行事を全職員で参加し、顔の見える関係と多機能としての目的を明確し意識の統一を図る。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者主体（本人のやりたいこと、出来ること、強みを伸ばすなど）の個別支援計画を立案し、支援を実施する	① 個別支援計画の立案（4、10月） スケジュールを作成 ② アセスメントの実施（3、9月）課題分析し、家族支援を含む根拠を個別支援計画やプランに反映する ③ 担当者会議で情報の共有（外部1回/年、法人内ライフサポート支援会議開催1回/月） ④ 当年度の事業計画の説明、中期の進捗報告（9～10月）	①②計画通りに実施 スケジュールを決めることでサビ管と担当者の打合せが有効的であった。 支援計画は、自己決定を必須で立案され四半期援助計画、拘束是正も実施 ③主に医療との連携での事例検討、支援体制、職員の勉強会（糖尿病）を実施 事業説明 3/21～3/23 実施 ④ P P と資料で説明実施 進捗 9月、新年度 3月
2	家族と共に利用者本人の生活を支える体制づくり	① 家族会への参加と勉強会等の実施（家族会年間計画） ② わきあいあい合同家族会の実施 ③ 行事等に家族も参加し、活動の	① ほぼ年間計画通りに実施 ② 案内したが参加者なし次年度通所事業所合同家族会を要検討 ③ 行事開催日は、毎月約 20

		<p>様子を共有。参観週間を設定（毎月）。</p> <p>④家庭訪問、面談（年2回）</p> <p>⑤サポートブックの活用（6月：成人期用フォーマットの作成、7月～記載開始）</p> <p>⑥地域移行会議への参加（あしたば・共同生活事業所クムレ・コトノハ）</p>	<p>世帯の家族の参加</p> <p>④9、3月面談全利用者実施</p> <p>⑤勉強会 7/23、ライフサポートが完成。9月より家族への勉強会、記載を実施</p> <p>⑥毎月実施。地域移行準備段階として支援に反映。家族への情報発信を実施</p>
3	ひろば栗の家などの社会資源を活用した地域交流への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろば栗の家のプログラム参加</li> <li>・女子会の開催</li> <li>・外食等を通し、目的をもって利用者の地域参加の機会と地域の方等との交流を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤提灯への参加</li> <li>・女子会 5/10、6/14、8/9</li> <li>11/8に作品作り。広報にて情報発信を実施。</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給取得の推進（3日/年間）</li> <li>・業務改善の提案制度（2ヶ月に1回）</li> <li>・サークル活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員3日以上取得</li> <li>・書類、記録方法の改善</li> <li>・休憩時間の確保</li> <li>・サークル活動実施 年間3回</li> </ul>
2	環境整備、環境美化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外清掃(1回/月 10日前後)</li> <li>・事業所内点検(1回/月 20日前後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者を決めて、事業所内点検、環境整備を計画通り実施（栗坂地区環境整備）。次年度は点検表を作成。</li> </ul>
3	業務の見える化 (多機能型事業の業務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能型として機能できるように、同一敷地内事業の業務、職員配置の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能ミーティングを実施（月1回）し、情報共有を行った。現場職員への意識統一には至っていない。</li> </ul>

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	倉敷拠点合同防災訓練 (炊き出し、勉強会開催)	・日本赤十字社による指導 (9月)	・9/22 地域の方の参加あり、次年度も継続実施
2	防災訓練(火災、地震、台風、川の氾濫を想定) 不審者対応	・1回/月実施、消火器模擬訓練 ・消防署員による指導(1回/年) 水消火器訓練 ・警察署員による模擬訓練 (1回/年(10月))	・計画通り実施(家族にも情報発信をする) 次年度継続実施 ・10月実施
3	BCPの策定、見直し 非常持ち出し袋の点検	・マニュアルの見直し周知 ・非常持ち出し、備蓄の点検 (9月)	BCP見直しを実施 次年度研修を実施予定 非常持ち出し袋の点検実施5月

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	自立、尊厳、ハビリを重視した個別支援サービスの提供	・原案の作成(7月) ・個別支援計画の進捗管理 班会議で確認(毎月) ・個別支援計画の評価(9、3月) ・家庭訪問・面談の実施(9、3月) ・医療機関連携(通院、リハビリ)	・原案8、2月作成 ・全て計画通り実施 ・医療との連携はケア会議に参加 ・家庭訪問・面談実施 ・ケア会議にてDr, Ns. ソーシャルワーカーなど専門職が参加
2	権利擁護の取り組み	・研修(H30年3/31) ・各班で行動指針を示し取り組む (毎月)	・研修実施し全職員参加 ・研修受講者の報告 ・毎月各班に掲示し実施
3	利用者満足度アンケートの実施とフィードバック	・アンケート実施(10月) ・フィードバック(2~3月)	・アンケート作成9月、配布10月 職員・家族へ報告済

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施内容
1	ひろば栗の家を中心とした事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきポイント(44人登録/92時間の実績)</li> <li>・農業稲作を実施し育った野菜は家族へ配布</li> <li>・就労訓練の受け入れ(2名)</li> </ul>
2	クラコトフェスティバル開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/30 実施</li> <li>・地元住民を招待(送迎、チケット配布)</li> </ul>
3	事業所紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学・高校にて事業所紹介(未実施)</li> <li>・倉敷拠点事業所説明会 就職希望者対象(6/2) 支援学校関係者など対象 (9/29)予定</li> </ul>

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施内容 (いつ、どのような方法で)
1	栗坂敷地内 一方通行の標示	・6月 (倉敷学園、クラシス、コトノハ)
2	廊下手すり設置	・未定
3	照明、空調設備の改善	・終了
4	事業所の美化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワックスかけ(2~3月)</li> <li>・エアコン掃除は、次年度工事終了時に実施</li> </ul>

I 利用者動向																	
■生活介護 定員30名 (H28年度 定員40名)															単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異	
実績	693	698	690	717	692	622	730	691	707	714	636	713	713	-	8,303	-	
計画	700	750	700	750	750	700	750	690	710	710	630	710	710	3	8,550	-247	
H29年度実績	834	840	847	826	817	757	767	715	752	731	662	722	722	-9	9,270	-967	
H28年度実績	882	883	936	928	943	878	888	913	911	870	819	916	916	-203	10,767	-2,464	
H27年度実績	801	756	838	870	829	803	852	805	827	796	777	855	855	-142	9,809	-1,506	
開所日実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	-	269	-	
開所日計画	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0	
H29年度実績	23	24	24	24	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	274	-5	
H28年度実績	22	23	22	23	23	23	23	22	23	23	20	23	23	0	270	-1	
請求利用者数	52	52	51	51	50	51	51	51	51	52	52	52	52		51.3	-	
利用率	105.0%	101.2%	104.5%	103.9%	100.3%	94.2%	105.8%	104.7%	102.5%	103.5%	106.0%	103.3%	103.3%	-	102.9%	-	
H29年度実績	120.9%	116.7%	117.6%	114.7%	118.4%	114.7%	111.2%	108.3%	109.0%	105.9%	110.3%	104.6%	104.6%	-1.3%	112.7%	-9.8%	
H28年度実績	100.2%	96.0%	106.4%	100.9%	102.5%	95.4%	96.5%	103.8%	99.0%	94.6%	102.4%	99.6%	99.6%	3.8%	99.8%	3.1%	
H27年度実績	91.0%	82.2%	95.2%	94.6%	90.1%	91.3%	92.6%	91.5%	89.9%	86.5%	92.5%	92.9%	92.9%	10.4%	90.9%	12.1%	



## 【年間研修】

4月	・権利擁護、意思決定 (H293/31) ・多機能型コトノハとしての体制 ・コトノハ支援の形(支援の心構え) ⇒4月分予定通り終了
5月	・看護師勉強会①(手洗い、事業所内の清掃、消毒) ・介護技術の実践(移乗・移動など) ⇒5月分予定通り終了
6月	・効果的な支援と記録の取り方(ABC分析・応用行動分析)を学ぶ ⇒6月分予定通り終了
7月	・アセスメント、個別支援計画の作成の視点(日課の組み立てと実施) ⇒7月分予定通り終了
8月	・行動障害から学ぶチームプレイ→9月変更 ⇒8月分予定通り終了
9月	・災害から学ぶ、防災知識 ⇒9月分予定通り終了(講師:日赤)
10月	・栄養士勉強会(摂食、嚥下、食事介助)→家族会(10月分)にて終了
11月	・看護師勉強会②(感染症予防、汚物処理の手順)⇒11月分予定通り終了
12月	・支援の評価と振り返り ⇒12月分予定通り終了
1月	・リスクマネジメント勉強会 ⇒1月分予定通り終了
2月	・余暇支援の目的と種類 ⇒2月分予定通り終了
3月	・マニュアル、手順書について ⇒次年度に延期

※・制度について 講師：倉敷地域生活支援センター⇒未実施

## 【年間行事】

4月	・お花見(山田グリーンパーク)→桜を見ながら昼食摂取 実施 ・花の苗つけ⇒栗坂地域(公民館)に寄贈予定→アダプト活動に変更
5月	・芋の苗付け体験(やさい畑クムレへ就労体験)→数名の利用者が訪問実施
6月	・農業(田植え)体験→手植えでの参加実施 ・風船バレー大会→各チームを作り実施
7月	・音楽発表会→家族に参加して頂き、楽器や歌、手話にて実施
8月	・コトノハ夏まつり→家族に参加して頂き、ゲームや露店などで実施
9月	・クラコトフェスティバル→家族のバザーや飲食、ワークショップで参加 ・炊き出し体験(カレーライス)→実施
10月	・稲刈り→地域と職員とでほぼ終了 ・芋ほり体験(コトノハ)→5月に苗付けした芋を収穫に行く
11月	・日帰り旅行 →2コースに分かれて(笠岡、福山)実施
12月	・クリスマス会→家族に参加して頂き、歌やダンス、手話やプレゼント交換など実施

1月	・ どんど焼き→田んぼ横にて利用者参加 実施
2月	・ 節分会→家族に参加して頂き、実施
3月	・ 選択メニュー献立→倉敷学園管理栄養士の協力のもと、副食やデザート の選択をして摂取（写真やカードを使用して選択） ・ H31年度事業計画説明会→契約更新と事業計画説明会を実施（3日間）

## 放課後等デイサービスコトノハ

多機能型事業所コトノハの放課後等デイサービスは、一人ひとりの利用児（お子さん）の個性を大切にし、『将来的に“自立”した生活を送る』ことを目標に支援に取り組みます。

そのため、どんなに障がいが重くても、何事にも「チャレンジする姿勢」を持ち続け、利用児（お子さん）と関わり、利用児（お子さん）の“可能性”を引き出していきます。また、それら“可能性”を地域の方に披露できる場を、栗坂地域の中で見つけていきます。

また、利用児（お子さん）が、活力にあふれた毎日を過ごせる環境を保護者と学校の先生、また関係機関や地域の方等と協力して整備し、活用していきます。

### 【事業所年度方針】

1. 多機能型として、利用児（者）に対して、職員が的確なアセスメントを実施できる。
2. 全職員が将来的に“自立”した生活を目標に掲げ、利用児（者）の一人ひとりの個性を尊重し、利用児（者）の自発的な関わりの強化支援を実施する。
3. 全ての利用児（者）に対して就労を目的とした作業体験と経験の機会を提供する。
4. 切れ目のない支援の実現のために職員間の連携を意識し、報告・連絡・相談が常に行われる職場にする。
5. 新規の活動にも挑戦し、活動後に利用児（者）と職員に振り返りを実施することで、常に支援の質を高めることを意識した業務を実施する。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1 子 ど も の 豊 か な 発 達	①子どもの権利擁護 (利用者自身の自己選択、自己実現を目指す)	4月、9月、3月にアセスメントを行い支援計画立案、実行する。	前期・後記のアセスメントと個別支援計画書作成を行い。3月末に次年度の4月～9月までの個別支援計画書まで作成済み。
	②職業人、対人支援者としての人間力向上、広い視野を持ち、専門性を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階層別研修（法人年間計画参照）への参加</li> <li>・ 専門研修（倉敷拠点年間計画参照）への参加</li> <li>・ 倉敷拠点発達勉強会へ</li> </ul>	各階層別研修と専門研修への参加し、遊びの勉強会にも事業所として参加した。

支援		<p>の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びの勉強会への参加</li> <li>・ 倉敷学園の行事（栗の家：卒園児の会、兄弟児の会、SST）への参加</li> </ul>	
	<p>全職員が利用児（者）の評価を実施でき、支援の方向性を見立てることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 療育前後でケースカンファレンスを実施し、常に支援内容を確認する。</li> <li>・ 利用児の強化子（利用児にとっていい事）を見つけ、記録に残す。</li> </ul>	<p>昼礼・終礼でケースカンファレンスを行い、個別を記録に残している。また個別支援計画書作成に当たり児童発達管理責任者と会議の場で意見交換を尾紺っている。</p>
	<p>全職員が利用児（者）の自発的コミュニケーションを高める支援を実施できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PECS のフェイズⅠ～Ⅲまで実施できるよう、終礼で勉強会を開催する。（4月～5月）</li> <li>・ 終礼の時に療育で実施した支援内容についての振り返りと解決策を職員で話し合う。</li> </ul>	<p>昼礼や終礼の中で個別支援計画に記載されている PECS の内容を職員同士で練習し、支援後の終礼の時間の中で振り返りを行った。</p>
	<p>作業課題を提供し、作業に対する意欲の向上や生産までの流れをイメージした関わりを意識し、実施できる。</p>	<p>個別課題以外に生産性のある作業課題（クラフト等）を個人・集団で実施し、クラフト☆フェスティバルで販売し、就労について体験する</p>	<p>マッチング課題を提示し、職員間でも就労に向けた課題の検討を昼礼・終礼等で検討し、話し合った。また実際の個別支援の中で実施し、終礼で振り返りを行った。</p>
2 家族の子育て力の強化	<p>関係機関との連携、協働</p>	<p>利用児の所属機関（家庭・園、学校）訪問を行い、アセスメントと支援の立案を共同で行う。</p>	<p>病院や学校のケースカンファレンスに参加し、利用児の状態を話し合う機会を設けた。 学校のケース検討会に参加。訪問は未実施。2学期中に実施予定。</p>

3 生涯生活できる地域環境作り	① 地域社会への障害理解と啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月にクラ☆コトの案内を利用児へ配布する。</li> <li>クラ☆コトに就労活動で作成した作品をブースに出店する。</li> <li>8～9月に学生へ向けクラ☆コトのボランティアを募る。</li> </ul>	クラコトで出展した。作品展示は夏休みと冬休みに実施し、栗の家に展示し保護者や栗の家使用者に公開した。
--------------------	-----------------	--	--

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退社を意識し定時が来た時には職員に声掛けを行う。</li> <li>有休を3日/年取得する。</li> </ul>	定時退社を意識して実施した。10月より門の前に警報機がついたこともあり、より意識は高まった。実際は定時より1~2時間過ぎている。
2	業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務をマニュアル化し、書面に残す。新規職員に引き継げる形にし、職員全員が同じレベルで業務を行えるようにする(4月~6月)。</li> <li>サービス提供時間外での時間の使い方をルーティン化(見直し:4月)</li> </ul>	業務内容の一部をマニュアル作成し、手順に沿って行うようにした、実績の集計や利用日の確認などはダブルチェックを行いより精度が高まりミスが減少した。朝の業務をルーティン化することができた。午前中に準備が終了できるようになり、午後の運営もスムーズに行えるようになった。
3	仕事の見える化を図り、職員の業務負担の均一化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>多機能として機能できるように生活介護職員の業務の確認も行えるツールの作成。</li> </ul>	多機能としてミーティングを行うようになり、お互いの動きの見える化につながった。課題として、解決までの糸口が見つからない問題に対して全職員対象に周

			知するまでに時間がかかった。
--	--	--	----------------

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	毎月の避難訓練（火事・地震・川の氾濫・台風）を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回、避難訓練を実施し、避難方法や避難経路の確認を行う。（第3木曜日）</li> <li>倉敷合同防災（9月）</li> <li>不審者対応 10/18</li> <li>避難後の課題点についてはマニュアルに残す。</li> </ul>	コトノハ生活介護と同日に実施し、生活介護利用者と一緒に非難。長期休み期間中は利用児も含めた避難訓練を実施した。また地域と一体となって炊き出しにも参加した。
2	環境整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週月曜日の午前中に玩具と本をアルコール消毒し、乾かす。</li> <li>洗えるものはジアノック（300倍希薄）につけ置きする。</li> <li>コトノハ生活介護職員とコトノハ周囲の環境整備を実施する。</li> </ul>	毎朝、事業所の掃除を行い環境整備に意識して実施した。月に1度は部屋物品のの整理も実施した。
3	BCPの作成と見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPを作成し、年度末に見直しをする（1回/年）。</li> </ul>	BCP未整備。多機能ミーティングで話し合いを実施した。

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	保護者との懇談実施 (年2回以上)	個別支援計画作成月（5月、10月）に懇談の時間を設ける。	前期懇談終了。航生は10月～11月で実施予定。予定表配付中。

2	事業所で作成した作品公開	法人内・地域に向けて作品展示会等を実施し、公開の機会を設ける。	夏休みに作品展示（栗の家）を実施。冬休みも同様に実施予定。
3	年末に利用者満足度調査を実施する。	11月～12月にかけて利用者満足度調査を配布し、ホームページに結果を乗せる。	満足度調査準備終了。予定の時期に配付し集計を行っていく。

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施内容
1	栗の家に拠点を置いた地域交流の場の定着	・ 田植えに参加。今後稲刈りなどは前年度同様に、利用児も参加できる様に実施していく。
2	クムレいきいきポイント等を活用し、学生の受け入れとリクルートにつなげる。	いきいきポイントの活用あり、利用児の保護者と兄弟が参加。学生への周知と参加は未達成。冬休みのイベント等の告知で実施していく予定。
3	中間的就労の受け入れ	・ 中間就労の受け入れ準備のための仕事の選別とマニュアルの整備を後半実施。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	放課後等デイサービスのトイレに汚物処理槽設置	次年度必要か検討する。 (見積もり：¥183,600)	W/Cの利用児が増えてきたことも有、トイレの使用を再度検討中の為未整備。
2	松浦石油に預けているマイクロバスの使用と管理	4月より導入予定	導入済み。
3			

【年間研修】

障がい児関係・障がい者関係	
4月	4/2（月） ・ 拠点コンセプト・拠点事業計画について（専門研修 13:00～） ・ 倫理綱領・権利擁護・差別・虐待防止・プライバシー守秘義務（個人情報 報の取り扱い）の理解（専門研修 14:00～） ・ 感染症・疾病の理解（専門研修 16:00～） 4/6（金）安全運転について（専門研修） 4/7・14・18 クムレの支援における3大基本柱（専門研修） 4/28・30 保育指針について
5月	5/12（土）アセスメントから支援計画、アウトカム（専門研修 16:00～） 事例検討会（17:00～）
6月	6/9（土）保護者対応・相談支援（専門研修 16:00～） 事例検討会（17:00～）
7月	7/7（土）ガイドライン・業務マニュアル説明（担当：坂田 16:00～） 事例検討会（17:00～）
8月	
9月	9/1（土）合理的配慮の理解（担当：高下 16:00～） 事例検討会（担当：妹山 17:00～）
10月	
11月	11/10（土）ガイドライン（担当：安統括 16:00～） 事例検討会（17:00～）
12月	12/1（土）家族支援（担当：森宗 16:00～） 事例検討会（17:00～）
1月	
2月	2/2（土）振り返り（担当：安統括 16:00～） 事例検討会（17:00～）
3月	

事例検討会については、妹山発信の遊びの勉強会（上記日程の17:00～18:00、45分の超勤対応）にて実施予定。



【年間行事】

	利用児	事業所内・地域活動	保護者
4月	学校訪問（本人の情報共有シート：倉敷市）		ペアトレ（4月～7月） 家庭訪問・学校訪問（本人の情報共有シート：倉敷市）
5月		田植え	
6月		事業所説明会	
7月	夏休み中、いきいきポイント活用	事業所説明会	
8月	の場を設定 （工作教室：きらりと共同）	夏祭り（あしたば）	
9月	クラコト☆フェスティバル（9/30）		ペアトレ（10月～12月） 家庭訪問・学校訪問（本人の情報共有シート：倉敷市）
10月	学校訪問（本人の情報共有シート：倉敷市）、A・B グラ		
11月	ンプリ出店、稲刈り		
12月	書道教室（きらり共同）	お飾り作り	
1月	とんど焼き		
2月			
3月	法人全体避難訓練	実践発表	

【利用者数・職員配置】

	放課後等デイサービス
利用者定員	10名
利用者延数	2900名
一日平均利用者数	10名
利用率（%）	100%
開所日数	290日

職員数 （常勤 換算）		管理者 （兼務）	児童発達支援管理 責任者 （発達支援管理責任 者専任加算）	指導員・保育士 （福祉専門職配置 等加算）	機能訓練担 当職員他	計
	配置基準	1	1	2		4
	正規職員	1	1	3		3
	パート・アルバイト			3		3
	計	1	1	6		6

## 生活介護事業所 わきあいあい

### 【事業実施概要】

事業を開所して2年目。地域との関係性をより強固なものにするために地域住民と一緒に活動することを目指し、座談会や公民館を借りての活動を行った。また、庄新町の夏祭りでは地域住民と一緒に「焼きそば研究会」に所属し関わることで座談会や事業所のイベントにボランティアとして参加して下さる等、関わりが増えている。

一方、利用者の生活面や家族の不信感から利用契約終了等実績の減少が見られている。職員育成にも引き続き力を入れ、利用実績を上げていく。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>本人支援</p> <p>①その人らしい生き方の支援（自立、尊厳、ハビリテーションの視点）</p> <p>②アート活動の充実</p>	<p>①地域移行を意識したアセスメントに基づく個別支援計画の実施。事業所内ケース会議（毎月職員会議時）</p> <p>・ライフサポート会議（毎月1回）、相談員を含む担当者会議の実施。</p> <p>②芸術科学大学とのコラボ創作活動の実施（今年度1回）</p> <p>・第2回わきあいあいオープンスタジオに開催（5月に開催）</p> <p>・ワークショップの実施。（10月：秋、12月：クリスマス、2月：節分会）</p>	<p>①利用者の強みを活かした個別支援計画書の作成のための勉強会を実施。 (/)</p> <p>・事業所内ケース会議の場は設けることが出来なかったが、職員会議の中で利用者支援について毎月検討を行う。</p> <p>・ライフサポート会議に参加しているが、毎月の参加は難しかった。</p> <p>②倉敷芸術科学大学の先生と一緒に創作活動の機会あり。（6月、2月）</p> <p>・オープンスタジオは年2回実施。（5月・2月）</p>

<p>2</p>	<p>家族と支える利用者の暮らし</p> <p>①家族と共通の目標に向けての取り組み実施</p> <p>②あしたば、コトノハ併用事業所の家族会に参加。</p> <p>③家族が参加できる行事場面の設定(年2回)</p>	<p>・延長支援を行い、家族の就労支援も行う。</p> <p>①家庭生活の困りごとや、計画に盛り込み、ともに取り組み評する。 (3月9月、個別支援計画更新時に面談または家庭訪問実施。)</p> <p>②家族同士の関係を構築する。</p> <p>③年間行事計画に家族、利用者ともに参加できる行事を設定する。 (5月オープンスタジオ8月町内盆踊り大会焼きそば屋台、11月文化祭を地域の方と共同で参加)</p>	<p>延長支援時には利用者とオセロやテレビや音楽、新しい余暇グッズの作成等を行っている。</p> <p>①可能な限り、家庭での様子を見させていただき(家庭訪問)、本人の能力等を抽出し、個別支援計画に盛り込んでいる。</p> <p>②家族同士の交流のために家族会のお知らせは配布しているが、併用利用者の家族のみ参加することが多い。</p> <p>③バス旅行(9/14)のみ参加しているが、それ以外の行事場面は見つけることが出来ていない。</p>
<p>3</p>	<p>地域支援</p> <p>①利用者家族も含めた地域住民が活躍できる場の提供(いきいきポイント利用者5名)</p> <p>・地域の方が集える居場所作り</p>	<p>・いきいきポイント登録者(5名以上)</p> <p>・昼食時の配膳、洗い物、町内パトロール等に参加。 (毎月開催の和気藹藹座談会参加メンバーから声をかける。)</p> <p>・延長利用時等夕方の時間に事業所を開放し、地域の方が集まる場所の提供。</p>	<p>・登録者は3名のみ。地域との活動が増えているため、焼きそば研究会の方や座談会、イベントのボランティアの方に登録者になっていただくようアプローチする。</p> <p>・事業所を開放しているが、夕方の時間よりもイベントや公民館に集まることが多い。</p>

## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者、家族、地域の人々とわくわくできる職場づくり	町内会行事への積極的な参加。利用者家族にも案内し地域の方とともに活動する。(盆踊り、文化祭、昔遊び、餅つき等)	町内会行事の夏祭りでは地域の方と一緒に焼きそばを焼いた。文化祭や餅つきの際にも「焼きそば研究会」として地域の方と一緒に焼きそばを作る。
2	何でも話せる風通しの良い職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶と報告連絡相談の徹底。気付きや意見を出しやすい環境づくり。(毎日の朝礼、終礼の開催)</li> <li>・有給取得の推進(5日/年取得)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告、連絡、相談が上手く伝わらないことが多かった。朝礼、終礼のマニュアルを作成し、気付きや検討事項を伝達しやすい環境を作っているが、改善までは至らなかった。</li> <li>・有給取得は職員一人を除いて5日以上取得出来ている。</li> </ul>
3	やりがいや充実感を感じながら働き、個人の時間を持てる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の省力化、業務内容の点検を行う。マニュアルの見直し、点検を行う。(7、12月)</li> <li>・定時退社の実施(週3日は定時退社する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中の様子を書くのみになっていたため、支援のための記録(個別支援計画の進捗状況のみの記載)にした所、省力化を図ることが出来る。マニュアルの見直しは12月、業務改善、見直しは3月に実施。</li> <li>・定時退社の実施は出来る職員もいれば出来ない職員もいた。</li> </ul>

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	・クムレ版わきあいあいBCPの作成と運	・策定したBCPを運用し、見直しをする。	・BCPの作成時期が遅れた(10月に昨年度を参考に

	用  ・庄新町公民館までのスムーズな避難訓練の実施	(7月・12月)  ・日課の中に公民館でのラジオ体操を組み込み、避難移動訓練の実施。 (晴れた日、毎日)	見直した) ことで見直しは1月の1回のみだった。 ・事業所の避難訓練は10、12月の2回実施。法人全体の避難訓練：9月、3月。
2	不審者対応	警察署員による模擬訓練。	事業所での模擬訓練は未実施。庄駐在所の警察官による不審者対応の方法を公民館の庄新町町内会で話している内容を聴いたのみ。
3	利用者、家族、職員の健康を守る。持ち込まない、持ち出さない感染予防	・個人に適した、手洗い、うがい、水分補給の実施。 ・感染予防研修の実施 (5月・11月)	手洗いチェッカーを使用し、座談会でも手洗い出来ているかの確認を実施。(5月)、感染症：ノロウイルス(嘔吐物の処理方法)1月に職員と看護師で模擬実践を実施。

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークショップ、行事を利用者主体で決定する。	バス旅行の行き先(6月選定)、カード、絵、写真で選択する。	旅行の行き先を写真で示すものの、経験の少ないものが多く、選択までに至らないため、昼食時に食べたいものから行き先の方向を決めている。
2	利用満足度調査の実施、集計、フィードバックし、次年度の事業計画へ反映する。	事業所から全利用者へ配布：10月、回収：11月、フィードバック：12月 結果や意見は家族会、ホームページや事業所便り等にて公表。(行事、イベン	全利用者を対象に配布し実施。回収後、12月の職員会議でフィードバックを実施。 ・魅力のある事業所として活動やイベントをお便りにて発信しているが、必要

		ト、わくわくできるもの を) 魅力発信する。	な情報や契約内容等の提 示が無かったとの意見が 多かった。お便りでは伝わ りにくいものについては 直接または電話連絡等で 伝達していく。
3	サービスの質の向上 をめざし、苦情解決の 仕組みの見える化と、 苦情等に対しての原 因究明と再発防止策 の立案・実施、意見や 要望等も含めた情報 共有（水平展開）	①契約時に苦情解決受付、 解決責任者を周知 重要 事項説明書への明記（理解 を得やすい資料別添）、苦 情申し立てシートの配布、 受付ポスターの掲示と説 明。 ②意見・苦情等を受けた時 点で、個人情報やプライバ シーに配慮しグループウ ェアや拠点会議にて水平 展開する	①上記同様、明記はしてい るものの、説明はなかった ため、電話連絡し、伝えて おり、面談の際に遅くはな ったものの、内容の伝達を している。（9月  ②併用利用者等での課題 や問題については、すぐに 同カテゴリーや併用利用 先に連絡し、情報共有を行 っている。

【地域貢献】

番 号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	地域住民と一体にな った活動推進 地域の人々の活力の 推進	①毎月開催している和気 藹藹座談会にて町内会、民 生委員、駐在所、地域住民 と地域の困りごと等につ いて検討する。 見守りマップ更新 ②ワークショップやイベ ント時にボランティアと して参加していただく。駐 車場スペースの畑作りへ の参加も呼び掛ける。	①2か月に一度開催し、地 域の方が勉強したいこと 等を聴きとりし、行ってい る。  ②焼きそば研究会に所属 し、地域の方と焼きそばを 作ることでイベント時や 座談会に来て下さる地域 の方が増えている。地域 の方とともに花や野菜作り も行っていく。

2	地域住民（子ども）の居場所作り	夕方の時間を使い、夏休み、親が働いている間に勉強、工作、美術等を和気あいあいメンバー、地域住民と行う。	夕方の時間の有効活用は出来ていないが、夏休みに自由研究として子どもを対象にしたイベントを行った。また、下半期には昔遊びとして高齢者に昔の遊びを教えていただき、子ども達と遊ぶ機会を設けた。
3	社会的に孤立している人々を働く場として受け入れる（中間的就労）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労訓練の受け入れ（目標：拠点年間3名以上）</li> <li>・農作業に参加。</li> </ul>	事業所での受け入れはないが、拠点においては3名以上の受け入れをしている。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	床面、畳の点検、補強	1階床面の点検を行う。整備必要箇所の整備を行う。	床面のくぼみがあるため、都度補強を行う。畳の貼り換えの必要があるが、安全面や火災時の火勢を防止する目的でカーペットを敷いている。
2	玄関スロープ		車椅子の方の移動を考慮し、玄関スロープを検討、見積もりを依頼の予約を取ったのみ。進展なし。

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																										単位: 人	
■生活介護 定員20名																											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異											
実績	359	378	357	366	356	343	352	337	330	335	236	329	329	-	4,078	-											
計画	360	370	380	390	390	400	410	335	315	380	390	400	400	-71	4,520	-442											
昨年度実績	153	178	190	188	194	255	309	307	315	303	300	353	353	-24	3,045	1,033											
開所日実績	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	19	23	23	-	279	-											
開所日計画	25	24	25	25	24	23	24	23	23	23	21	24	24	-1	284	-5											
昨年度実績	21	23	22	23	23	22	24	23	24	24	22	26	26	-3	277	2											
請求利用者数	23	23	23	23	22	22	21	21	20	21	20	20	20	-	21.6	-											
利用率	74.8%	78.8%	74.4%	76.3%	74.2%	71.5%	73.3%	73.3%	71.7%	72.8%	62.1%	71.5%	71.5%	-	72.9%	-											
H29年度利用率	36.4%	38.7%	43.2%	40.9%	42.2%	58.0%	64.4%	66.7%	65.6%	63.1%	68.2%	67.9%	67.9%	3.6%	54.6%	18.3%											

  

II 概算収入		IV 職員配置					
請求額		職種	基準	実員	換算	過不足	備考
生活介護	5,448,240	管理者	1	1	1	0	兼務
※人員配置体制加算 I (2) 対応単価		サービス管理責任者	1				
		支援員: 福祉専門職		2			福祉専門職配置等加算
		看護師	9	1	7.1	0	
		作業療法士		0			
		管理栄養士		0			
		栄養士		0			
		支援員: その他		6			
		看護師		0			常勤看護職員等配置加算
		医師	1	-	-	-	委託医

  

※人員に関する加算要件			
配置体制加算 I (2)		1.7:1	必要支援員 24.0名
配置体制加算 II (2)		2.0:1	必要支援員 20.0名
福祉専門職配置等加算			
常勤看護職員等配置加算			看護職員 1名以上(常勤換算)

【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	権利擁護、虐待防止	人権擁護、意思決定支援について研修受講。
5月	手洗い、清掃、消毒	手洗いチェッカーを使用した確認や手洗いで注意点について勉強会を実施。
6月	強度行動障害について	応用分析とABC行動分析についての勉強会実施。(樋口次長心得)
7月	マニュアル手順書	・連絡、報告、相談しやすいマニュアルの作成と実施。 ・身体拘束、虐待防止について勉強会実施。(上村次長心得)
8月	アセスメント、自己決定、個別支援計画立案	・サポートブック勉強会(小山田) ・「障がいのある人の個別支援計画」勉強会(楠戸)
9月	アート活動取り組み、事業計画振り返り	・福祉QC勉強会実施。 ・「自閉症」について勉強会(山田)



10月	リスクマネジメント	K Y T勉強会の実施。
11月	介護技術	血圧、ヒートショックについて勉強会（山下）
12月	感染症予防	感染性胃腸炎による嘔吐、下痢の対応や処理方法の勉強会
1月	B C Pについて	10月に見直しし、1月に再度作成。避難経路の見直しと改善案の周知を職員会議で実施。
2月	マニュアル、手順の見直し	見える化の必要なものやすぐに確認しやすいように工夫し、マニュアルの見直しを図った。
3月	業務改善	記録の省力化、活動の細分化等見直しと検討。

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	お花見	わきあいあい駐車場にて花見実施。
5月	わきあいあいオープンスタジオ	15名の方、来訪。
6月	玉ねぎ収穫（やさい畑）、倉敷拠点事業説明会（学校等対象）	座談会実施。
7月	七夕、倉敷拠点事業説明会（利用者対象）	ワークショップ（七夕）。事業所説明会ではシルクスクリーンの体験会を実施。
8月	庄新町盆踊り大会	焼きそば研究会に参加し、地域の方と一緒に焼きそばを販売。
9月	バス旅行（9/14）、クラコトフェスティバル参加	バス旅行（和気カルピス工場）、クラコトフェスティバル不参加。
10月	運動会、ワークショップ（秋）	あしたば運動会参加。
11月	庄新町文化祭 人権フェスタ	文化祭では焼きそば研究会の方と一緒に販売。
12月	クリスマス会（ワークショップ）	クリスマスカード作りを行い、季節の行事を楽しむ。
1月	書初め、昔遊び、餅つき	公民館を借りて地域の子どもから高齢者と一緒に昔遊びを実施。
2月	節分祭（ワークショップ）	豆まきをイメージしたレクリエーシ

		ョン活動を実施。
3月	お別れ会	契約終了の方がおられたので、みんなで過ごしてきた画像を動画で流し、誕生日が近いため、誕生日会を合わせて実施。

## クラシス

### 【事業実施概要】

平成30年度は報酬改定により、基本報酬の評価が平均工賃額に応じたものに移行したため、平均工賃の向上が避けて通れなくなった。

そのために、これまで10年間低工賃で続けてきたフルーツネットを廃止し基礎体力の維持・向上と他者との関わりが持てる清掃作業を再開した。また安定的な工賃を得ること、仕事の創出、利用者の生活費の削減、職員の休憩場所の提供を兼ねてカフェで食事提供を始めた。洗車事業ではこれまで職員が担っていた作業を利用者に割り振り出来る作業を増やし能力の向上を図った。ケーキ事業では新商品開発に取り組み贈答用の焼き菓子の品数を増やした。

これらを実践するために個別に就労アセスメントを行ない利用者の得意な作業を提供し得意なところ伸ばしながら働く意欲の創出にも取り組んだ。その結果、期の途中で新しい事業に取り組んでみたいという自発的な意見も聞かれ「働く」楽しさ、やりがいを感じとってもらえた利用者もいた。

他には、地域の民生委員が地元地域をより安全で安心できる地域にしたいとの思いから「四つ葉ひろば」という有志の会を作り、その活動場所としてクラシスを提供した。特に防災に関しては福祉・医療・保健・教育分野での協力関係を築くことができ、今後形にしていくベースが出来た年になった。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者の個性にあった仕事を提供する。	4月以降、新個別支援計画を、利用者・家族・関係者を含めて検討する。 利用基準を作成し、利用者に見合った仕事を提供する。	フルーツネットを廃止し、清掃・洗車・カフェ・ケーキ・事務補助の事業に再編し、就労アセスメントを実施し利用者の得意な作業を提供した。
2	仕事をする上で言葉遣い、態度、マナー、技	新個別支援計画作成後、職員が講師になり研修会やOJTを実施す	研修会は実施していないが、○

	術を身につける。	る。 新工賃規程を整備する。	J Tでその都度 利用者に教えて いった。
3	<p>平均工賃を前年比 10%の 月額 15,000 円にする。 必要最低利益 530 万円 利益見込み 547 万円</p> <p>①洗車 利益目標 100 万円 売上目標 165 万円 目標台数 1,100 台</p> <p>②カフェ 利益目標 205 万円 売上目標 410 万円 人時売上高 3,000 円</p> <p>③ケーキ 利益目標 200 万円 売上目標 400 万円</p> <p>④環境整備 利益目標 12 万円 売上目標 12 万円</p> <p>⑤内職 利益目標 30 万円 売上目標 30 万円</p>	<p>①洗車道具を見直し、利用者 1 人 で洗車を完結する。 ※1日 4 台×275 日 1 台あたり 1,500 円 ・高品質の洗車も継続し仕事を細 分化し内職から関われる利用者の 数を増やす。</p> <p>②厨房職員 1 名体制で出来るメニ ューを開発する。 ・栗の家でのイベントとカフェを セットにしたプログラムを開発す る。 ・倉敷学園やコトノハの厨房で仕 事ができるようにする。</p> <p>③パウンドケーキ以外の柱になる 商品をサンドリヨンとコラボした 商品の開発をする。 ・現在の農福連携を拡大して、新 商品を開発する。</p> <p>④法人内の事業所へ訪問し草抜き 以外の作業が出来るようにする。</p> <p>⑤単価の低いネットや箱作りは廃 止する方向で、他事業や農福連携 先で受け入れるために仕事を作 る。</p>	<p>①H30年度は 1日平均 2.24 台@¥2,922 円 利用者も 5 名体 制になった。</p> <p>②倉敷学園保護 者会を中心に単 独でのパーティ メニューの受注 がありメニュー 開発をした。</p> <p>③きびの国から シリーズに 2 種 類新商品開発。 法人内イベント の景品として提 供。</p> <p>④草取りや草刈 りに取り組み工 賃単価アップ。</p> <p>⑤内職を廃止し あしたば、コト ノハ食堂定期清 掃を受注した。</p>

## 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業所内が整理整頓され清潔に保たれている。	開所日は5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を朝礼で確認	事業担当者に異動があり不要備品等の廃棄が出来なかった。
2	適正な人員配置を行い、職員全員がどの事業でも運営できる。	年間を通して事業体験を実施する。	最低1もしくは2事業が出来るようにした。

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	BCPを完成させる。	H30年度内に交通安全防災委員会と合同で進める。	BCPの見直しにとどまった。
2	感染症を起こさない。	感染症予防の研修を実施する。	感染症は発生しなかったが研修は未実施。
3	利用者の事故を未然に防ぐ。	日々のヒヤリ・はつとを朝礼で周知し、危険箇所の洗い出しを行い、対策をすぐに実施する。	ヒヤリ・はつとはその都度メールで共有し昼食時や夕方に話し合い対策を実施した。

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	事業ごとのリスクの洗い出しと対応手順書を作成する。	4月に管理者が事業体験を実施し対応手順書(案)を作成し、事業責任者とサービス管理責任者で内容を確認し対応手順書を作成する。	未実施
2	利用者アンケートを行い、利用者の意向を把握し、改善に取り組む	4月に管理者が利用者アンケートを作成し、利用者面談時に配布し、5月中に回収し、6月以	10月にアンケートを実施し、とりまとめて利用者・保

		降改善案を立て、利用者と話し合いの場を持ち、改善に取り組む。	護者に配布した。意見は参考にし次年度取り組みに入れた。
3	利用者への分かりやすい工賃規定への見直し。	7月の利用者会で説明できるように修正する。	新工賃規程を作成し利用者に説明した。

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	雨天時も作業ができるように屋根付の洗車場を設置する。(きらり中庄送迎用カーポートと共用)	4月以降業者から見積り徴取り、5月末(梅雨時期)までに、カーポートを設置する。	4月にきらり中庄が送迎用としてカーポートを設置した。

【利用者数・職員配置】

■就労継続支援B型 定員20名														単位:人		
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	449	468	471	470	471	450	480	472	477	472	413	445	445	-	5,538	-
計画	462	483	462	483	483	462	483	450	480	480	420	480	480	-35	5,628	-90
H29年度実績	456	472	456	470	473	451	475	441	458	474	411	484	484	-39	5,521	17
H28年度実績	432	453	453	462	456	421	450	411	434	456	400	435	435	10	5,263	275
H27年度実績	498	497	487	511	503	471	502	456	480	452	434	451	451	-6	5,742	-204
開所日実績	22	23	23	22	23	22	23	22	23	23	20	23	23	-	269	-
開所日計画	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0
H29年度実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	0
H28年度実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	22	23	23	0	271	-2
請求利用者数	33	32	34	33	33	33	33	33	32	33	33	33	33		32.9	-
利用率	102.0%	101.7%	102.4%	106.8%	102.4%	102.3%	104.3%	107.3%	103.7%	102.6%	103.3%	96.7%	96.7%	-	103.0%	-
H29年度実績	103.6%	102.6%	103.6%	102.2%	102.8%	102.5%	103.3%	100.2%	99.6%	103.0%	102.8%	105.2%	105.2%	-8.5%	102.6%	0.3%
H28年度実績	98.2%	98.5%	103.0%	100.4%	99.1%	95.7%	97.8%	93.4%	94.3%	99.1%	90.9%	94.6%	94.6%	2.2%	97.1%	5.9%
H27年度実績	113.2%	108.0%	110.7%	111.1%	109.3%	107.0%	109.1%	103.6%	104.3%	98.3%	103.3%	98.0%	98.0%	-1.3%	106.3%	-3.4%

職種	基準	実員	換算	過不足	備考
管理者	1	1	1	0	兼務
サービス管理責任者	1	1	1	0	
職業指導員・生活支援員	3.5	7	4.1	0.6	

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	事業計画について	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	施設見学報告	
1月		
2月	権利擁護について	
3月	拠点・事業計画について	

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月		
5月	元気市出店・岡山マルシェ出店・アビ リンピック視察	イベントへの出店及び利用者の一般 就労に向けた技能大会の視察
6月		
7月		
8月	元気市出店・クラコトフェス出店	イベントへの出店
9月		
10月	伊賀祭出店	イベントへの出店
11月	元気市出店	イベントへの出店
12月		
1月		
2月		
3月	研修旅行	尾道にある同業態の事業所視察

## やさい畑クムレ

### 【事業実施概要】

年度当初は、生活介護事業を行う予定であったが、建物の改修、空き家探しなど進めるが、実施出来なかった。

利用者確保にも努め、利用者が5名増えている。売上げアップにも努め、昨年度よりも大幅アップ（約倍増）が出来ている。

利用者が増え、建物の手狭間はあるが、畑に行くグループ、中で作業をするグループと別れ、効率よく作業を行った。

中間的就労も1名定着出来ており、事業計画概ね達成することが出来ている。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何をどのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>①就労 B 平均工賃を 5,000 円/月以上。(年間売り上げ目標を 150 万円)</p> <p>②生活介護 生活介護の日課と就労の日課を用意する。就労も行う為、就労に必要なルール等を学び、社会性を養う。</p>	<p>①就労 B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季を通じて様々な野菜を栽培し、利用者の作業を確保していく。</li> <li>・乾燥野菜の製品化による収益増と B 級野菜の有効利用。</li> <li>・マニュアルに基づいた栽培管理を行っていき、さらに年間計画より早めの作付けを行っていく。</li> <li>・内職(総社カレー等)の継続をしていく。</li> <li>・施設外就労に取り組む。</li> </ul> <p>②働く事が出来る生活介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置認可取得 (6 月)</li> <li>・利用者の確保 (新規利用者を東総社地域のニーズを聞くことにより確保していく)</li> <li>・魅力ある内容を創り出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づき栽培を行った。利用者の作業も十分確保している。計画通り収穫できた野菜もあったが、トウモロコシ、ホウレンソウは、作付けまでは順調だったが、肥料、受粉で失敗している。</li> <li>・乾燥野菜は、切り干し大根のみ実施。ラベルもいいのが出来、次年度は増産予定。</li> <li>・内職は、災害影響でほぼ作業なし。</li> <li>・施設外就労は、クラシスが受け持つ。</li> <li>・生活介護は、事業所の改修、空き家を探す、最終的に実施に至らず。</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労の機会としては、農作業の流れを経験する。</li> </ul>	
2	<p>①家族参加日実施</p> <p>②イベントの参加 (総社市や山手地区など)</p>	<p>①4回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業や販売などを行う</li> <li>・いきいきポイント併用</li> </ul> <p>②総社市(福祉課、社協)と連携して行う</p> <p>6月：福祉施設説明会 12月：障がい者週間 3月：山手健康祭り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回実施(7月、11月、2月実施)事業計画の説明やサツマイモ収穫など行う。</li> </ul> <p>6月：20名程の方に説明。 12月：参加 3月：野菜の販売も実施</p>
3	<p>利用者の生活全般を支える体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさい畑クムレ内での就労継続支援B型職員と生活介護職員の連携</li> <li>・ライフサポート会議で得た情報を共有し法人内の利用者には共通した支援を行なう(チームプレイ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の職員会議で情報の共有、支援の方向性を話し合い、実践した。</li> <li>・他事業所のケースを元に支援の在り方を話し合い、実践し、チームプレイ出来るところは行った。</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何をどのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>業務標準マニュアル</p> <p>①就労継続支援B型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しているのを基にして確実に業務を行う</li> </ul> <p>②生活介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにマニュアルを1から作成していく</li> </ul>	<p>①就労継続支援B型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートを活用し業務の進捗を確認する。</li> <li>・見直しが必要なものは変えていく。</li> </ul> <p>②生活介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設の為、作成しながら半期に1度見直しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル作りの作成は、出来たものもあるが、出来ていないものが多い。</li> <li>・生活介護事業が廃案</li> </ul>
2	<p>ワークライフバランスについて</p> <p>①定時退社日を週2日に設定する</p>	<p>①定時退社日を盛り込んだ月間予定表の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退社は出来ていない。</li> </ul>

	②有給休暇取得率 50%以上（当該 年度付与分）	②全職員が有給休暇取得希 望を事前申請（月1日 は、有給使用していく）	・週休取得は、月1日は取 得することが出来ている。
3	やりがいや充実を 感じながら働ける 職場作り	・研修への参加、他事業所 への視察 ・定期的に環境を整える （毎日の掃除と整理整頓） *環境整備チェックリスト を活用	・自然栽培の研修、発達障害 の研修に参加したり、他事 業所へも見学に行ってい る。 ・毎日の掃除を行い、事業所 を清潔に保った。

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何をどのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	避難訓練を実施する	BCPに基づいて実施 ・火災訓練（年2回） ・地震非難（年1回）	・避難訓練（2回実施2分程 度で避難可能）。消防署職 員を招き、消火器訓練も実 施。
2	農機具での事故ゼ ロ	マニュアルによる農機具 のメンテナンス実施 農機具使用法勉強会を実 施(1回/月) 怪我をした際の救急法覚 え、全職員が対応出来る ようになる	・農機具での事故は、ゼロ。 農機具のメンテナンスも定 期的に行った。 ・怪我の際は、全職員簡単 な処置は可能である。
3	感染症予防の取組 み ①インフルエンザ ②ノロウイルス罹 患	①手洗い、うがいの実施 ②感染防止の環境整備 ・感染症予防研修を実施 （10月、2月）	・手洗いうがいの声掛け実施 し、畑作業後にはその都度 伝えてきた。

【利用者満足取り組み】

番号	達成目標 (何をどのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者主体の会を開催 (利用者が決定する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/月実施 (話し合いを行い、行事や役割を決めていく)</li> <li>・活動内容はホームページやWaWaで配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見を聞く機会として2か月に1回実施。 花見の場所、旅行の行き先など話し合いを行う。</li> </ul>
2	利用者満足度調査の実施、集計、フィードバックし、次年度の事業計画へ反映する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者(家族)アンケートの支援への反映</li> <li>・アンケート結果の職員会議での共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施し結果としては、建物の耐震性を多くの家族が心配している。</li> </ul>
3	第三者評価受審の結果、指摘事項の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘事項改善計画に基づいて取り組み内容を公表していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の補強は未実施。 工賃査定に関しても未実施。</li> </ul>

【地域貢献】

番号	達成目標 (何をどのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	中間的就労の場として、引きこもりなどの問題を抱えた方へ就労の場を提供(拠点全体で3名)	総社市社協及びクムレ地域公益活動推進センターと連携していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総社市から1名受け入れ、訓練期間を得て、雇用結びつくことが出来た。</li> </ul>
2	農作業体験を地域の方や学生等に提供する	クムレいきいきポイントを活用して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業の手伝い、電灯の取り付けなどで多くの方が来られた。</li> </ul>
3	集いの場(旬の野菜を使用した炊き出しなどを行う)開催	旬の野菜を使用して地域住民を集う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の町内会には参加してきたが、やさい畑独自の炊き出しは未実施。</li> </ul>

【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	生活介護申請に向けた改修 ・ 2階を使用可にする ・ 入り口を2ヶ所 ・ 部屋に壁を設置 ・ 床の補強（畳から板場に）	・ 4月工事内容決定 ・ 5月工事開始	・ 未実施
2	駐車場の確保	①新規契約 ②農地を利用して	8月に確保
3			

【利用者数・職員配置】

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	348	355	358	380	370	323	385	360	359	356	309	373	373	-	4,276	-
計画	320	320	440	460	370	350	370	350	370	370	320	370	370	3	4,410	-134
H29年度実績	275	267	313	306	323	313	321	307	327	317	297	342	342	31	3,708	568
H28年度実績	274	269	279	278	261	256	249	248	239	248	239	262	262	111	3,102	1,174
H27年度実績	221	228	239	243	209	204	211	195	192	196	213	253	253	120	2,604	1,672
開所日実績	22	23	22	23	23	20	23	22	23	23	20	23	23	-	267	-
開所日計画	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	-2
H29年度実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	-2
H28年度実績	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	23	0	269	-2
利用率	79.1%	77.2%	81.4%	82.6%	80.4%	80.8%	83.7%	81.8%	78.0%	77.4%	77.3%	81.1%	81.1%	-	80.1%	-
H29年度実績	62.5%	58.0%	71.1%	66.5%	70.2%	71.1%	69.8%	69.8%	71.1%	68.9%	74.3%	74.3%	74.3%	6.7%	69.0%	11.1%
H28年度利用率	62.3%	58.5%	63.4%	60.4%	56.7%	58.2%	54.1%	56.4%	52.0%	53.9%	59.8%	57.0%	57.0%	24.1%	57.7%	22.3%
H27年度利用率	50.2%	49.6%	54.3%	52.8%	45.4%	46.4%	45.9%	44.3%	41.7%	42.6%	53.3%	63.3%	63.3%	17.8%	49.1%	30.9%

職種	基準	実員	換算	過不足	備考
管理者	1	1	1	0	兼務
サービス管理責任者	1	1	1	0	
職業指導員・生活支援員	3	3	3	0	兼務

【年間研修】

4月	農機具講習・今年度事業計画確認（職員会議で実施）
5月	
6月	就労支援についての勉強会（クラスと合同）（未実施）
7月	人権倫理研修（12月に職員会議で実施）
8月	
9月	防災研修（栗坂での防災研修に参加）
10月	感染症予防研修（職員会議で実施）

11月	農福連携の勉強会（グループに別れ吉備の里で受講：自然栽培について愛媛県の佐伯氏から講習を受ける）
12月	就労支援についての勉強会(クラシスと合同)（未実施）
1月	
2月	感染症予防研修
3月	今年度計画振り返り、次年度計画周知（3/30 実施）

## 【年間行事】

4月	花見（4/20 実施、弁当を食べ安富牧場で散策）
5月	家族参加日（未実施） ジャガイモ収穫イベント（6/8：8名参加）
6月	招待ボーリング（6/14 実施）・元気市（5/22～24）・岡山マルシェ（6/2）
7月	家族参加日（7/14 6名、7/19 2名）、地域住民集いの場（未実施）
8月	あしたば夏フェス販売（雨天中止）
9月	家族参加日（未実施）・元気市（9/18～20）
10月	さつま芋収穫イベント（10/18、20、22 計約20名参加）
11月	吉備路ウォーキングラリー（中止） 玉ねぎ植えつけイベント（未実施）
12月	ハートフル総社・元気市（12/18～20）
1月	地域住民集いの場（未実施）
2月	吉備路マラソン関連（未実施）
3月	合同バス旅行（3/15 実施）

※あしたば、コトノハ家族会、わきあいあい座談会での販売は毎月実施

## なないろ

### 【事業実施概要】

多機能型事業所コトノハと共に当事業も多機能の組織として運営してきた。児童期からの切れ目のない支援を通所の事業も含めて生活や支援を考えることで、グループホーム利用者、生活介護や病院との連携などケースの幅が広がった。しかし、事業として実績、収益から年度途中から職員（管理者を省く）2名体制となった。その事から、家族や事業所が抱え込まないための運営を目指し、業務の見直しにも取り組んだ。ヘルパー獲得や実績を上げるなど、課題は多くあるが、多機能として今後も問題解決を図っていく。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者主体（本人のしたいこと、出来ることを伸ばすこと）の週間ケア計画表の見直し、支援を実施する	①週間ケア計画表の見直し ②アセスメントの実施 （併用利用者に関しては、ライフサポート支援会議等で情報共有を行う） ③担当者会議（本人・家族、相談員、後見人、他事業所等）で情報の共有（外部1/年、法人内（ライフサポート支援会議）1/月）	①週間ケア計画表に関しては実施。 ②業務の都合でライフサポート会議での情報共有は図れていない。 ③多機能、多職種（医療との連携）としての動きの中で、担当者会議の実施。ライフサポートは数回の参加
2	権利擁護の浸透を図る	①人権についての勉強会の開催・参加（法人内専門研修、事業所外）	①業務の為、人権擁護や虐待防止の研修へは不参加。

### 【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	業務改善の推進	・有休取得の推進（3日/年取得） ・業務改善の提案制度（2ヶ月に1回）	・全員有休取得 ・多機能ミーティングにて毎月検討する

2	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外清掃(1回/月(10日前後))</li> <li>・事業所内点検(1/月20日前後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の為、参加できていない</li> <li>・不備などの点検の実施している。項目はなし</li> </ul>
3	全職員の業務の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約ヘルパーを含めた全職員の勤務形態の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当でヘルパーの勤務の把握に留まり、見える化はできていない</li> </ul>

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	<p>居宅訪問時、外出支援時の緊急時の対応を本人・家族等と共に考える。</p> <p>防災訓練(火災、地震、台風、川の氾濫を想定)</p> <p>倉敷拠点合同防災訓練(炊き出し、勉強会開催)</p> <p>不審者対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際、どこに、どのようにして避難するか、持ち出さなければならないものを確認する</li> </ul> <p>避難訓練、消火器模擬訓練 (毎月第3木曜日)</p> <p>消防署員による指導(1/年) (水消火器訓練)</p> <p>日本赤十字社による指導 (9月)</p> <p>不審者対応(警察署員による模擬訓練)(10/18)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡方法については確認をしているが、避難方法について確認できていない</li> <li>・コトノハの避難訓練などに参加している</li> <li>・業務の為、参加できていない(発信不足)</li> <li>・業務の為、参加できていない(発信不足)</li> </ul>
2	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内点検(1/月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なないろ事務所内の点検となる</li> </ul>
3	BCPの策定、見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直し、周知(9、3月)</li> <li>・非常持ち出し、備蓄の点検(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直しはできてない</li> <li>・多機能としてなないろの備蓄の点検も看護師が行う</li> </ul>
4	感染症予防	<p>感染症予防、緊急時(体調不良、癩癩等)の対応についての勉強会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能として勉強会に参加している</li> </ul>

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足度アンケートの実施とフィードバック	・アンケート実施(10月) ・フィードバック(2～3月)	・30年度は未実施 ・多機能としてコトノハ生活介護の第三者評価の聞き取りに参加している
2	権利擁護の取り組み	・研修(H30年3/31) ・行動指針を示し取り組む(毎月)	・研修へ参加している ・行動指針の作成を行っている

## 【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施内容 (いつ、どのような方法で)
1	ひろば栗の家を中心とした全事業の実施	・いきいきポイント(登録、実績なし) ・農業稲作を実施なし ・就労訓練の受け入れなし ※多機能としては、コトノハ実績参照
2	クラコトを開催	・9/30実施 (家族会等で家族参加時の行動援護対応)
3	事業所紹介	・地元中学・高校にて事業所紹介(未実施) ・支援学校生の倉敷拠点事業説明会(9/29実施) ・倉敷拠点事業所説明会(6/2実施)

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施内容 (いつ、どのような方法で)
1	同建物の為、多機能型事業所コトノハ参照	同建物の為、多機能型事業所コトノハ参照





## 【年間研修】

※隔月で契約ヘルパー・ガイドヘルパー対象の座談会・勉強会を開催

4月	・権利擁護、意思決定支援（H293/31）⇒実施参加 ・コトノハ支援の形（支援の心構え）⇒実施参加
5月	・看護師勉強会①（手洗い、事業所内の掃除、消毒）⇒不参加 ・介護技術の実践（移乗・移動など）⇒不参加
6月	・効果的な支援と記録の取り方（ABC分析・応用行動分析）を学ぶ ⇒実施参加
7月	
8月	
9月	・防災から学ぶ、防災知識とBCP⇒実施参加
10月	・栄養士勉強会（摂食・嚥下・食事介助）⇒不参加
11月	・看護師勉強会②（感染症予防、汚物処理の手順）⇒実施参加
12月	
1月	・リスクマネジメント勉強会⇒不参加
2月	
3月	・次年度拠点方針、事業所計画について⇒実施参加

※座談会は年間1回となる。「熱中症と脱水について」

※基本、生活介護コトノハの研修に参加する⇒業務の都合で半分の参加率となる

## 【年間行事】

4月	・春を感じられる取り組み⇒コトノハ行事には不参加
5月	
6月	・農業（田植え）体験⇒管理者参加
7月	
8月	・コトノハ夏まつり⇒コトノハ行事に不参加
9月	・クラコトフェスティバル⇒なないろサービスとして参加
10月	・炊き出し体験（カレーライス）⇒全員参加　・稲刈り⇒管理者参加
11月	
12月	・冬を感じられる取り組み⇒コトノハ行事には不参加
1月	
2月	
3月	・平成31年度事業計画説明⇒全員参加

## 倉敷地域生活支援センター

### 【事業実施概要】

東倉敷エリアにおける地域共生社会の実現に向け、東倉敷エリア事例検討会を軸としてケアマネ交流会や医療機関との交流会などを通して関係機関の顔の見える支援者間の体制整備を行ってきた。また、倉敷地域（倉敷市、早島町）における地域生活支援拠点の整備に関して、運営協議会の設置や緊急対応の体制整備の検証も行ってきた。次年度はさらなる促進を行っていく計画としている。

利用者や家族のエンパワメントについても計画相談の意思決定場面やクムレいきいきポイント、サロン活動をもとに自立に向けた支援を行っている。

事業所内においては地域活動支援センター1型としての役割の理解や各職員の負担軽減、スキルアップを目的にした体制整備（2名体制、新規相談受付方法など）を行い、継続的な職員育成についての取り組みも行っている。

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	権利擁護の視点から、(本人・家族の)エンパワメントを引き出す意思決定支援を行う。 ①計画相談支援 ②基本相談 ③サロン活動 ④家族支援	①②-1 フェースシート、アセスメントシートの見直し(状態変更時、情報提供時) ①-2 サービス等利用計画へのエンパワメントの視点を持った本人の役割の記載 ②-2 意思決定支援を行うために職員会議の勉強会テーマへ組み込む(年1回) ③サロン茶話会(1月)等での利用者主体の活動企画 ①②③毎週火曜ケース検討 ④法人内外の家族会参加	・実施済  ・プラン作成時に実施  ・外部研修へ参加(権利擁護研修) ・実施し、次年度計画に反映 ・実施できず ・5月コトノハ
2	地域生活支援拠点の整備のための切れ目のない支援体制作りをおこなう。 ①拠点内相談員との地域課題抽出、検討と地域の	①-1 東倉敷エリア事例検討会(毎月) ①-2 ケアマネ交流会(高齢者支援センターの開催時期による) ②-1 倉敷拠点内の児童系サービ	・実施  ・参加し、次年度も継続参加 ・6月実施

	<p>キーパーソンとの関係性構築し、具体的に「見つける支援」から解決を図る支援を行う</p> <p>②拠点内事業所職員のチームプレー</p> <p>③地域支援機関での地域課題の抽出と検討</p> <p>④地域への啓発活動</p>	<p>ス事業所職員への制度勉強会 <u>(H30.6.9)</u></p> <p>②-2 公益活動推進会議 (毎月)</p> <p>②-3 拠点事業説明会 <u>(年2回：時期調整)</u></p> <p>③-1 自立支援協議会への参画 (事業計画による)</p> <p>③-2 地域生活支援拠点協議会にて当センターエリアにおける緊急時受入れ先の確保と情報提供を行う <u>(頻度未定)</u></p> <p>④くらしきフォーラムの開催 <u>(H30.11.11)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加済</li> <li>・実施済</li> <li>・参加済</li> <li>・参加済</li> <li>・開催中止</li> </ul>
3	<p>相談のワンストップ化を実現させるための職員の意識と質の向上を行う。</p> <p>①多分野制度への理解の促進</p> <p>②ファシリテーション能力の向上</p>	<p>①②-1 各種（法人内外）研修への参加と報告 (各種開催案内による)</p> <p>①②-2 センター会議にて職員主体の勉強会の開催 (毎月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修参加済</li> <li>・概ね実施済</li> </ul>

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークライフバランスのとれた職場環境	・積極的な有給取得（毎月）	・概ね実施済
2	<p>ボトムアップできる意見交換できる機会の設定</p> <p>①一般職員の主体的な事業所運営</p> <p>②意見交換しやすい機会の設定</p>	<p>①一般職会議にて事業所運営に関する改善提案を検討しセンター会議にて提案の時間を持つ（毎月）</p> <p>②管理職との面談による不安解消 (毎月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題検討会議として実施済</li> <li>・面談で実施</li> </ul>
3	安心できる職員育成の仕組み	①管理職会議による職員育成についての検討（毎月）	・面談で実施

	①職員ニーズの解消 ②職員育成の明確化	②-1 パートナーシステムによる安心できる業務体制の確保（全ケース） ②-1 マニュアル（手順書）による支援の標準化と定期的な見直し（毎月の一般職会議にて）	・年度途中より体制実施 ・適宜整備中
4	安定した支援提供体制を確保するための人材確保 ①実習生やボランティアの受入れ ②ホームページ等での魅力発信	①当センターでの受入れ又は、他事業所実習生へのフォローと勉強会開催（5名/年） ②スタッフブログの更新（毎月1回以上）	・法人内他事業所実習生を受け入れ ・更新できず

【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	安定したサービス提供を目的とした倉敷拠点における災害時事業継続計画の策定に向けて	災害時訓練の実施と勉強の機会（9月、3月） ・9月：防災センターへの訪問 ・3月法人内合同災害訓練の実施	・法人内防災セミナーへの参加 ・参加済
2	環境美化を行い誰でも訪ねやすい事業所にする	・センター周辺の清掃（毎月） ・花壇の整備（3か月毎）	・毎月実施済 ・適宜実施
3	公用車整備不良における自動車事故の防止	・給油時に空気圧の点検を必ず行う（2回に1回以上）	・実施できていない事もあり

【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用満足度調査の実施、集計、フィードバックし、次年度の事業計画へ反映する	9月作成→10月配布→12月集計、検証→1月公表（ホームページ、センター内への掲示）	・実施済
2	サービスの質の向上を	・計画相談契約時の苦情に対する	・実施済

	めざし、苦情解決の仕組みの見える化と、苦情等に対しての原因究明と再発防止策の立案・実施、意見や要望等も含めた情報共有 (水平展開)	説明 (契約時) ・意見箱の設置と確認、検討後の公表 (センター内掲示) (土曜確認、1週間以内掲示) ・苦情受付に関する取組の掲示 (常時) ・職員プロフィールの掲示 (常時)	・実施済 ・掲示済 ・掲示済
--	--	--	----------------------

【地域貢献】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	近隣町内会活動への参加や交流を行い、良好な関係性の維持・向上を図る	・毎月：近隣のゴミ拾い ・4月：町内の川掃除 ・10月：地域住民を交えた日帰り旅行の企画 ・3月：AED訓練の実施	・実施済 ・参加済 ・参加なし ・予定合わず、未実施
2	栗の家を地域交流スペースとして地域住民の交流の場として活用するための取り組みへの参加	・オレンジカフェの開催 (年1回以上の担当) ・赤提灯 (毎月第3水曜日)	・担当回なし ・適宜参加済
3	地域住民の社会参加の場の提供	・中間的就労の受入れ (3名以上/年) ・倉敷市いきいきポイントの受入れ (1名以上登録) ・クムレいきいきポイントの活用 (5名以上の登録)	・調整会議に参加 ・利用希望者なし ・5名登録

【利用者数・職員配置】

平成30年度		3 月予算実績管理表												事業所名: 倉敷地域生活支援センター			責任者名: 井川雅文		
I 利用者動向																			
■サロン																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	134	135	140	97	113	94	106	87	86	72	80	93	93	-	1237	-			
H29年度実績	117	111	91	87	99	92	113	114	99	99	158	167	167	-74	1,347	-110			
H28年度実績	140	103	109	128	107	95	105	111	77	95	89	127	127	-34	1,286	-49			
■地域移行(指定一般相談支援)																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	-	5	-			
計画	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-2	24	-19			
年度実績													0	0	0	5			
■地域定着(指定一般相談支援)																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	6	3	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	-	48	-			
計画	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	36	12			
年度実績													0	4	0	48			
■計画相談(指定特定相談支援)プラン作成																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	15	3	8	8	8	6	3	6	12	4	2	2	-	75	-			
計画	6	6	6	10	9	5	6	4	4	5	2	8	8	-6	71	4			
H29年度実績	6	6	5	7	6	7	12	5	6	7	1	7	7	-5	75	0			
H28年度実績	25	14	1	8	10	9	5	2	6	6	4	11	11	-9	101	-26			
H27年度実績	17	8	11	3	3	5	7	3	2	2	2	4	4	-2	67	8			
■計画相談(指定特定相談支援)モニタリング																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	41	21	20	25	16	26	12	24	18	25	16	16	-	244	-			
計画	20	20	20	20	22	22	26	19	20	20	23	16	16	0	248	-4			
H29年度実績	19	15	21	16	24	21	23	22	23	16	22	20	20	-4	242	2			
H28年度実績	13	9	24	18	19	15	16	15	18	21	23	38	38	-22	229	15			
H27年度実績	12	14	13	22	15	24	20	21	24	21	15	37	37	-21	238	6			
■計画相談(指定障がい児相談支援)プラン作成																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	3	4	1	2	1	1	0	5	3	4	4	4	-	28	-			
計画	6	8	8	8	1	3	1	0	0	0	1	0	0	4	36	-8			
H29年度実績	4	0	0	4	1	3	1	1	0	2	1	2	2	2	19	9			
H28年度実績													0	4	0	28			
H27年度実績													0	4	0	28			
■障害児相談支援給付費 モニタリング																			
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異			
実績	0	3	1	6	5	3	3	2	4	0	3	6	6	-	36	-			
計画	6	6	6	6	2	4	2	7	1	1	4	7	7	-1	52	-16			
H29年度実績	6	1	2	3	3	6	2	4	3	3	4	13	13	-7	50	-14			
H28年度実績													0	6	0	36			
H27年度実績													0	6	0	36			
II 概算収入(委託事業を除く)																			
項目	金額																		
計画プラン	26,000																		
計画モニタリング	208,000																		
障害児相談支援プラン作成	54,000																		
障害児相談支援モニタリング	81,000																		
合計	369,000																		
III 職員配置																			
職種	基準	実員	換算	過不足	備考														
倉敷市I型委託	4	4	4	0	I型委託より1名以上計画相談のため必置														
倉敷市住宅委託	0	0	0	0	H29.9月末委託終了														
合計	4	4	4	0															

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	地域公益、居住支援について
5月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	居宅介護について
6月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	共同生活援助について
7月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	災害対応のため中止
8月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	居住支援法人について
9月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	隣保館について
10月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	災害時の対応について
11月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	DWATの活動報告
12月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	保証人について
1月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	職員体調不良により中止
2月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	会議内容変更により勉強会中止
3月	職員会議内研修（勉強会・事例検討）	金銭管理、要医療ケア対応について

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月	花見	花見・クッキング
5月	遠足	ボーリング・クッキング
6月	職場見学	木下サーカス鑑賞・クッキング
7月	流しそうめん	流しそうめん・クッキング
8月	足つぼ先生の健康教室	健康教室・クッキング
9月	防災	避難訓練・クッキング
10月	地域住民との交流日帰り旅行	日帰りバス旅行・クッキング
11月	くらしきフォーラム	中止・クッキング
12月	クリスマス会	忘年会・クッキング
1月	来年度に向けての茶話会	茶話会・クッキング
2月	映画鑑賞	映画鑑賞会・クッキング
3月	ツデーマーチ	6センター交流会・クッキング



## 倉敷発達障がい者支援センター

### 【事業実施概要】

### 【事業詳細】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	職員は人権倫理・権利擁護の視点を常に持ち、ニーズを的確に捉え、相談者と段階的に目標設定をし、自立に向けた支援を行う。	①状況にあった目標設定をするため、ケース検討を行う。 (職員会議 最低月2回) 地域生活支援センターと合同の朝礼時の情報共有、意見交換 (毎朝) ②相談支援の力を養うため、各種(法人内、事業所内、外部)研修への参加を行う。 ③相談者のできるボランティアを事業所から依頼する。いきいきポイント制度の活用、有償ボランティア。	計画に沿って実施した
2	障がいの有無に関わらず利用できる地域資源の発掘・ネットワークの構築。	① 相談者に応じた対応・関わりをお願いしてみるなど、発達障がいへの理解者を増やしていく。 ② 新規事業所への見学を積極的に行う	計画に沿って実施した
3	切れ目のない支援体制に向けた地域づくりと関係づくり ①関係機関(相談機関、就労先、地域等)との情報交	①-1 ケースでの関わりを通して、関係機関と情報交換を行う。 ①-2 自立支援協議会の代表幹事会、全体会、各専門部会に参	計画に沿って実施したが、開催されないものもあり、参加でいていないものも

	<p>換、連携を密に行う。</p> <p>②市民の方々へ発達障がい の理解を促す活動を行う。</p>	<p>加し、関係構築をはかる。(年4 回～12回)</p> <p>①-3 県発達障害者支援センタ ーや市町 Co. との各種会議への 参加 (年3～4回)</p> <p>①-4 ペアレントメンター連絡 協議会や全体会、フォ ローア ップ研修会に参加し、メンター 活動の普及、支援体制の充実を 図る。(年1～2回)</p> <p>①-5 東倉敷エリア事例検討会 でネットワークの構築と意見交 換を行う</p> <p>①-6 福祉サービスに限らない 地域資源の発掘とネットワー ク作り (親の座談会)</p> <p>②-1 くらしき発達障がい支援 フォーラムの開催</p> <p>②-2 いきいきポイント制度の 活用</p>	<p>ある。</p>
--	--	--	------------

【働きやすい職場づくり】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	ワークライフバランスの推 進を目指し業務のスリム 化、効率化を図る。	普段から余裕をもったスケジ ュール管理を行うことで、急ぎの ケース対応を無理なく行い、職 員の負担を軽減する。	実施
2	職員間コミュニケーション の推進	(地域生活支援センターも含 め) 職員会議等で意見を言い合 える場作りと意見の積極的採 用。	実施

## 【防災・安全・衛生計画の重点目標】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	災害が起こっても安定し事業・サービスを継続する。	・避難訓練の実施（事業所内9月・3月、法人内合同訓練） ・相談者への連絡体制の整備（独居者など連絡すべき相談者のリストアップを行う）	実施
2	相談しやすい清潔な環境をつくる。	毎日の事業所内清掃と事業所周辺の清掃実施（毎月1回）	実施

## 【利用者満足の取り組み】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	利用者満足度調査	10月実施、1月初旬結果公表、3月中旬改善後結果公表	実施済み
2	専門性の確保	就業支援基礎研修・実践研修の受講	適宜受講
3	相談利用者台帳の作成	ケースファイル作成者全ての台帳整理を年度内に完成させる。	
4	個別支援計画書の整備	計画書の作成について話し合いを行い、マニュアルを整備する。	作成済み

## 【施設整備】

番号	達成目標 (何を、どのレベルまで)	実施計画 (いつ、どのような方法で)	実施内容
1	加湿機能付き空気清浄機を相談室に設置し、相談しやすい環境をつくる。	4月購入	冬に購入
2	屋外倉庫を購入し、災害用備蓄品などを保管し有事に備える。	5月購入	3月に購入
3			

【利用者数・職員配置】

I 利用者動向																
■訪問																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	28	21	36	25	20	14	27	22	17	24	16		0	-	250	-
計画													0	0	0	250
H29年度実績	22	34	28	28	23	30	33	12	25	13	15	25	25	-25	288	-38
H28年度実績	31	42	28	34	28	26	34	26	21	21	24	33	33	-33	348	-98
■来所																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	44	68	51	49	46	57	65	58	39	49	50		0	-	576	-
計画													0	0	0	576
H29年度実績	51	50	52	62	47	63	49	43	47	63	59	51	51	-51	637	-61
H28年度実績	42	58	48	52	45	53	33	56	40	50	49	50	50	-50	576	0
■電話																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	62	52	52	61	53	64	71	48	26	46	44		0	-	579	-
計画													0	0	0	579
H29年度実績	61	47	68	53	47	60	47	51	54	65	59	65	65	-65	677	-98
H28年度実績	34	32	53	40	39	56	44	59	32	60	47	50	50	-50	546	33
■機関コンサルテーション																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0		0	-	4	-
計画													0	0	0	4
H29年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
H28年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
■調整会議																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	9	9	13	18	13	12	16	10	7	14	16		0	-	137	-
計画													0	0	0	137
H29年度実績	17	14	12	12	15	13	17	15	13	12	16	14	14	-14	170	-33
H28年度実績	5	7	10	6	12	10	12	11	7	9	5	10	10	-10	104	33
■個別支援計画作成																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	5	7	4	5	6	5	2	1	2	15	22		0	-	74	-
計画													0	0	0	74
H29年度実績	10	9	12	9	13	11	10	5	5	11	6	14	14	-14	115	-41
H28年度実績	19	17	25	20	17	19	12	17	11	17	12	12	12	-12	198	-124
■研修																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0		0	-	5	-
計画													0	0	0	5
H29年度実績	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	6	-1
H28年度実績	0	0	1	2	1	0	1	0	2	0	0	2	2	-2	9	-4
■新規相談件数																
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当月	差異	累計月	差異
実績	19	14	13	6	9	11	18	12	15	8	13		0	-	138	-
計画													0	0	0	138
H29年度実績	18	12	9	17	9	18	14	23	11	23	14	11	11	-11	179	-41
H28年度実績	12	12	20	11	14	13	12	14	14	17	16	16	16	-16	171	-33
II 職員配置																
職種	基準	実員	換算	過不足	備考											
責任者	1	1	1	0												

## 【年間研修】

実施月	研修項目	実施内容
4月	事例検討会	参加
5月	事例検討会	参加・事例提供
6月	事例検討会	参加
7月	事例検討会	西日本豪雨災害を受けて開催中止
8月	事例検討会	西日本豪雨災害を受けて開催中止
9月	事例検討会	不参加
10月	事例検討会	参加
11月	事例検討会	不参加
12月	事例検討会	参加
1月	事例検討会	不参加
2月	事例検討会	不参加
3月	事例検討会	年間計画上開催されず

## 【年間行事】

実施月	行事項目	実施内容
4月		
5月		
6月		
7月	親の会	7/28 開催 参加者 3名。
8月		
9月		
10月	利用者満足度調査実施	実施
11月		
12月	第9回くらしき発達障がい支援フォーラム	12/8 開催 参加者 200名程度。
1月		
2月	親の会	未開催
3月		



## 事業報告の附属明細書

社会福祉法第 59 条第 1 号に基づき報告する平成 3 0 年度事業報告の附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。

令和元年 5 月 1 0 日

社会福祉法人 クムレ  
理事長 財前 民男

